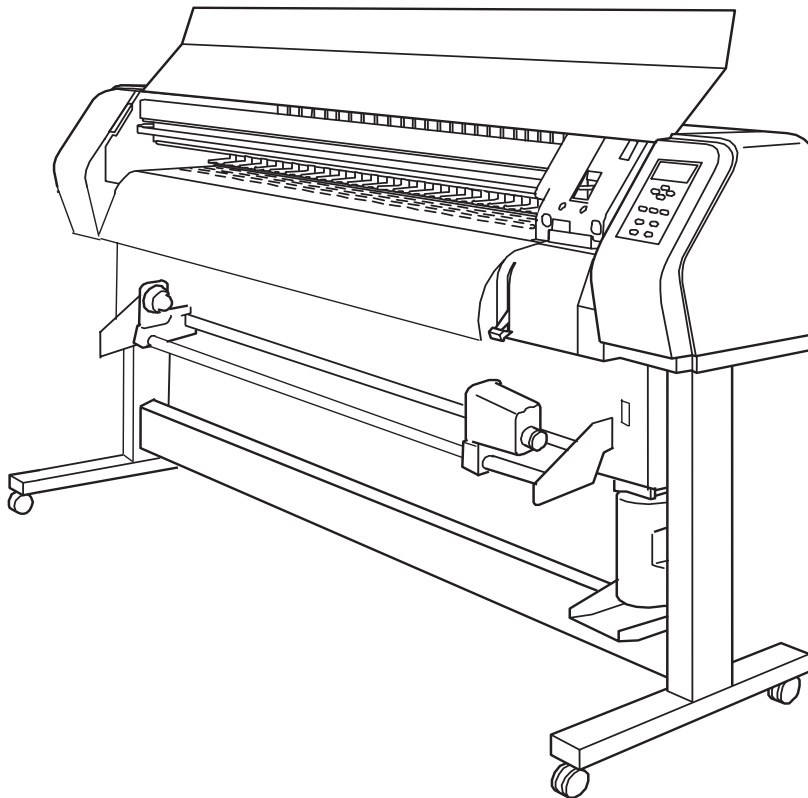


JV22 Series

JV22-130

JV22-160

取扱説明書



ご注意

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとしします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本製品を使用してメディア（ワーク）等の損失やメディアを使用して作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとしします。本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。



注意

★ 本書記載の名称は、一般に各社の商標または登録商標です。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 株式会社ミマキエンジニアリング 2006.2

All Rights Reserved. Copyright ©2006.2 MIMAKI ENGINEERING Co., Ltd.

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本装置の接続に於いて、当社指定のケーブルを使用しない場合は、VCCI ルールの限度を超えることが考えられます。必ず、当社指定のケーブルを使用してください。

テレビ／ラジオの受信障害について

本書が解説する製品は、使用時に高周波が発生します。このため、本製品が不適切な条件下で設置または使用された場合、ラジオやテレビの受信障害が発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。

もしも、この製品がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われれば、この製品の電源を切ることによりご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されればこの製品が原因と考えられます。

もし障害の原因なら、次の手順のいずれか、あるいはいくつかを組み合わせることでお試しいたください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は、カラーインクジェットプリンター「JV22 シリーズ」をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。

「JV22 シリーズ」は、水性インク 4 / 6 色で作図する高画質に対応したカラーインクジェットプリンターです。

本取扱説明書をよくお読みになり、本プリンターを安全に、かつ効果的にお使いいただけますようお願い申し上げます。

取扱説明書について

- 本書は、カラーインクジェットプリンター「JV22 シリーズ」（以後本装置と称します）の、操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからってください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。

本装置のご紹介

本装置の持つ特長をご紹介します。本書で説明する操作方法と併せて作図のご理解にお役立てください。

新たに水性染料インク・分散染料インクを使用できます

ミマキ純正のインクを3種類用意しました。

水性顔料インク : 従来の顔料系のインクです。耐光性に優れた大型カラーサインディスプレイ（看板等）の、屋外用のプリントに最適です。

昇華転写インク : 分散染料系インクです。作図した画像を違うメディアに転写する用途に使用します。

高精細・高画質作図ができます

バリエブルドットモードを使用し、高精細な作図が可能です。

最高 1440dpi の解像度による高画質な作図が可能です。

簡単インク交換

インクのカートリッジ化により、手を汚さずに、安全、簡単にインク交換ができます。

簡単メンテナンス

ヘッドの自動キャッピング方式により、電源をオフする前のヘッド洗浄が不要です。

インク詰まりは、クリーニング機能を実行すれば復旧できます。

使用していない時間を監視して、電源をオンにしたとき、および印刷開始時に自動クリーニングを実行し、インク詰まり等を防ぎます。

幅のあるメディアを使用した作図の左右端の浮きを防止します

「JV22-130」は最大 1371mm 幅のメディアを、「JV22-160」は最大 1620mm 幅のメディアを使用できます。作図中のメディア左右端の浮きを防止する「カールストッパー」を使用して、メディアの反り返りによるヘッドとの接触を低減しました。

インク残量を表示します

使用中のインクの残量を表示して確認できます。無駄なくインクやメディアを使用可能です。

見やすいディスプレイ

プリンターの設定メニューを表示する「ディスプレイ」が見やすい2行表示になりました。バックライトも付いて、暗い場所での表示認識が可能になりました。英語・スペイン語など6ヶ国の表示が可能です。

作図の情報を確認します

作図中のプリント長をディスプレイに表示したり、作図条件の情報を作図して確認できます。

高速インターフェースを使用できます

高速インターフェース「IEEE1394」の使用により、コンピュータからのデータ受信を高速に行えます。

巻き取り装置による長尺作図ができます

本装置と連動した「巻き取り装置」が作図終了したメディアを巻き取るので、長尺作図が可能です。

メディア置き用のサポートバーが付きました

本装置の後ろ側に、メディアセット時のサポートバーを設置しました。幅広のロールメディアなど重量のあるメディアのセット時に、サポートとしてご使用ください。

ヘッドの高さ2レンジの各2段階設定が可能

ヘッドの高さは、調整レバーにより切り替えが可能です。使用するインクやメディアの状況に応じ、ヘッドの高さはLoレンジの高（2.5mm）⇔低（1.5mm）とHiレンジの高（4.5mm）⇔低（3.5mm）で対応できます。（サービスマンによる改造）

メディアの左右端の浮きを防止

カールストッパーを使用することにより、幅の広いメディアの両端の浮きあがりを防止し、ヘッドとの接触を防ぎます。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例 1

本書の説明文の中によく使用しているマークです。



★「警告」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、火災や中毒を起こす可能性を示しています。必ずよくお読みになり、ただしくお使いください。



★「注意」マークは、表示の指示を無視して誤った取り扱いをすると、物的損害の発生が想定される内容を示しています。



●「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。



● 関連した内容の参照ページを示しています。

マーク表示の例 2



△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。△中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が書かれています。







⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が書かれています。













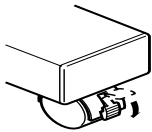



●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が書かれています。

絶対にしないでください

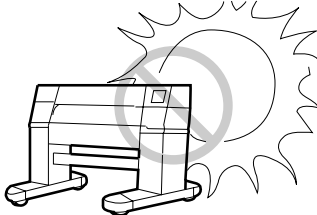
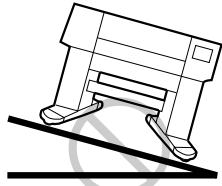
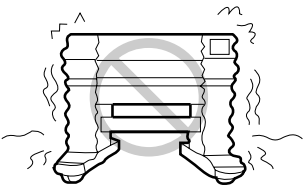
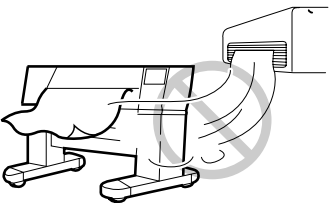
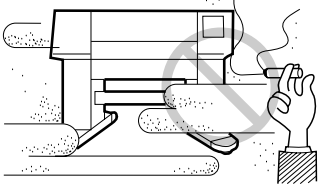
<p>組立時</p> <p> ★ 本装置は梱包総重量が200Kg程あります。組立作業は4人以上で行って下さい。</p>	<p>電源・電圧について</p> <p> ★ 表示された電源仕様で使用してください。</p> <p> また、電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理されたコンセントに差し込んでください。火災・感電の原因になります。</p>
<p>分解・改造はしない</p> <p> ★ 本装置やインクカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。</p>	<p>電源ケーブルの取り扱い</p> <p> ★ 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。</p>
<p>湿気が多い場所では使用しない</p> <p> ★ 湿気が多い場所での使用や、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。</p>	<p>インクカートリッジの取り扱い</p> <p> ★ インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。</p> <p> ★ インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。万一、インクが目に入った場合は、直ちに水で洗い流し医師の治療を受けてください。</p> <p> ★ インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。</p> <p> ★ インクカートリッジのインクの詰め替えはしないでください。インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。</p>
<p>異常事態の発生</p> <p> ★ 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>	
<p>ロール紙について</p> <p> ★ ロール紙は重いので、落とさないよう注意してください。足などの上に落とすと、ケガをする恐れがあります。</p>	

使用上のご注意

 注意	
<p>定期交換部品があります。</p> <p> ★ 本装置には、3000～5000時間で定期的に交換する部（インク供給、チューブ等）があります。保守契約をしていたかどうかをお勧めいたします。</p>	<p>フロントカバーとレバーについて</p> <p> ★ 作図中にフロントカバーを開けたり、レバーを上げたりしないでください。作図が終了してしまいます。</p>
<p>ホコリから守る</p> <p> ★ できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。悪環境下では、リフレッシュレベルを2または3に設定してください。（⇒4章メンテナンス機能）</p> <p> ★ 作図しないときも必ずフロントカバーは閉めておいてください。ホコリがヘッドノズルに付着する原因になります。</p> <p> ★ 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。</p> <p> ★ メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。</p> <p> ★ キャッピングステーションの拭き掃除（ホコリ、紙粉）は、こまめに行ってください。また、毛羽だったワイバはホコリをこすりつけている事と同じですので、毛羽だったワイバは即交換してください。</p> <p> ★ 作図中に、突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちるのもホコリが原因です。この場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。（⇒4章メンテナンス機能）</p>	<p>メディアについて</p> <p> ★ メディアは、JV22 専用紙をお使いください。専用紙以外を使用して発生したトラブルについては、責任を負いかねます。</p> <p> ★ カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。カールがきついと、画質に影響を及ぼします。</p>
	<p>キャストのロック</p> <p> ★ 必ず、キャストをロックしてから作図してください。ロックをしないで作図すると、装置が動きだす場合があります。</p> <div style="text-align: center;"></div>
	<p>警告ラベルについて</p> <p> ★ 本装置には、2種類の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店、または弊社営業所にてお買い求めください。</p>

⚠ 注意	
<p>インクカートリッジについて</p> <p>! ★ カートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温環境下に放置してから利用してください。</p> <p>! ★ カートリッジは、取付直前に開封してください。 開封した状態で長時間放置しておくと、正常に作図できない場合があります。</p> <p>! ★ カートリッジは、冷暗所で保存してください。</p>	<p>! ★ カートリッジは、開封してから6か月以内に使い切ってください。 開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。</p> <p>! ★ 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。</p> <p>! ★ カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。</p>

設置上のご注意

⚠ 注意	
<p>直射日光が当たる場所</p> <p>⊘ </p>	<p>水平でない場所</p> <p>⊘ </p>
<p>温度や湿度の変化が激しい場所</p> <p>! 次の環境下でお使いください。</p> <p>使用環境 : 20 ~ 35℃ 35 ~ 65% (Rh)</p>	<p>振動が発生する場所</p> <p>⊘ </p>
<p>エアコンなどの風が直接当たる場所</p> <p>⊘ </p>	<p>粉塵・タバコの煙が充満している場所</p> <p>⊘ </p>

目次

ご注意	i
電波障害自主規制	ii
テレビ/ラジオの受信障害について	ii
はじめに	iii
取扱説明書について	iii
本装置のご紹介	iv
安全にお使いいただくために	vi
マーク表示について	vi
絶対にしないでください	vii
使用上のご注意	viii
設置上のご注意	ix
本書の読み方	xiv
ディスプレイとキーの表記	xiv
本書の構成	xv

1 章 ご使用の前に

設置場所について	1-2
本装置の移動	1-3
各部の名称とはたらき	1-4
装置前面	1-4
操作パネル	1-6
キャリッジ	1-7
キャッピングステーション	1-8
ピンチローラーとフィードローラー	1-8
メディアセンサー	1-9
カッター刃とカットライン	1-9
メディアについて	1-10
メディアの取り扱い注意	1-10
インクカートリッジについて	1-11
インクの種類について	1-11
インクの取り扱い上のご注意	1-12
インクの初期充填をする	1-13
使用可能なメディアについて	1-14
使用可能メディア	1-14
メディア取り扱い上の注意	1-15

メディアをセットする前に	1-16
ヘッドの高さ調整をする	1-16
モードについて	1-17

2章 作業の流れ

作業の流れ	2-2
電源をオンにする	2-3
フロントカバー、メンテナンスカバーについて	2-4
フロントカバーの開閉について	2-4
メンテナンスカバーについて	2-4
インクステーションとヘッドの関係	2-5
ヘッドの高さを調整する	2-6
メディアのセット	2-8
ロールメディアのセット	2-9
巻き取り装置の使い方	2-14
リーフメディアをセットする	2-15
ノズル詰まりの確認／解消	2-18
メディアの送り量を補正する [メディア単位]	2-20
作図中にメディアの送り量を補正する	2-22
画像データを作図する	2-23
作図を開始する	2-23
作図を中止する	2-24
作図が終了したら	2-24
インク残量が少なくなったら	2-25
電源をオフにする	2-26

3章 日常のお手入れ

日常のお手入れ	3-2
お手入れ上のご注意	3-2
外装のお手入れ	3-3
プラテンの清掃	3-3
メディアセンサーの清掃	3-3
ワイパとキャップのクリーニング	3-4
ノズルの洗浄[スルセツヨク]	3-6

廃インクタンクのインクが溜まったら	3-9
インク排出路の洗浄について[ハイ センゾウ]	3-10
長期間使用しない場合[林ン センゾウ]	3-12

4章 設定機能について

メニューの基本操作	4-2
設定機能について	4-4
タイプの登録	4-4
設定機能一覧	4-5
作図中自動的にクリーニングする[オートクリーニング ²]	4-10
作図範囲について	4-12
作図原点を設定する	4-13
原点設定位置の目安	4-13

5章 メンテナンス機能

メンテナンスについて	5-2
メンテナンス機能の導入	5-2
設定機能一覧	5-3
ステーション内の清掃[ステーションメン]-[キャリッジアウト]	5-4
ワイパ交換のメッセージを表示したら[ステーションメン]-[ワイパリセット]	5-5
メディアの厚みが変わったら[トットリセット]	5-7
作図中のワイピング動作を設定する[ワイピング]	5-9
ヘッドクリーニングでもノズル詰まりが復旧しない場合 [インクジュウテン]	5-10
[インクジュウテン]	5-10
設定条件を印刷する[リスト]	5-11
HEX コードで印刷する[データ印刷]	5-12
ワイパ寿命の警告表示[ワイパレベル]	5-13
時刻を設定する[ジョブセッティング]	5-14
本装置の情報を表示する[マシンジョブ]	5-15

カッター刃の交換.....	5-16
インク交換手順	5-17

6章 困ったときは

故障?と思う前に.....	6-2
電源が入らない.....	6-2
作図できない.....	6-2
メディア詰まり/メディアが汚れる	6-3
画質不良が発生した場合は	6-4
白スジ/カスレ/色の濃いスジが発生する (ヘッド移動方向)	6-4
文字が用紙送り方向に2重、3重にブレる	6-4
往復印字でズレが発生する	6-4
色ごとにインクが重ならない.....	6-4
作図中にインク滴が落ちる	6-4
コックリングを避けるために	6-5
巻取装置を使用する	6-5
ヘッドの高さを上げてみる	6-5
プラテンの上のメディアがない範囲に薄いシート (注1) を乗せる ..	6-5
メッセージを表示するトラブル	6-6
ワーニングエラー	6-6
エラーメッセージ	6-7


付録

本体仕様	付録-2
インク仕様	付録-4
警告ラベルについて	付録-5
お問い合わせシート.....	付録-6
機能フローチャート.....	付録-7

索引

本書の読み方

ディスプレイとキーの表記

本取扱説明書では、操作手順と合わせて操作パネルの「ディスプレイ」に表示する文字や、使用するキーを説明しています。  P.1-6
使用中に確認しながら、操作を進めてください。

ディスプレイ表記

ディスプレイの表記は、右の図の様に四角い枠の中に、表示する内容を文字表記します。

操作手順の説明文に合わせて、確認しながら操作を進めます。

ディスプレイに表示する設定項目やメッセージを、文章中では[タイプ1],[シバラク オマチクダサイ]の様に[]を使用して説明しています。

FUNCTION	
セッテイ	<ENT>

セッテイ	
センタク	:タイプ°

操作キー

本取扱説明書では、操作キーを文章中で【カッコ】を使用して説明しています。

【▲】【▼】はジョグキーを意味します。

その他の操作キーは、【FUNCTION】の様に操作キーの名称を【 】の中に表記します。

 P.1-6

本書の構成

本書は、7つの章に分けて本装置の取り扱いの説明をしています。

<p>はじめに</p> <p>本装置をご使用になる前に、ご理解していただきたいことや、本書の読み方を説明しています。</p>	<p>はじめに</p>
<p>1章 ご使用の前に</p> <p>本装置の各部の名称とはたらき、インクやメディアについて説明します。</p>	<p>1</p>
<p>2章 作業の流れ</p> <p>電源のONから印刷を終了するまでの一連の動作、設定について説明します。</p>	<p>2</p>
<p>3章 日常のお手入れ</p> <p>インクが詰まった際の復旧方法や各部の清掃方法について説明します。</p>	<p>3</p>
<p>4章 設定機能について</p> <p>設定機能について説明します。</p>	<p>4</p>
<p>5章 メンテナンス機能</p> <p>メンテナンス機能、ワイバやカッター刃などの消耗品の交換方法などについて説明します。</p>	<p>5</p>
<p>6章 困ったときは</p> <p>本装置になんらかの異常が発生した場合のトラブルの解消方法について説明します。</p>	<p>6</p>
<p>付録</p> <p>本装置の仕様、お問い合わせシート、機能フローチャートをのせています。</p>	<p>付録</p>

1 章

ご使用の前に

本装置の各部の名称、メディアやインクについて説明します。

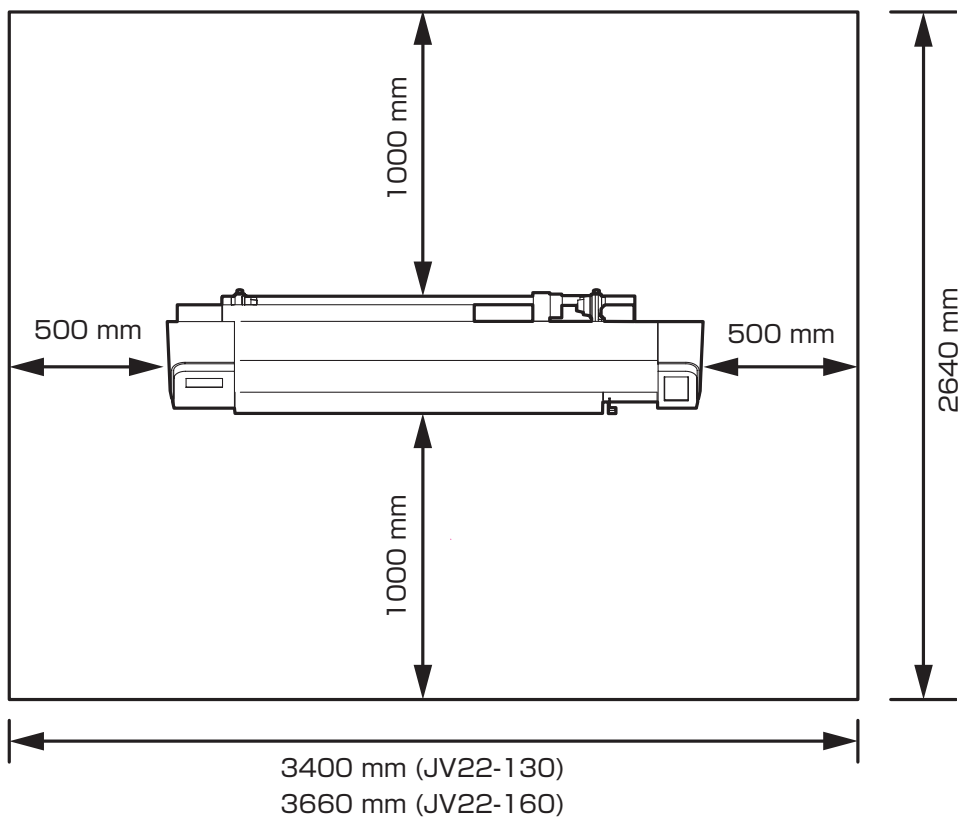
本章の内容

設置場所について	1-2
本装置の移動	1-3
各部の名称とはたらき	1-4
装置前面	1-4
操作パネル	1-6
キャリッジ	1-7
キャッピングステーション	1-8
ピンチローラーとフィードローラー	1-8
メディアセンサー	1-9
カッター刃とカットライン	1-9
メディアについて	1-10
メディアの取り扱い注意	1-10
インクカートリッジについて	1-11
インクの種類について	1-11
インクの取り扱い上のご注意	1-12
インクの初期充填をする	1-13
使用可能なメディアについて	1-14
使用可能メディア	1-14
メディア取り扱い上の注意	1-15
メディアをセットする前に	1-16
ヘッドの高さ調整をする	1-16
モードについて	1-17

設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさと作図のために必要なスペースを考慮して設置します。

機種	横幅	縦幅	高さ	全体重量
JV22-130	2400 mm	640 mm	1240 mm	145 kg 以上
JV22-160	2660 mm	640 mm	1240 mm	158 kg 以上



使用環境温度

本装置は安定したプリントを行うために、20～35℃の環境でご使用ください。

本装置の移動



- ★ 本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になることがあります。本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

本装置をやむを得ず、段差のない同一フロア内で移動する場合は、下記のように行ってください。

移動するときは、キャストのロックを解除してください。

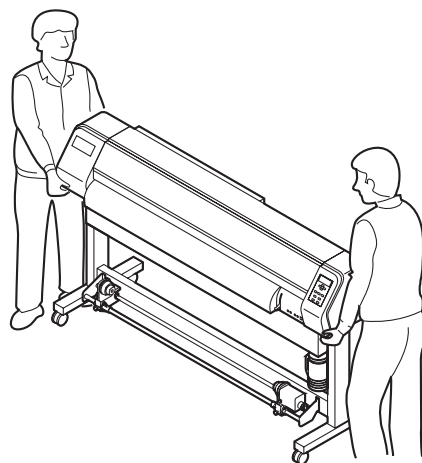


- ★ 移動する時は、大きな振動を与えないでください。
- ★ 移動後は、必ずキャストをロックしてください。

移動方法

本装置を移動するときは、2人以上で図のように運んでください。

カバーを押すと割れる場合があります。

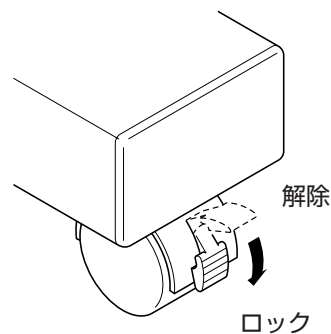


キャストのロック

装置を移動するときは、ストッパを上げてロックを解除してください。

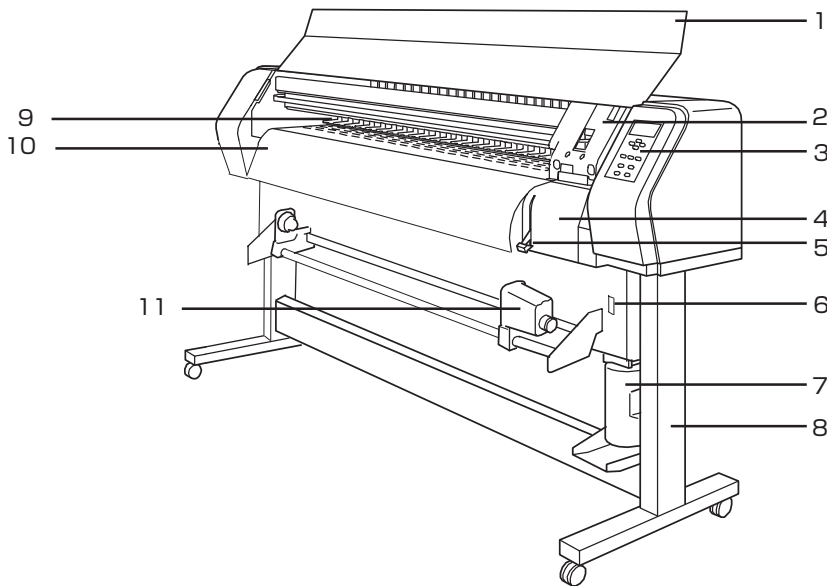
脚のキャストには、ストッパが付いています。

本装置を設置するときは、ストッパを下げてキャストをロックします。

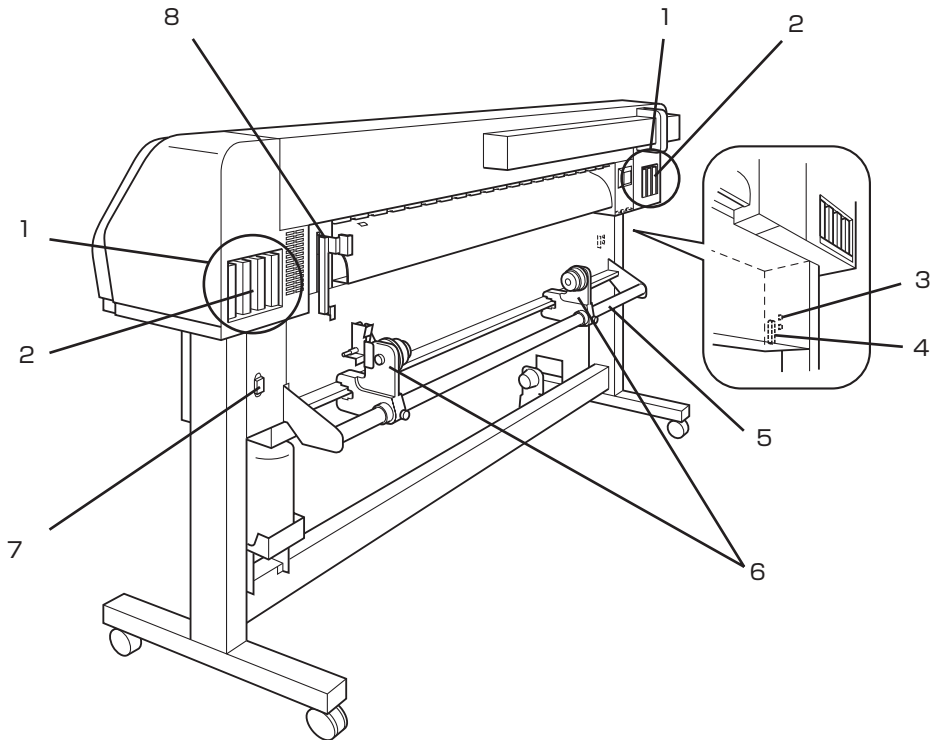


各部の名称とはたらき

装置前面



	名称	はたらき
1	フロントカバー	メディアのセット、メディア詰まりの処置およびステーション内部のメンテナンス時に開けます。電源スイッチがオフの場合でも、フロントカバーは閉じておいてください。インク詰まり防止のための動作を行います。
2	キャリッジ	印字を行うヘッドがあり、左右にスキャンします。
3	操作パネル	本装置に必要な設定を行う操作キーや、操作項目を表示するディスプレイがあるパネルです。
4	キャッピングステーション	ヘッドにキャッピングするキャップやワイパ等があります。
5	クランプレバー (前)	ピンチローラを上下して、メディアを保持 / 解放します。
6	電源スイッチ	本装置の電源をオン / オフします。電源スイッチをオンにすると操作パネル上の POWER ランプが緑色に点灯します。主電源スイッチをオンにしていれば、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(フラッシング機能)
7	廃インクタンク	廃インクを溜めるタンクです。
8	脚	本体を支える部分です。本装置を移動するためのキャストが付いています。
9	プラテン	プラテンに沿って、用紙を出力します。
10	メンテナンスカバー	メンテナンス時に開けます。
11	巻き取り装置	作図終了後のロールメディアを自動で巻き取ります。



	名称	はたらき
1	インクステーション	専用のインクカートリッジをセットします。
2	インクカートリッジ	各色のインクが入っています。
3	IEEE1394 コネクタ	400Mbps の IEEE1394 に準拠したインターフェースです。
4	パラレルコネクタ	双方向パラレルインターフェースコネクタです。(IEEE1284 準拠)
5	メディア置きバー	ロール紙を取り付けるときに、ロール紙をのせてセットしやすくするためのバーです。
6	ロールホルダー	ロール紙の紙管の左右に入れて、ロール紙を保持します。2 インチと 3 インチの紙管に対応しています。ロールホルダーの取り付け位置を 3 段階に変更できます。
7	AC インレット	電源ケーブルを接続します。
8	クランプレバー (後)	本装置前面にあるクランプレバーと連動しています。

操作パネル

操作パネルは、作画方法の設定、各種操作に使用します。

ジョグキー

【▲】【▼】【◀】【▶】
《ローカルモード》でのヘッドやメディアの移動、作図条件の項目選択に使用します。

【TEST】キー

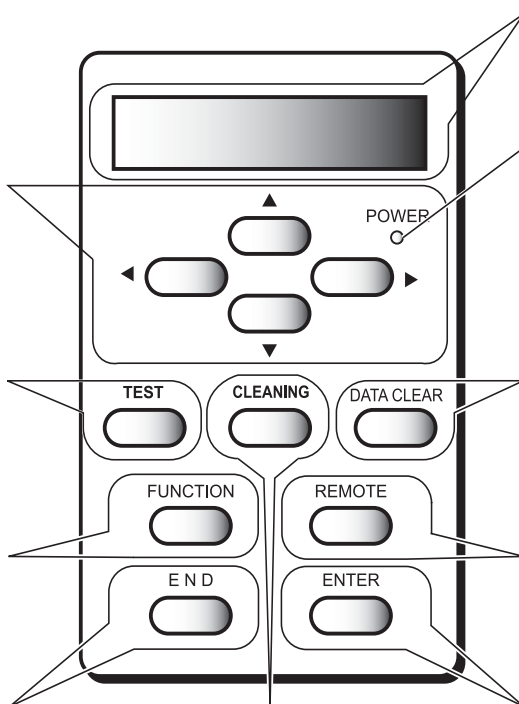
インク詰まり確認用のテストパターンを作図します。

【FUNCTION】キー

各種機能設定メニューに入ります。

【END】キー

直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを1つ前の階層に戻す場合に使用します。



【CLEANING】キー

インク詰まりを起こしている場合のヘッドのクリーニングを実行します。

ディスプレイ

本装置の状態、設定項目、エラーなどを表示します。

POWER ランプ

本装置の電源をオンにすると、点灯します。

【DATA CLEAR】キー

本装置が受信したデータを消去します。

【REMOTE】キー

《ローカルモード》と《リモートモード》を切り替えます。

【ENTER】キー

1段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。

ジョグキーのはたらき

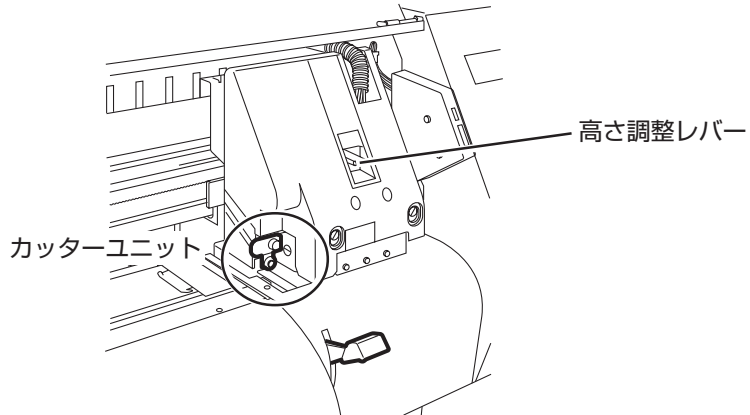
ジョグキーは、使用するタイミングにより機能が異なります。

	メディア検出前	メディア検出後	機能選択時	設定の選択時
◀	メディア幅を検出します。	キャリッジを左へ移動します。		
▶	メディア幅とメディア長を検出します。	キャリッジを右へ移動します。		
▲		メディアを奥へ移動します。	1つ前の機能に戻ります。	1つ前の値を選択します。
▼		メディアを手前へ移動します。	次の機能に移ります。	次の値を選択します。

キャリッジ

キャリッジには、作図用のインクヘッドや、メディアカット用のカッターユニットなどが付いています。

また、メディアの厚さに合わせて、ヘッドの高さを2段階に調整するレバーが付いています。



本キャリッジは、メディア仕様に合わせてLoレンジとHiレンジの基本プリント位置を機器設定時にサービスマンにより設定いたします。(出荷時はLoに設定してあります。)
各レンジでの上下高さ変更は、高さ調整レバーを用いてお客さまご自身での設定が可能です。(P.2-6「ヘッドの高さを調整する」をご参照下さい。)

ただし、初期時のLo、Hiレンジ切り換えは電圧のかかった部位での作業となるため、弊社へお問い合わせ下さい。



★ 機器の分解等は、お客さま自身で行わないでください。


キャッピングステーション

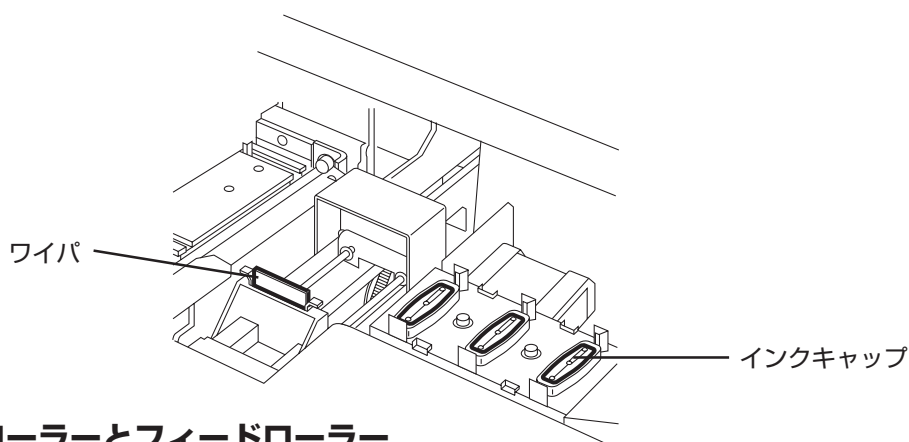
キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成されています。

インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。

ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。

ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。パネル上でワイパー交換のメッセージが出た場合、P.3-4の手順で交換してください。

 P.3-4 ワイパーとキャップのクリーニング



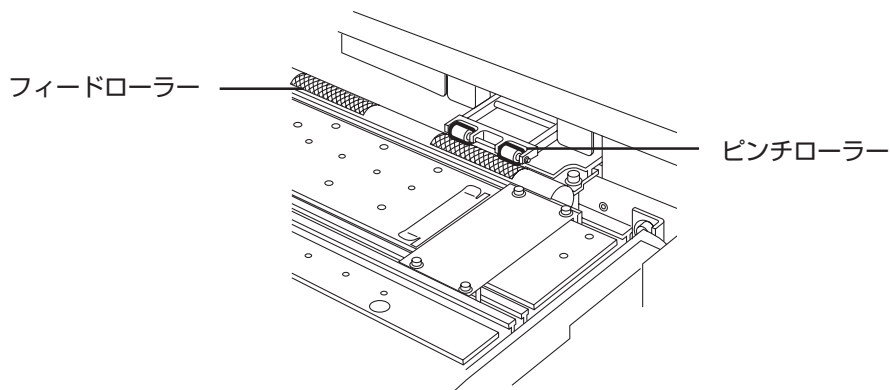
ピンチローラーとフィードローラー



★ 本装置を使わない時は、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。

ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラーが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。

本装置は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメディアを保持し、作図時にメディアを前側に送り出します。

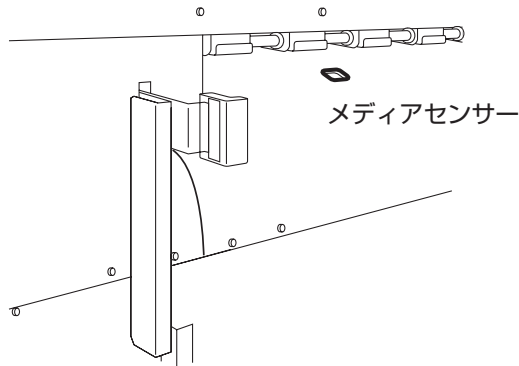


メディアセンサー

メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出します。
 プラテン上にメディアセンサーが1箇所あります。



- ★ メディアは、必ずプラテン後部側のメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。

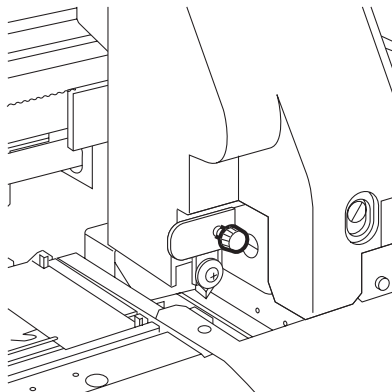


カッター刃とカットライン

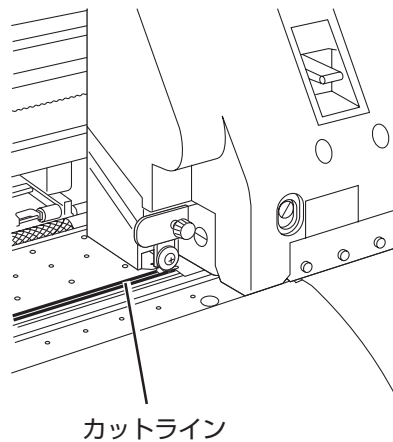
キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。
 プラテンのカットラインに沿ってメディアをカットします。

 P.2-24 手動裁断、P.4-7 自動裁断

カッター刃



カットライン



メディアについて

メディアの取り扱い注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。



- ★ 推奨メディアをお使いください
安定した高画質で作図するには、弊社推奨のメディアをお使いください。
- ★ メディアの伸縮
包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。
室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。
包装を開けて、使用する場所で30分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- ★ カールしたメディア
カールしたメディアは使用しないでください。紙詰まりの原因になります。
コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。

インクカートリッジについて

インクの種類について

本装置では以下の7種類のインクが使用可能です。
インクの各種類の特長を説明します。



★ インクカートリッジは、ミマキ純正品をご使用ください。

- 水性顔料インク [PIGcm] : 耐候性に優れた顔料系インクです。大型カラーサインディスプレイ（看板等）の、屋外用プリントに最適です。
4色[ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー]と6色[ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー・ライトシアン・ライトマゼンタ]をご使用いただけます。
- 水性顔料インク [PIGGO] : 耐候性に優れた顔料系インクです。大型カラーサインディスプレイ（看板等）の、屋外用プリントに最適です。
4色[ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー]と6色[ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー・グリーン・オレンジ]をご使用いただけます。
- 水性染料インク [Dye] : 染料系インクです。ポスターなどの屋外用プリントに最適です。耐候性は、顔料系インクに比べ劣ります。
4色[ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー]と6色[ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー・ライトシアン・ライトマゼンタ]をご使用いただけます。
- 昇華転写インク [Sub] : 分散染料系のインクです。作図した画像をその他のメディアに転写する用途に使用できます。
4色[ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー]と6色[ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー・ライトシアン・ライトマゼンタ]をご使用いただけます。
- 捺染顔料インク [TPig] : 布地に直接着染させるインクです。後処理として、熱プレスが必要です。非常に扱いやすく、Tシャツなどへのプリントに適しています。
4色[ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー]をご使用いただけます。
- 反応染料インク [Reac] : 繊維に着染したインクとアルカリ溶剤により、化学反応を起こさせ、定着させるインクです。綿、麻、レーヨンなどへのプリントに適しています。
11色[ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー・ライトシアン・ライトマゼンタ・グリーン・ブルー・オレンジ・レッド・ゴールド・イエロー]より8色をご使用いただけます。
- 酸性染料インク [Acid] : 着染後に、高温の蒸し処理をすると定着するインクです。ウール、シルク、ナイロンなどへのプリントに適しています。
9色[ブラック・シアン・マゼンタ・イエロー・ライトシアン・ライトマゼンタ・グリーン・ブルー・レッド]より8色をご使用いただけます。



★ 6色使用時は、洗浄液カートリッジが2本必要となります。

1

ご使用の前に

インクの取り扱い上のご注意



- ★ インクカートリッジは、ミマキエンジニアリング純正のインクカートリッジをご使用下さい。
- ★ インクカートリッジは分解しないでください。
- ★ インクには毒性はありませんが、インクに直接ふれないようにしてください。誤ってインクを付けてしまったときは、石けんや水ですぐに洗い落としてください。万一、インクが目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師に相談してください。
- ★ インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、カートリッジからインクがもれることがあります。
- ★ インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
- ★ 専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。
- ★ インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- ★ インクカートリッジは開封してから6カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは作図品質が低下します。
- ★ インクカートリッジは冷暗所で保存してください。
- ★ インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ★ 空になったインクカートリッジは、使用している地域の条例に従って処分してください。

インクの初期充填をする

本装置を初めて使用する場合、本装置にインクカートリッジを取り付けてインクを充填する必要があります。

以下の操作手順にしたがって、インクカートリッジを取り付けてください。

操作手順

- ① 電源をオンにします。

初期動作後、各インクステーションに装填するインクタイプを表示します。

インクタイプ
Pig-4 (KKCCMMYY)

- ② ジョグキー【▲】【▼】を押して、インクステーションに装填するインクの種類を設定します。



インクタイプ
Pig-6 (KCMYcm)

[Pig-4(KKCCMMYY)]	水性顔料インク
[Pig-6(KCMYcm)]	水性顔料インク(ライトシア・ライトメソータ)
[Pig-6(KCMYGO)]	水性顔料インク(グリーン・オレンジ)
[Pig-8(KCMYcmGO)]	水性顔料インク(ライトシア・ライトメソータ・グリーン・オレンジ)
[Dye-4(KKCCMMYY)]	水性染料インク
[Dye-6(KCMYcm)]	水性染料インク(ライトシア・ライトメソータ)
[Sub-4(KKCCMMYY)]	昇華転写インク
[Sub-6(KCMYcm)]	昇華転写インク(ライトシア・ライトメソータ)
[TPig4(KKCCMMYY)]	捺染顔料インク
[Reac8]	反応染料インク
[Acid8]	酸性染料インク

- ③ 【ENTER】 キーを押します。



カートリッジ ①
セットシテクタ ② サイ

- ④ インクステーションに各インクカートリッジを差し込みます。

インクカートリッジ底の2個の突起をインクステーションのレールに合わせて差し込みます。インクカートリッジを正規の位置まで差し込むと、音を鳴らしてお知らせします。

- ⑤ インクカートリッジをセットすると、自動的にインク充填が始まります。

ジ ュ シ ン チ ュ ウ

- ⑥ インク充填を終了すると、ローカルモードになります。

<ローカル>

使用可能なメディアについて

使用可能なメディアの取り扱い方法と、メディアのセット方法について説明します。

使用可能メディア

使用可能メディアは、ロール紙とリーフ紙があります。
本装置で使用可能なメディアの種類とサイズを説明します。

使用可能メディアの種類

光沢系メディア	:	白ペット光沢紙、フォトペーパー、塩ビ光沢紙
マット系メディア	:	合成紙、塩ビマット、ターポリン、電飾フィルム
クロス系メディア	:	防炎クロス
その他	:	版下フィルム、キャンパス、ターポリン、オレフィン耐水フィルム

使用可能メディアサイズ

使用可能メディアサイズは、JV22の機種により異なります。
ご使用の機種について参照してください。

	メディアサイズ	JV22-130	JV22-160
ロール紙	最大幅	1371 mm	1620 mm
	最小幅	210 mm	
	最大作図範囲*1	1361 mm	1610 mm
	厚さ	1.0 mm以下	
	ロール外形	φ 180 mm以下	
	ロール重量	25 Kg以下。但し、ロールを保持したとき、ロールにたわみがないこと。	
	紙管内径	2インチまたは3インチ	
	作図面	ロール外側面	
	巻終わり処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着	
リーフ紙	最大幅	1371 mm	1620 mm
	最小幅	210 mm	
	最大作図範囲*1	1371 mm	1610 mm

*1：但し、360x360、360x540、360x720の高速スキャンモードは、最大作図範囲が短くなります。

JV22-130: 1321mm

JV22-160: 1570mm

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。



- ★ 専用紙のご使用
メディアは本装置用の専用紙をお使いください。専用紙以外のメディアを使用し、トラブルが発生した場合は、責任を負いかねますのでご注意ください。
- ★ メディアの厚さ
メディアをセットする場合、必ずヘッドの高さを調整してください。メディアやヘッドを破損する恐れがあります。
- ★ メディアの伸縮
包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて30分以上、使用する場所の外気にさらす必要があります。
- ★ カールしたメディア
カールしたメディアは使用しないでください。紙づまりの原因になります。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。
- ★ その他の注意点
コート紙の表面に物を置かないでください。コート紙によっては変色する場合があります。透明なメディアや裏面が黒いメディアは、正しく検出できない場合があります。

メディアをセットする前に

ヘッドの高さ調整をする

使用するメディアの厚みにより、ヘッドの高さを調整する必要があります。
メディア厚に適正なヘッド高さでない場合は、作図も適正に行われません。
また、ヘッド高さ調整をしないと作図品質の低下、またはメディアや本装置の破損になるなど大変危険です。前回使用したメディアと異なるメディアを使用する場合は、必ずヘッドの高さを確認してください。



- ★ ヘッドの高さ調整はメディアセットする前に行ってください。
メディアをセットしたままの状態ではヘッド高さ調整を実行すると、キャリッジアウトの際に、メディアにキャリッジがぶつかり、ヘッドを破損するおそれがあります。

 P.2-6

モードについて

本装置には、次の5つのモードがあります。
各モードについて説明します。

ノットレディモード

メディア検出する前のモードです。【REMOTE】キー以外のキーが有効です。

ローカルモード

メディア検出後のモードです。
全てのキーが有効です。
コンピュータからのデータを受信できます。ただし、作図は行いません。
ローカルモードでは以下の操作が可能です。

1. ジョグキーを押してメディア検出や原点を設定します。
2. 【CLEANING】キーを押してヘッドクリーニングを行います。
3. 【DATA CLEAR】キーを押して、受信した作図データを消去します。
4. 【FUNCTION】キーを押して、各種機能を設定します。
5. 【TEST】キーを押して、テスト作図を行います。

リモートモード

受信したデータを作図します。
作図中に、【REMOTE】キーを押すと一時停止します。

ファンクションモード

ローカルモード時に、【FUNCTION】キーを押すとファンクションモードになります。各ファンクション機能の設定を行います。

ガイダンスモード

ローカルモード時に、【ENTER】キーを押すとガイダンスモードになります。
【ENTER】キーを押す毎に、以下の情報を表示します。

1. インクの残量
2. ヘッドの高さ
3. インクタイプ
4. ファームウェアバージョン、コマンド名称とバージョン

2章

作業の流れ

作図を行うために必要な操作、および設定方法について説明します。

本章の内容

作業の流れ	2-2
電源をオンにする	2-3
フロントカバー、メンテナンスカバーについて	2-4
フロントカバーの開閉について	2-4
メンテナンスカバーについて	2-4
インクステーションとヘッドの関係	2-5
ヘッドの高さを調整する	2-6
メディアのセット	2-8
ロールメディアのセット	2-9
巻き取り装置の使い方	2-14
リーフメディアをセットする	2-15
ノズル詰まりの確認／解消	2-18
メディアの送り量を補正する [メディア単位]	2-20
作図中にメディアの送り量を補正する	2-22
画像データを作図する	2-23
作図を開始する	2-23
作図を中止する	2-24
作図が終了したら	2-24
インク残量が少なくなったら	2-25
電源をオフにする	2-26

作業の流れ

電源のオンから印刷が終了するまでの作業の流れです。
各項目の詳細説明は、参照ページをご覧ください。



電源をオンにする

電源スイッチ : 本装置の前面にあります。

- ① 本装置の電源を入れます。
本装置前面にある電源スイッチを ON にします。



- ★ フロントカバーが閉じていることを確認してください。
フロントカバーが開いていると初期動作を行いません。

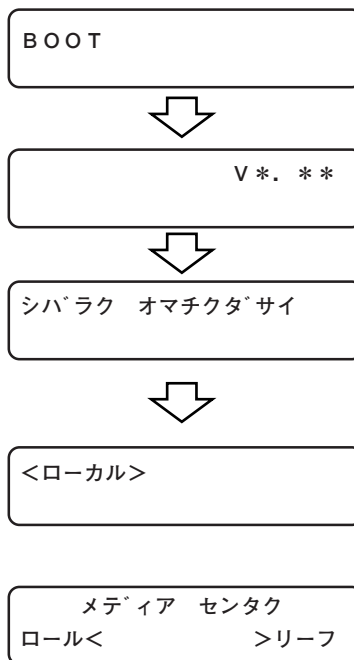
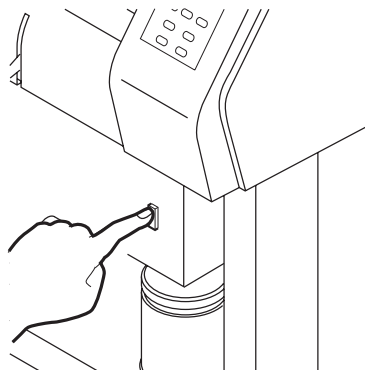
電源をオンにすると[BOOT]を表示し、続けてファームウェアのバージョンを表示します。

- ② [シバラク オマチクダサイ]の表示を点滅します。
初期動作を実行します。

- ③ ローカルモードになります。

すでにメディアをセットしてある場合は、メディア選択の表示をします。

- ④ 接続してあるコンピュータの電源をオンにします。



フロントカバー、メンテナンスカバーについて

フロントカバーの開閉について



- ★ 作図中にフロントカバーを開けないでください。作図中にフロントカバーを開けると、画像の作図が中断され、継続できなくなります。
- ★ フロントカバーは、取っ手を持って開閉してください。樹脂面を持って開閉すると破損の原因になります。

作図中にフロントカバーを開けると、安全のためキャリッジが停止し、本装置の作図動作が止まります。

この場合、次の操作手順で本装置、およびコンピュータを再起動してください。

- ① 作図中にフロントカバーを開けると、メッセージを表示します。
作図を停止します。

カバーヲ シメテクダサイ

- ② コンピュータからのデータ送信を停止します。


- ③ フロントカバーを閉めます。

(COVER OPEN)
<ENT>ヲ オシテクダサイ

- ④ 【ENTER】 キーを 1 回押します。



ショキカチュウ
シバラク オマチクダサイ

- ⑤ キャリッジが動き始めます。
本装置の電源をオンにした時と同じ初期動作をします。  P.2-3

メンテナンスカバーについて P.1-4




- ★ 本カバーは、ヘッド面の掃除をより良く行うために、印刷領域外でヘッド面のアクセスをしやすくするためのスペースを隠すためのカバーです。通常、モーターや他の部品への保護も含むため本カバーを外した状態で作図を行うことはできません。
- ★ 作図を行う場合、本カバーは所定の位置へ取り付けて下さい。
- ★ なお、本カバーを開けた場合は、フロントカバーと同じパネルメッセージを表示します。

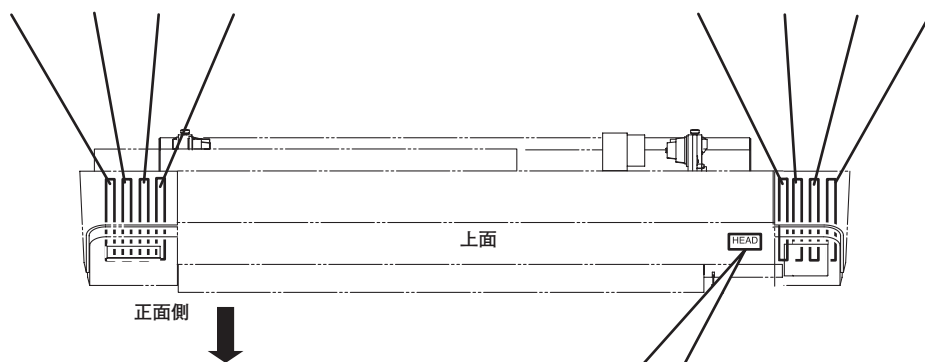
インクステーションとヘッドの関係

キャリッジには、4つのヘッドを搭載しています。1つのヘッドには、2列のノズルを配置しています。1列のノズルに対して1色のインクが対応しています。

ヘッドのノズル詰まりのチェックや、インクエンドとなったカートリッジの交換、インクを充填する場合の対応関係にご使用ください。

インクステーションのカートリッジは、初期充電の際に選択した4色または6色のインクセットにより異なります。(インクセットの変更手順  P.5-17)

Bk	Bk	C	C	4色インクセット	M	M	Y	Y
Bk	C	M	Y	6色インクセット	Lc/G	Lm/O	W	W
Bk	C	M	Y	8色インクセット	Lc	Lm	G	O



	ヘッド1	ヘッド2	ヘッド3	ヘッド4
4色インクセット インクカートリッジを各色2本ずつ搭載します。	Bk	C	M	Y
6色インクセット インクカートリッジを各色1本ずつ搭載します。 空いているインクステーションには、洗浄液カートリッジ(SPC-0188S)を入れてください。	Bk C	M Y	Lc Lm G O	W W
8色インクセット インクカートリッジを各色1本ずつ搭載します。	Bk C	M Y	Lc Lm	G O

※ Bk : ブラック / M : マゼンタ / C : シアン / Y : イエロー / Lc : ライトシアン / Lm : ライトマゼンタ / G : グリーン / O : オレンジ / W : 洗浄液 (SPC-0188S)を示します。

ヘッドの高さを調整する

- ★ 使用するメディアの厚みに応じて、ヘッドの高さを上下2段階に調整できます。紙やフィルム等の薄物から、0.5 mm厚のターポリンなどの素材にまで作図できます。
- ★ 使用目的に応じ、ヘッド、イニシャル高さのレンジを2段階に調整できます。
- ★ 本JV22の印刷高さ範囲は、一般印刷 (Loレンジ: 1.5mm/2.5mm)から転写印刷 (Hiレンジ:3.5mm/4.5mm) です。
出荷時設定値は、Loレンジ 1.5mmで調整してあります。



注意

- ★ メディアをセットする前に、ヘッドの高さを調整してください。ヘッドの高さが「薄い」にセットしてある場合、厚いメディアをセットしてから高さ調整をすると、ジャムやヘッドを破損する原因になります。
- ★ 高さ調整レバーは、上か下のどちらかに確実にセットしてください。ヘッドの高さを調整しないで厚いメディアを使用すると、作図品質が悪くなるばかりでなく、ヘッドが故障する場合があります。
- ★ 作図方向を[ソウホウコウ]に設定して使用する場合は、ヘッドの高さを調整した後に、メンテナンス機能の[ドットイチホセイ]を行ってください。

P.5-7

レンジ	高さ調整レバー	ヘッド高さ	切換エリア	
Loレンジ (一般印刷)	Thin/ ウスイ	1.5mm (出荷時設定位置)	↑ ユーザ切換 ↓	↑ サービスマン切換 Lo ⇄ Hi の変更 については弊社 営業へお問い合わせ 下さい。 ↓
	Thick/ アツイ	2.5mm		
Hiレンジ (転写系印刷)	Thin/ ウスイ	3.5mm	↑ ユーザ切換 ↓	
	Thick/ アツイ	4.5mm		

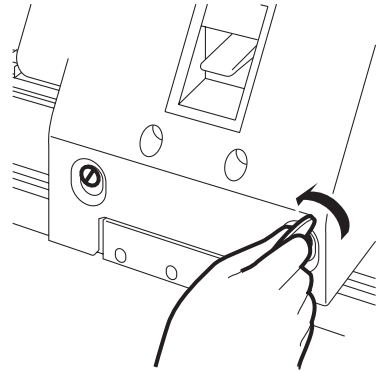


注意

- ★ 機械設置後に転写インク (又は水性顔料インク) に変更される場合、ヘッドイニシャル高さ (Hi/Loレンジ) の調整が必要です。弊社営業にご相談下さい。

操作手順

- ① キャリッジをプラテン上に移動します。
 電源 ON 時： メンテナンス機能の「ステーションメンテ - キャリッジアウト」を実行します。 (P.5-4)
 電源 OFF 時： 正面カバーを開けて、手でキャリッジを動かします。
- ② ヘッド正面にある 2ヶのネジをコイン等で 1 回転程度、緩めます。

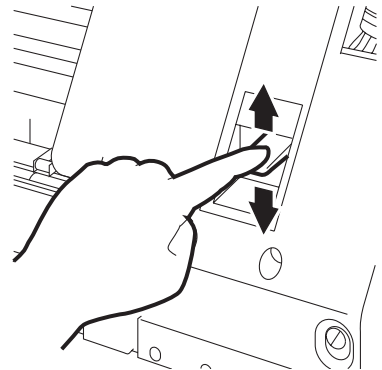


- ③ 高さ調整レバーをメディアに応じて調整します。



注意

- ★ 高さ調整レバーは、必ず上か下に設定してください。中間に設定すると、作図異常をおこします。

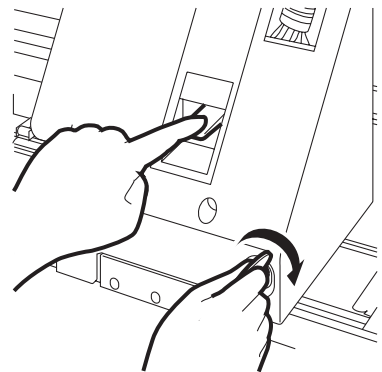


- ④ 高さ調整レバーを押さえたまま、2ヶのネジを締めます。



注意

- ★ 高さ調整レバーを押さえないでネジを締めると、正常な位置にヘッドを固定できません。
- ★ ネジは緩まないように確実に締めてください。



- ⑤ キャリッジをステーションに戻します。

メディアのセット

本装置では、ロールメディアとリーフメディアが使用できます。
メディアは、弊社推奨のメディアをお使いください。



- ★ 透明なメディアをセットすると、ディスプレイに次のメッセージを表示し、メディアを検出できない場合があります。

ERROR 50
メディアケンシュツ

- ★ メディアに直射日光が当たっていると、正しくメディア幅を検出できない場合があります。
- ★ 作図済みのメディアは使用しないでください。インクがピンチローラーに付着し、メディアが汚れたり、メディア検出できない場合があります。
- ★ カールがきついメディアや内巻きのメディアは、メディアがプラテンに沿うように巻きくせをなおしてからご使用ください。

ロールメディアのセット

本装置にロールメディアを取り付けます。



注意

★ ロール紙は重いので、足などに落とさないように注意してください。

- ① 本装置背面のクランプレバーを引き上げます。

- ② 左側のホルダー手前のネジを緩めます。

- ③ ロールホルダーの位置を決めます。

ロールメディアの紙管の内径は、2インチと3インチの2種類の大きさがあります。

ロールホルダーを「Roll holder set」シールの表示に合わせ、ネジを締めます。

- ④ 左側のホルダーにロールメディアの紙管を差し込みます。

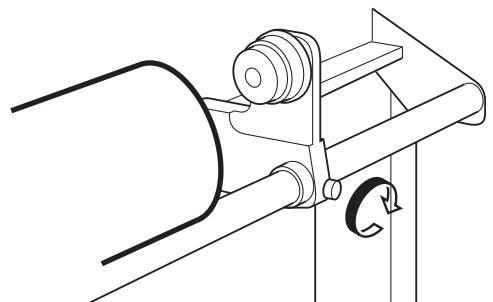
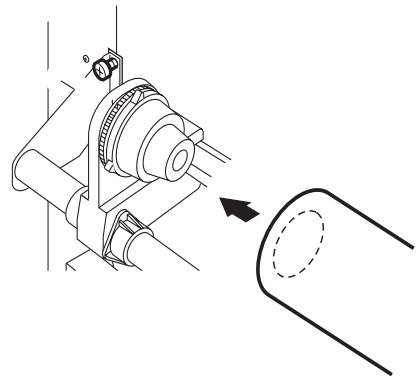
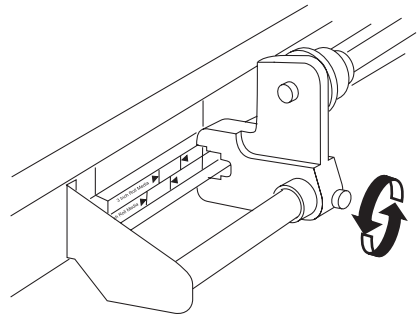
ロールメディアの紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。

- ⑤ 右側のロールホルダーのネジを緩めます。

ロールメディアの幅に合わせて、ロールホルダーの位置を調整します。



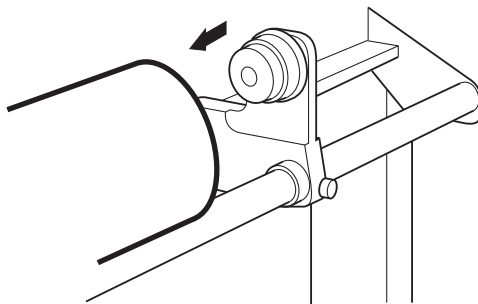
- ロールメディアをメディア置きバーの上に置きながらセットすると、メディアの扱いが容易になります。



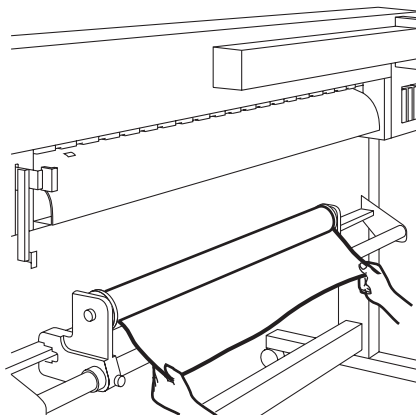
2

作業の流れ

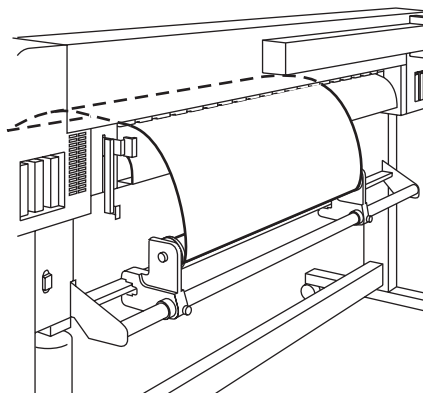
-
- ⑥ ロールメディアの紙管に、右側のロールホルダーを入れます。
紙管の奥までロールホルダーを差し込んだら、ネジで固定します。



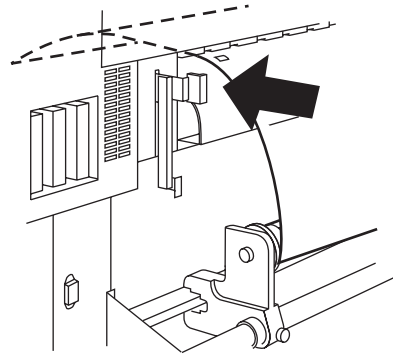
- ⑦ ロールメディアを本装置の背面から、プラテンの先端まで届く長さまで引き出します。



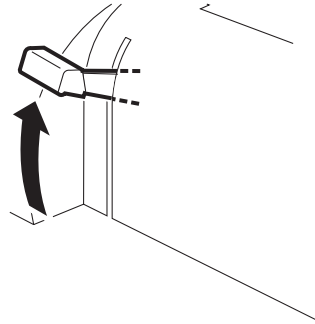
- ⑧ 引き出したロールメディアをプラテンとピンチローラーの間に差し込み、メディアを本装置の前面に引き出します。



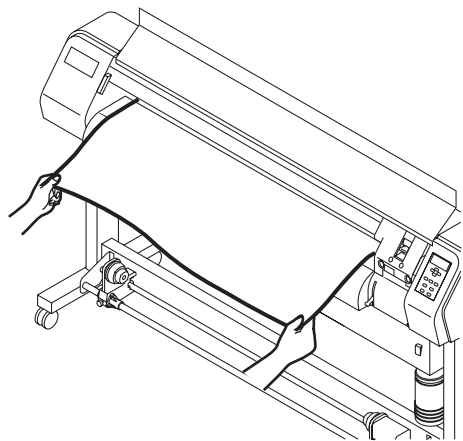
- ⑨ 後ろのクランプレバーを押します。
前面のクランプレバーが下がり、メディアを保持します。(仮セットします。)



- ⑩ フロントカバーを開けて、本装置の前面のクランプレバーを引き上げます。

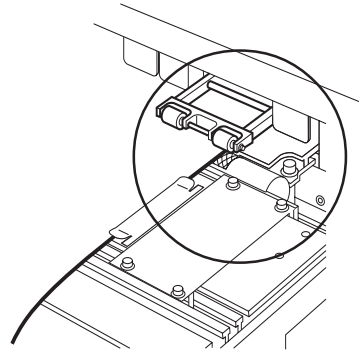


- ⑪ ロールメディアを静かに引き出し、軽くロックがかかる位置で止めます。

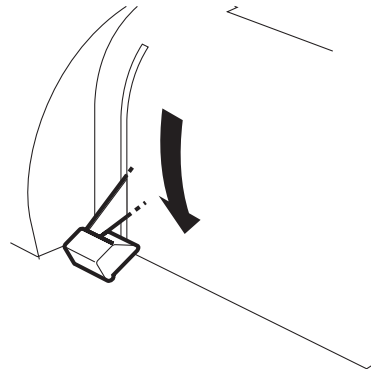




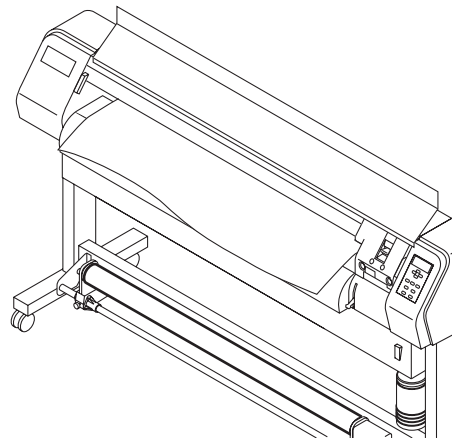
- ★ メディアを使用する場合、右端のピンチローラーより右側にメディアが出ないようにセットしてください。



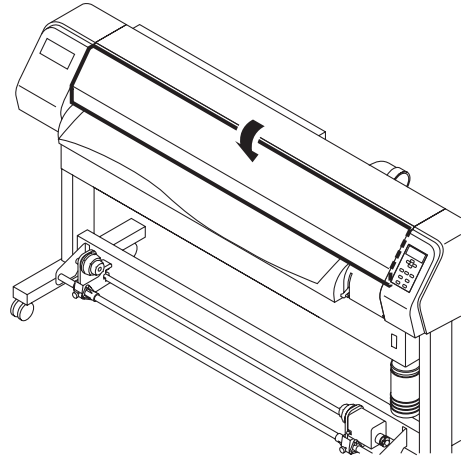
- ⑫ ロールメディアの左右の先端を均等に引っ張り、クランプレバーを下げます。



- ⑬ 巻き取り装置に空の紙管をセットします。



- ⑭ フロントカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。メディア幅を検出します。
ジョグキー【▼】を押して、メディアを巻き取り装置の紙管の位置までフィードします。



- ⑮ メディアを空の紙管に粘着テープで固定します。



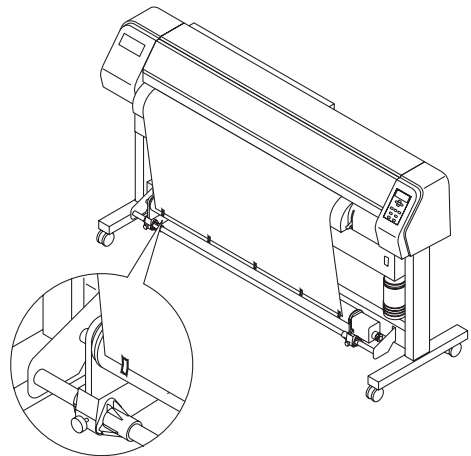
- ロールホルダーからプラテンに入るまでの間のロール紙に、不均一なテンションによるタワミ、シワが無いかを確認します。
ロールメディアを左右均等に引っ張った状態で、クランプしてください。



- 使用するロールメディアの幅が広いと、作図中にメディアの端が浮いてきます。「メディア押え」を使用して、メディア端を押さえておくと、メディアの浮きを防止して、メディアがよれることなく作図できます。



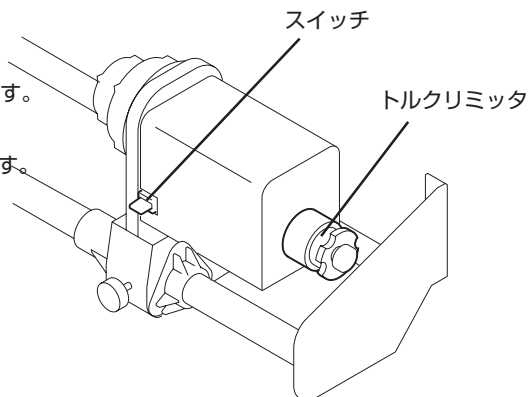
- ★ 厚みのあるメディアを使用する場合は、「メディア押え」をメディアから外して作図してください。



巻き取り装置の使い方

巻き取り装置には、メディアの巻き取り方向や巻き取りのオフを設定するスイッチがあります。

- REVERSE : 作図面を内側にして巻き取ります。
- OFF : 巻き取りを行いません。
- FORWARD : 作図面を外側にして巻き取ります。



トルクリミッタを調節をする

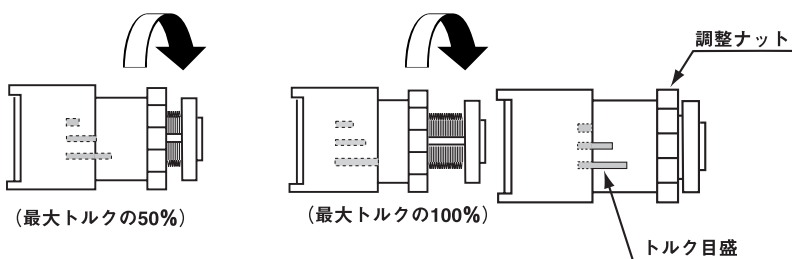
巻き取り装置には、トルクリミッタが付いています。

トルクリミッタを調整して、巻き取りの強さを変更することができます。

(工場出荷時は、トルクリミッタを最も強く設定してあります。)

薄いメディアを使い、テンションが強すぎる時はトルクリミッタの調節を弱めてください。

- 時計回り : テンションが強くなる (ターポリン等の重量のある厚いメディア)
- 反時計回り : テンションが弱くなる (軽いメディア)



- ★ トルクリミッタの調節が弱すぎると、メディアを確実に巻き取ることができません。またトルクリミッタの調節が強すぎると、メディアによってはたんでしまい、画質に影響する場合があります。

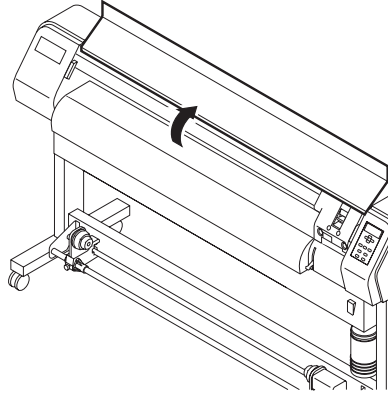
リーフメディアをセットする

リーフメディアは、ロールメディアと異なりメディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

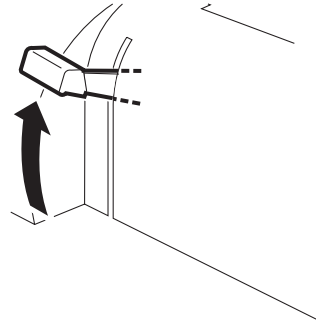


★ リーフメディアを使用する場合は、メディアが曲がってセットされないように注意してください。

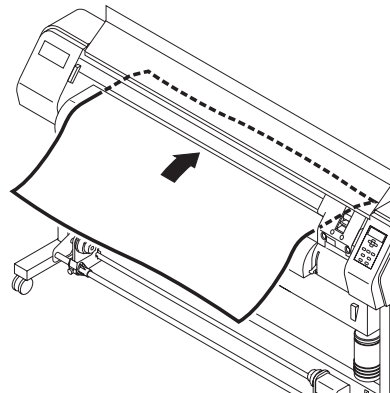
- ① フロントカバーを開けます。



- ② クランプレバーを上げます。

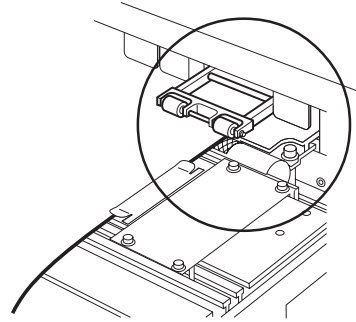


- ③ リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込みます。

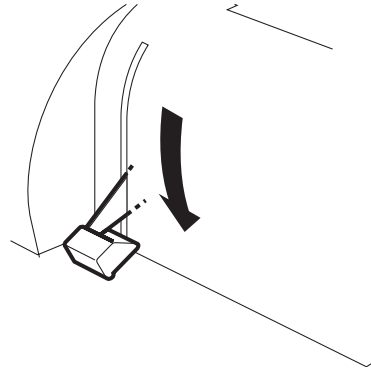




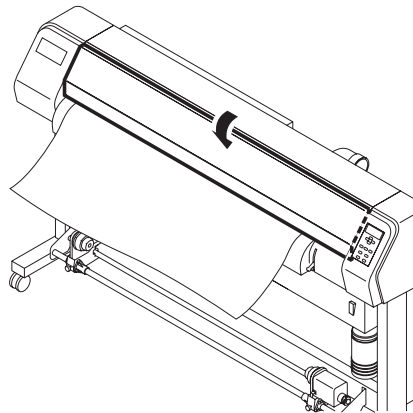
- ★ リーフメディアを使用する場合、右端のピンチローラーより右側にメディアが出ないようにセットしてください。




- ④ クランプレバーを下げます。



- ⑤ フロントカバーを閉じます。



- ⑥ 【ENTER】 キーを押します。
 初期動作後、ローカルモードに戻ります。
 P.2-3



<ENT>ヲ オシテクダサイ

- ⑦ ジョグキー 【▶】 を押します。
 キャリッジが動いてメディア検出をします。
 その後ローカルモードになります。



メディア センタク
 ロール< >リーフ

<ローカル>
 ハバ° : 1 2 7 2 mm

ノズル詰まりの確認／解消

テスト作図を行い、ノズル詰まりなどの作図不良がないか確認します。
異常がある場合は、クリーニング機能を実行します。



- ★ テストパターンをリーフメディアに作図する場合、A4 サイズの横置き以上のサイズのメディアを使用してください。

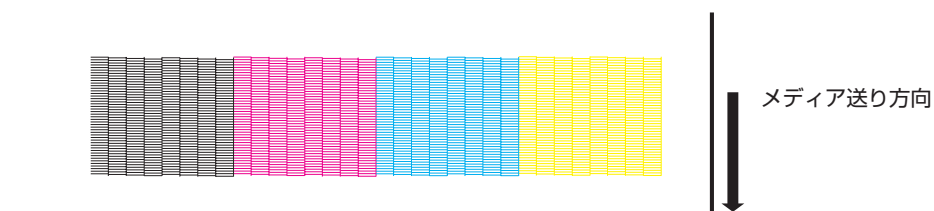


- ★ クリーニング動作を繰り返しても作図不良が直らない場合は、ワイパとインクキャップを清掃してください。

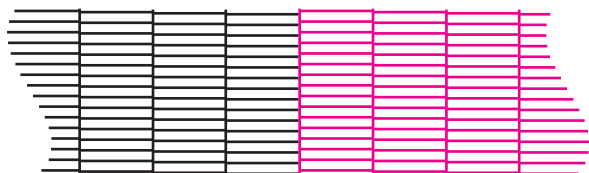


- ★ ロールメディアをお使いの場合、テスト作図終了後、【REMOTE】キーまたは【FUNCTION】キーを押すと、メディアが作図原点位置まで戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。作図を開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。

テストパターン

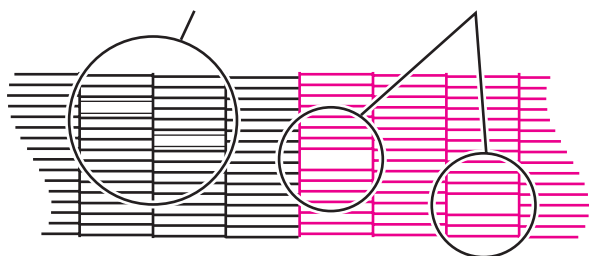


正常なパターン



異常なパターン

ノズルが汚れている インクが詰まっている



操作手順

- ① ローカルモードにします。
【REMOTE】キーを押して、ローカルモードに戻します。
- ② 【TEST】キーを押します。
- ③ 【ENTER】キーを押します。
テスト作図を開始します。
- ④ 作図結果を確認します。
異常がある場合は、手順⑤に進みます。
正常な場合は、操作を終了します。
- ⑤ 【CLEANING】キーを押します。
- ⑥ ジョグキー【▲】【▼】または【◀】【▶】を押して、クリーニングするヘッドを選択します。
ヘッド1,2とヘッド3,4のセットで選択します。
- ⑦ ジョグキー【▲】【▼】を押して、クリーニングの方法を選択します。
ノーマル:
線の抜けがある時に使用します。
ソフト:
線の曲がりがある時に使用します。
キョウリョク:
ノーマル、ソフトのいずれかのクリーニングを実行しても作図不良が直らない時に使用します。
- ⑧ 【ENTER】キーを押します。
クリーニング動作を開始します。動作の進行状況を2行目に*表示で知らせます。
- ⑨ ローカルモードに戻ります。
- ⑩ 再度手順②を実行し、作図結果を確認します。
作図結果が正常になるまで手順②から手順⑧を繰り返します。

REMOTE



<ローカル>
ハハ° : 1 2 7 2 mm

TEST



テストサクス°
<ENT>

ENTER



** テストサクス° **

CLEANING



クリーニング°
ヘッド° センタク : 1 2 . 3 4



クリーニング°
ヘッド° センタク : 1 . 3 4



クリーニング°
ヘッド° センタク : -- . 3 4



クリーニング°
タイプ° : ノーマル

クリーニング°
タイプ° : ソフト

クリーニング°
タイプ° : キョウリョク

ENTER



クリーニング° チュウ
*****-----

<ローカル>
ハハ° : 1 2 7 2 mm

メディアの送り量を補正する [メディアホセイ]

メディアの種類を交換したり、ヒーターの温度を変更した場合、巻き取り装置の使用の有無により、メディアの送り量が変化します。必ずメディアの送り量を補正してください。補正値が適切でないと、作図した画像に縞などが入るなど、綺麗に作図できない場合があります。



- ★ ロールメディアをお使いの場合、[メディアホセイ]を終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。作図開始前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。

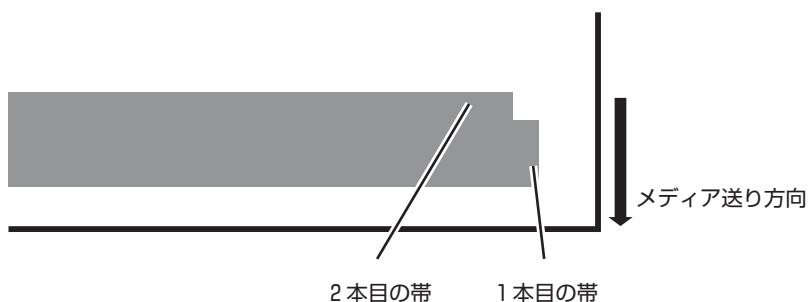
補正パターン

2本の帯を作図します。

2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。

設定値

-255 ~ 255



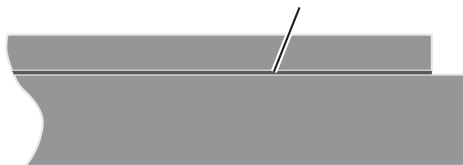
補正値が大きい

隙間が空いている



補正値が小さい

重なっている



操作手順

- ① ローカルモードになっていることを確認します。

<ローカル>
ハハ° : 1 2 7 2 mm

- ② 【FUNCTION】 キーを押します。

FUNCTION
セッテイ <ENT>

- ③ 【ENTER】 キーを押します。

ENTER
セッテイ
センタク : タイフ° 1

- ④ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、タイプを選びます。

▲
セッテイ
センタク : タイフ° 1
▼

- ⑤ 【ENTER】 キーを押します。

ENTER
タイフ° 1
メテ°イアホセイ <ent>

- ⑥ 【ENTER】 キーを押します。

ENTER
タイフ° 1
サクス° カイシ <ent>

サクス° チュウ
シハ°ラク オマチクダ°サイ

- ⑦ 出力パターンの状態により、補正値を入力します。

ジョグキー【▲】【▼】を押して、補正値を入力します。

▲
タイフ° 1
ホセイチ = 20
▼



- 補正値を 30 変更することにより、帯が約 0.1mm 移動します。この移動量を参考にして、補正量を決定してください。

- ⑧ 【ENTER】 キーを押します。

補正値を登録します。

正常なパターンを作図するまで手順⑥～⑧を繰り返します。

ENTER
タイフ° 1
サクス° カイシ <ent>

- ⑨ 【END】 キーを 3 回押すと、ローカルモードに戻ります。

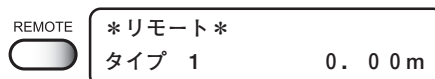
<ローカル>
ハハ° : 1 2 7 2 mm

作図中にメディアの送り量を補正する

「メディアホセイ」(☞ P.2-20)では、ローカルモード中に作業を行いましたが、ここではリモートモード、または画像データ作図中にメディア送り量を補正する方法を説明します。

操作手順

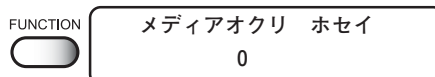
- ① 【REMOTE】 キーを押します。



- ② 【FUNCTION】 キーを押すと、現在の補正値を確認できます。

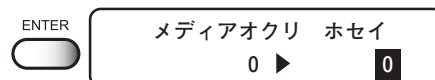
補正値が適正な場合や操作を中止する場合、

【END】 キーを押すとリモート表示に戻ります。

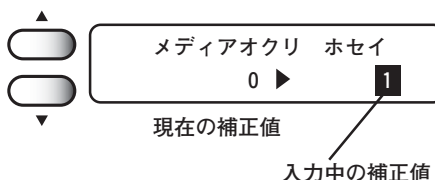


- ③ 【ENTER】 キーを押します。

補正値の変更状態になります。



- ④ ジョグキー【▲】または【▼】を押して、補正値を変更します。



- 画像データ作図中の場合、補正値を変更した時点で数値が反映されるため、作図をみながら微調整することができます。



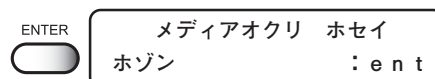
- 補正値の単位はローカルモード時の「メディアホセイ」と同じです。
(☞ P.2-20)



- 【END】 キーを押すとリモート表示に戻ります。変更した補正値は無効になり、変更前の値になります。

- ⑤ 【ENTER】 キーを押します。

補正値の保存確認になります。



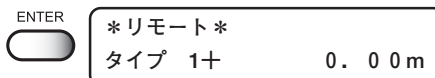
- ⑥ 【ENTER】 キーを押すと、リモート表示に戻ります。

補正値を保存し、次回の電源投入時にも有効になります。

本操作で設定を変更した場合、タイプ番号の後に“+”を表示します。

【END】 キーを押すと、一時的に補正値を保存します。

次回の電源投入時やメディア検出で無効になりません。



画像データを作図する

作図を開始する

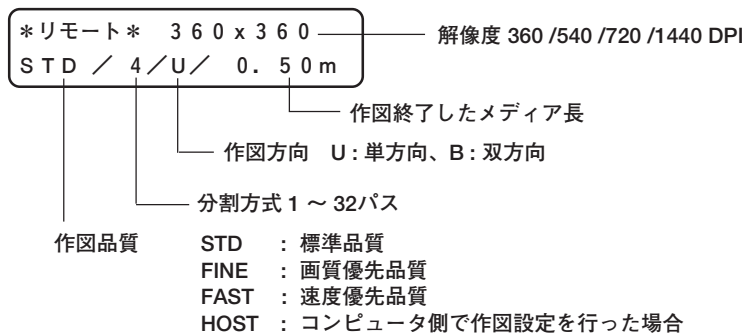
コンピュータからデータを受信するためのモード切り換え、および作図中の表示について説明します。

なお、各種機能の設定については、「4章 設定機能について」をご覧ください。



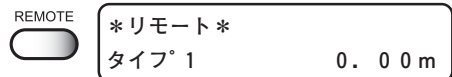
★ ロールメディアをご使用の際は、本装置背面のロールメディアにたわみがないか確認してから、作図を行ってください。たわみがあると、画質不良の原因になります。

作図を開始すると、ディスプレイは下記の情報を表示します。



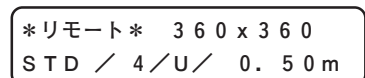
操作手順

- ① 【REMOTE】 キーを押します。
リモートモードに変わります。
現在選択しているタイプ（作図条件）を確認できません。

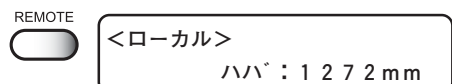


- ② コンピュータからデータを送信します。
データの作図条件を表示します。
データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

- ③ 作図を開始します。
作図した部分の長さを表示します。



- ④ 作図が終了したら、【REMOTE】 キーを押してローカルモードに戻します。

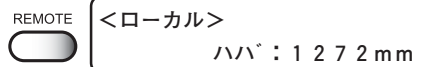


作図を中止する

作図を中止する場合、作図動作を止めて受信したデータを本装置から消去します。データを消去しないと、リモートモードにした際、中止したデータからプリントを開始してしまいます。

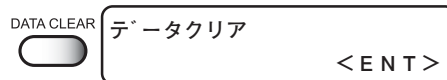
操作手順

- ① 【REMOTE】キーを押して、作図を中止します。

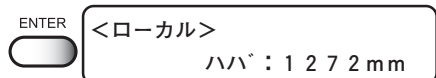


- ② コンピュータからデータを送信している場合、データ送信を止めます。

- ③ 【DATA CLEAR】キーを押します。
受信したデータを消去します。



- ④ 【ENTER】キーを押します。
ローカルモードに戻ります。



作図が終了したら

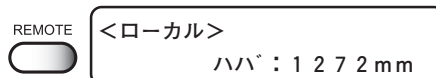
作図終了後のメディアカットについて説明します。



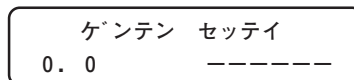
- ★ [オートカット]がオフに設定してある場合 (P.4-7) は、以下の手順でメディアをカットします。

操作手順

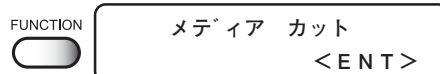
- ① ローカルモードにします。
【REMOTE】キーを押して、ローカルモードに戻します。



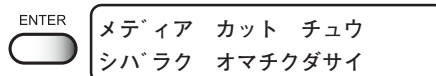
- ② ジョグキーを押し、[メンテナンス]を選択します。
ジョグキーは、いずれのキーも使用可能です。



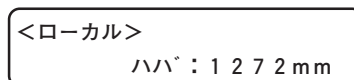
- ③ 【FUNCTION】キーを押します。



- ④ 【ENTER】キーを押します。
メディアをカットします。



- ⑤ ローカルモードに戻ります。
作図前の状態に戻ります。



インク残量が少なくなったら

インクカートリッジ内のインクが少なくなってくるとメッセージを表示します。
なお、作図は続行できますが、作図中にインクが無くなる場合があります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。



- ★ [ニアエンド]を表示したら、早めにインクを交換してください。
また、連続出力をする場合は、インク残量を確認後、作図を開始してください。作図中にインクが無くなると、作図を停止します。インクを交換すると、色が変わってしまう場合があります。

<使用中に、インク残量が少なくなった場合>

インク残量が少ない色を表示します。
右の表示は、ブラックインクの残量が少ないことを示しています。

<ローカル>
ニアエンド` K-----
(4色モデル)

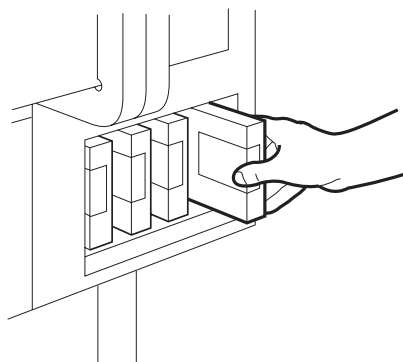
<使用中にインクの残量が全く無くなった場合>

インクが無くなった色を表示します。
右の表示は、マゼンダインクが無くなったことを示しています。

<ローカル>
インクエンド` --M-----

交換手順

- ① 作図中に、上記のメッセージを表示します。
[ニアエンド]の表示では、1 データを作図することにローカルモードになり、動作を停止します。作図が終了したら、手順②に進んでください。
[インクエンド]の表示で、作図は続行できません。
- ② 新しいインクと交換します。
表示した色のインクカートリッジを引き抜いて、新しいインクカートリッジをセットします。
- ③ リモートモードにします。
連続して作図ができます。



インク情報を表示する

インク残量を表示し、確認することができます。

- ① ローカルモード時に、【ENTER】キーを押します。
インク残量を1から9までの数字で表示します。
1はニアエンドを、9はフルを示します。

<ローカル> K K C C M M Y Y
ザンリョウ 9 8 7 8 5 6 7 7

ニアエンド									フル
:									:
1	2	3	4	5	6	7	8	9	

- ② 【ENTER】キーを押すと、ローカルモードに戻ります。

電源をオフにする

プロッタの使用が終了したら、前面にある電源スイッチを押してオフにします。電源をオフにする際は、データを受信していないか、未出力のデータが残っていないかを確認してください。

また、ヘッドがキャッピングステーションにあることを確認してください。

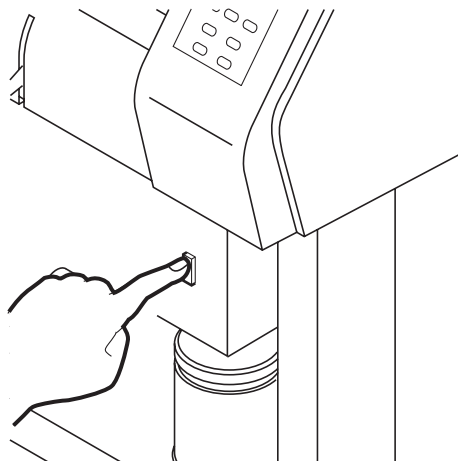


★ キャッピングしていないまま電源をオフした場合は、再度電源をオンにしてください。ヘッドがキャッピングステーションに戻り、ヘッドの乾燥を防ぎます。

作図中に電源をオフすると、ヘッドがキャッピングステーションに格納されない場合があります。キャッピングしていない状態で長時間放置するとノズル詰まりの原因になります。

★ RasterLink(xx)をお使いの際は、プリンタの電源を切る前に RasterLink(xx)を終了して下さい。
プリンタの電源を先に切ると、PC が動作しなくなる場合があります。

① 前面にある電源スイッチを OFF します。



3章

日常のお手入れ

日常行うお手入れについて説明します。

本章の内容

日常のお手入れ	3-2
お手入れ上のご注意	3-2
外装のお手入れ	3-3
プラテンの清掃	3-3
メディアセンサーの清掃	3-3
ワイパとキャップのクリーニング	3-4
ノズルの洗浄[ノズル洗浄]	3-6
廃インクタンクのインクが溜まった場合	3-9
インク排出路の洗浄について[ハイ洗浄]	3-10
長期間使用しない場合[ホコリ洗浄]	3-12

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

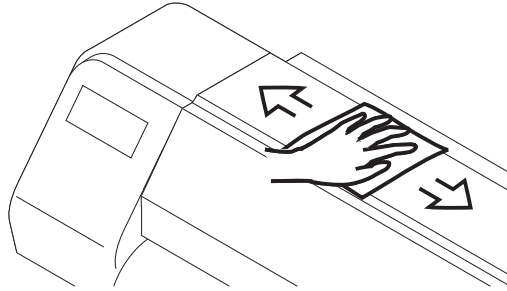
お手入れ上のご注意



- ★ 本装置を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。
- ★ 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
- ★ お手入れは、主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因になります。
- ★ ヘッドのノズル面やワイパ、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。
- ★ ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- ★ 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。プロッタ機構が故障する恐れがあります。

外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。

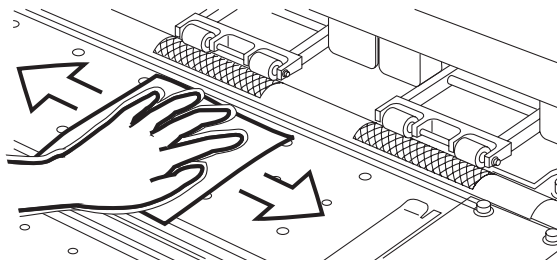


プラテンの清掃

プラテン上は、メディアをカットするため、糸や紙粉等で汚れます。ペーパータオルで汚れを拭き取ります。

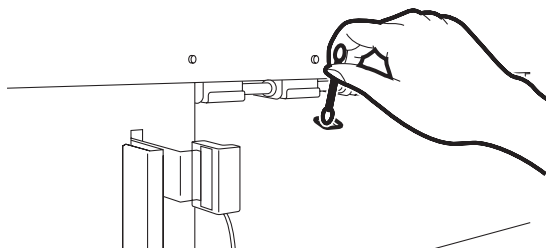


- ★ プラテンはプラスチック部品の為、清掃時は薬品等を使用しないで下さい。



メディアセンサーの清掃

綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。



ワイパとキャップのクリーニング

キャップは、ヘッドのノズルが乾燥して目詰まりするのを防止します。
 ワイパは、ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取ります。
 本装置を使用しているとインクやホコリ等でワイパやキャップが汚れてきます。
 付属の綿棒を使用してクリーニングします。
 画質や本装置の状態を良好に保つために、定期的にクリーニングをしてください。



- ★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。
 キャリッジは操作キーを使用して動かします。

操作手順

- ① 【FUNCTION】 キーを 1 回押します。

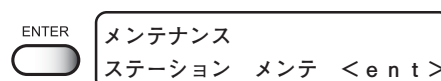
- ② ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス] を選びます。



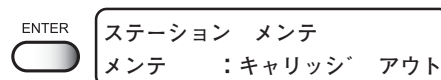
- ③ 【ENTER】 キーを押します。
 [ステーション メンテ]を表示します。



- ④ 【ENTER】 キーを押します。
 [キャリッジ アウト]を表示します。

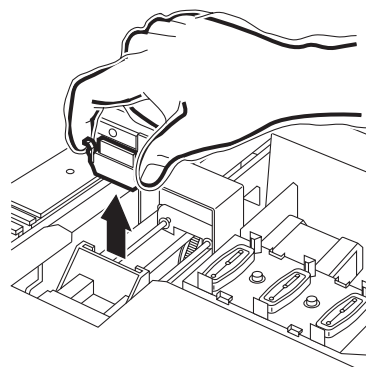
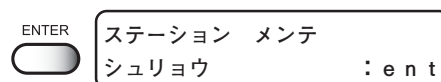


- ⑤ 【ENTER】 キーを押します。
 キャリッジがプラテン上に移動します。



- ⑥ フロントカバーを開けます。

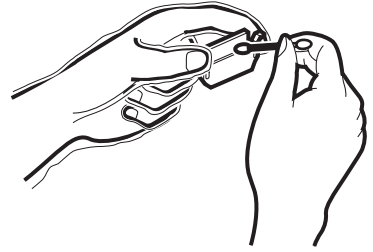
- ⑦ ワイパ両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。



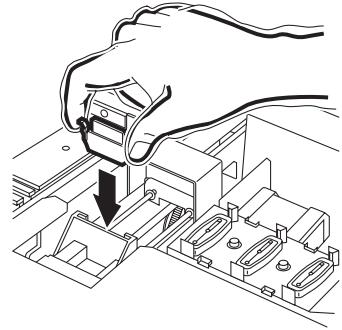
- ⑧ ワイパとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗淨液(SPC-0137)を含ませた綿棒で取り除きます。



- 汚れ、曲がりかひどい場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。☞ P.5-5



- ⑨ 両端の突起を持って、クリーニングしたワイパを差し込みます。

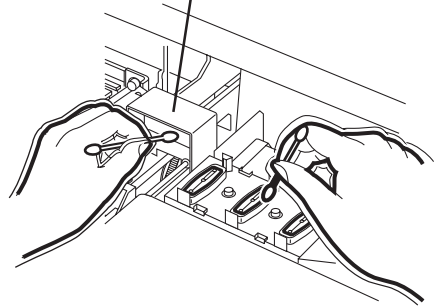


- ⑩ インクキャップのゴムや、ワイパカバーの天井に付着したインク等を綿棒で拭き取ります。

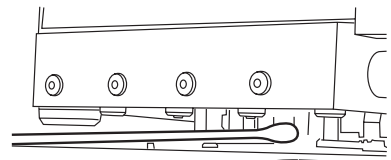


- ★ 綿棒の繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、作図不良の原因になります。

ワイパカバー



- ヘッドの側面にもインクが付着していることがあります。インクを綿棒で拭き取ってください。



- ⑪ フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。
初期動作を実行し、ローカルモードに戻ります。

シヨキカ チュウ
シバラク オマチクダサイ



<ローカル>

ノズルの洗浄[ノズルセンジョウ]

捺染顔料インク (TPig)、反応染料インク (Reac)、酸性染料インク (Acid) でノズル抜けが発生する場合、ノズルを洗浄します。



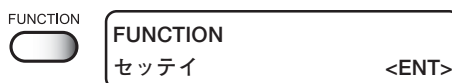
注意

- ★ この洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、[インク ジュウテン]機能 (P.5-10) を実行してください。それでも解消されない場合は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。
- ★ [ニアエンド]、[インクエンド]を検出したインクカートリッジがあると、ノズル洗浄などのクリーニング (インク吸引) 動作を行いません。[ニアエンド]未検出のインクカートリッジに交換してください。

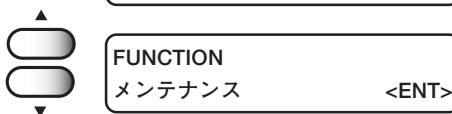
用意するもの： 洗浄液ボトルキット A29 (SPC-0137：別売品)

操作手順

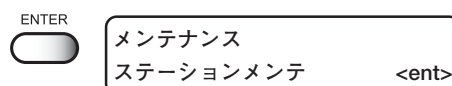
- ① 【FUNCTION】 キーを押します。



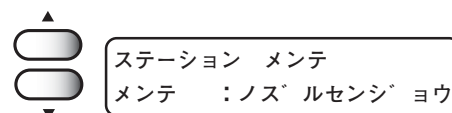
- ② ジョグキー 【▲】 【▼】 を押して、[メンテナンス]を選びます。



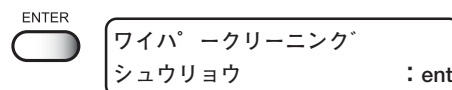
- ③ 【ENTER】 キーを押します。
[ステーション メンテ]を表示します。



- ④ ジョグキー 【▲】 【▼】 を押して、[ノズルセンジョウ]を選びます。

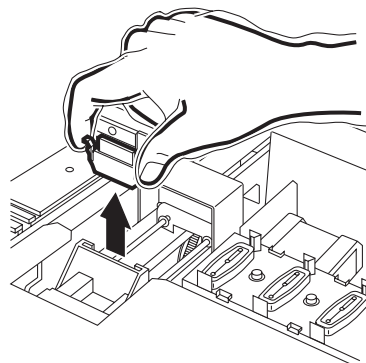


- ⑤ 【ENTER】 キーを押します。
キャリッジがプラテン上に移動します。



- ⑥ フロントカバーを開けます。

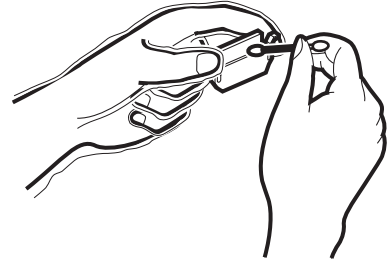
- ⑦ ワイパ両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。



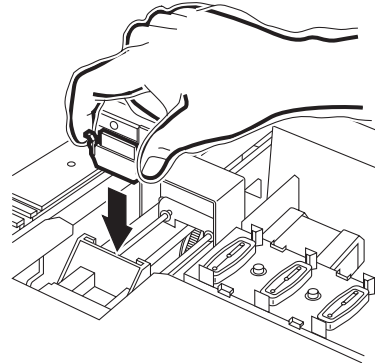
- ⑧ ワイパとブラケットに付着したインクを、洗浄液A29 (SPC-0137) を含ませた綿棒で取り除きます。



- 汚れ、曲がりひどい場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。(P.5-5)



- ⑨ 両端の突起を持って、クリーニングしたワイパを差し込みます。

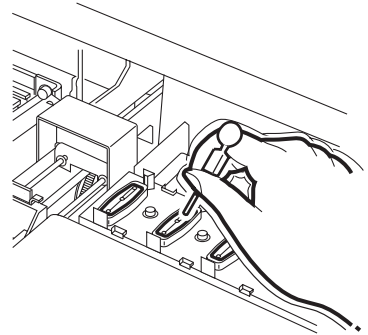


- ⑩ 【ENTER】 キーを押します。



センゾウエキヲミタス
シュウリョウ : ent

- ⑪ スポイトで洗浄液A29 (SPC-0137) をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。



- ⑫ フロントカバーを閉めます。

- ⑬ 【ENTER】 キーを押します。



- ⑭ ジョグキー【▲】【▼】を押して、放置する時間を選びます。(1～99分：1分単位)
通常は「1分」に設定します。



ステーション メンテ
ハウチジ^ン カン : 1min

- ⑮ 【ENTER】キーを押します。
右の表示が、放置時間が終わるまで点滅します。
洗浄液吸引、クリーニング動作を行います。



シヨキカ チュウ
シハ^ク ラク オマチクダ^ク サイ



設定した放置時間が経過すると、ローカルモードに戻ります。

<ローカル>

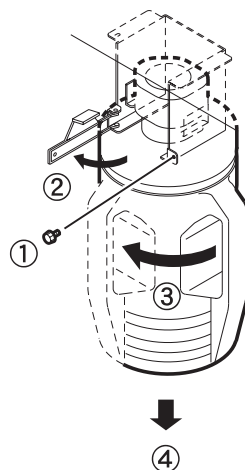
廃インクタンクのインクが溜ったら

ヘッドのクリーニングなどで使用したインクは、本装置の右下にある廃インクタンクにたまります。

廃インクタンクのインク量が「FULL」ラインを超えたら、速やかに廃インクタンクを交換してください。

操作手順

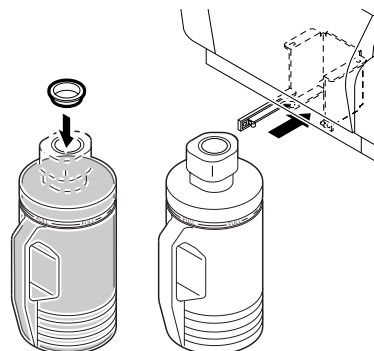
- ① 廃インクタンクガードのネジをはずします。
- ② 廃インクタンクガードを開けます。
- ③ 廃インクタンクの取っ手を持ち、上に持ち上げます。
- ④ 上に持ち上げたまま、廃インクタンクを90度回し、下方に下げます。
- ⑤ 手前に引き出します。



- ⑥ 廃インクタンクを交換します。
取っ手を持ち、矢印の方向に差し込みます。
インクが溜まっている廃インクタンクには、キャップをはめます。



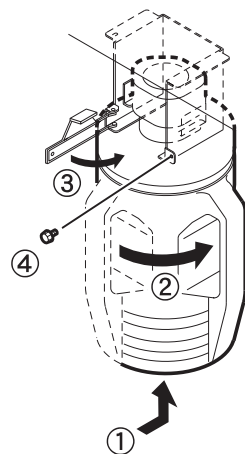
- ★ 廃インクタンクを引き出す際に、廃インクを飛ばさないように、廃インクタンク口をペーパータオルなどで押さえながら、ゆっくり引き出してください。
- ★ インクで床を汚さないように、下に紙を敷いてから交換してください。



- ⑦ 差し込んだ廃インクタンクを上を持ち上げて90度回します。
- ⑧ 廃インクタンクガードを閉めます。
- ⑨ 廃インクタンクガードのネジを締めて、廃インクタンクを固定します。



- ★ 廃インク処理方法についての詳細は、お住まいの地方自治体等にご相談下さい。



3

日常のお手入れ

インク排出路の洗浄について[ハイロ センジョウ]

捺染顔料インク (TPig)、反応染料インク (Reac)、酸性染料インク (Acid) を使用している場合、インクの排出路内において、インクの凝固によるインク詰まりが発生する場合があります。このインク詰まりを防止するために、定期的に、排出路内を洗浄してください。

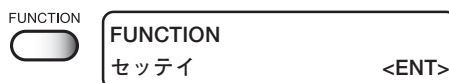


- ★ キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。
キャリッジは[ステーションメンテ]機能を選択して動かします。

用意するもの： 洗浄液ボトルキット A29 (SPC-0137：別売品)

操作手順

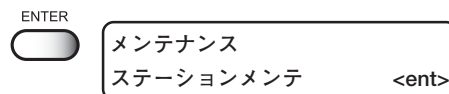
- ① 【FUNCTION】 キーを 1 回押します。



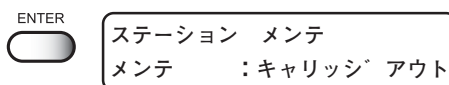
- ② ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス] を選択します。



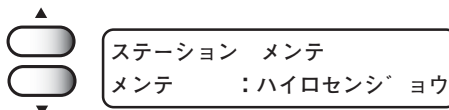
- ③ 【ENTER】 キーを押します。
[ステーション メンテ]を表示します。



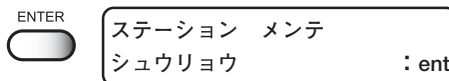
- ④ 【ENTER】 キーを押します。
[キャリッジ アウト]を表示します。



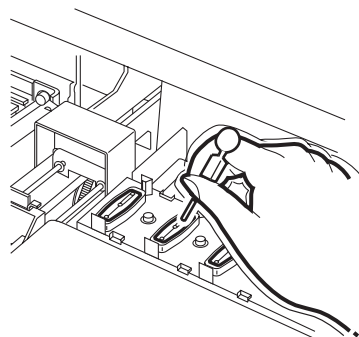
- ⑤ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ハイロ センジョウ]を選択します。



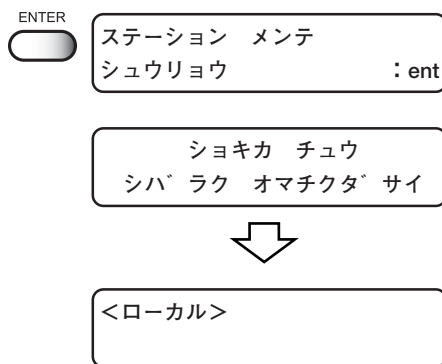
- ⑥ 【ENTER】 キーを押します。
キャリッジがプラテン上に移動します。
空吸引動作が始まります。吸引動作を 5 秒、停止時間が 10 秒をそれぞれ交互に動作し続けます。



- ⑦ フロントカバーを開けます。
- ⑧ スポイトで洗浄液 A29 (SPC-0137) をとります。空吸引が停止している間に、キャップからあふれる寸前まで洗浄液を垂らします。すべてのキャップに対して同様に洗浄液を垂らします。



- ⑨ フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押します。30 秒間空吸引を実行した後、ローカルモードになります。



長期間使用しない場合[ホカン センジョウ]

1週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本装置を保管してください。

以下のインクを使用している場合は、本機能の使用をおすすめします。

- ・捺染顔料インク (TPig)
- ・反応染料インク (Reac)
- ・酸性染料インク (Acid)



- ★ [ニアエンド]、[インクエンド]を検出したインクカートリッジがあると、ノズル洗浄などのクリーニング（インク吸引）動作を行いません。[ニアエンド]未検出のインクカートリッジに交換してください。

用意するもの： 洗浄液ボトルキット A29 (SPC-0137：別売品)

操作手順

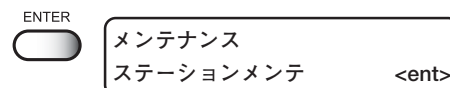
- ① 【FUNCTION】 キーを 1 回押します。



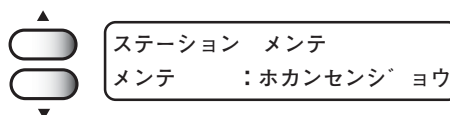
- ② ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選択します。



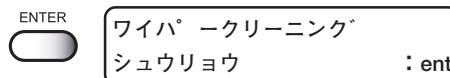
- ③ 【ENTER】 キーを押します。
[ステーション メンテ]を表示します。



- ④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ホカン センジョウ]を選択します。

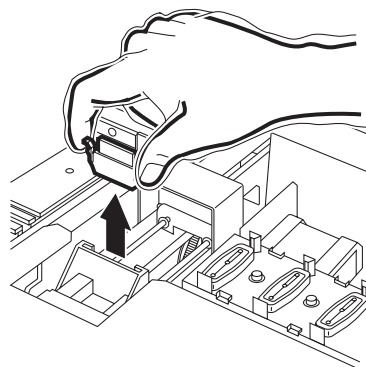


- ⑤ 【ENTER】 キーを押します。
ヘッドがプラテン上に移動します。



- ⑥ フロントカバーを開けます。

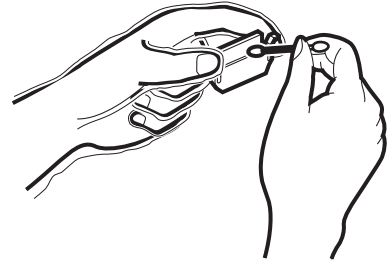
- ⑦ ワイパ両端の突起を持ってワイパを引き抜きます。



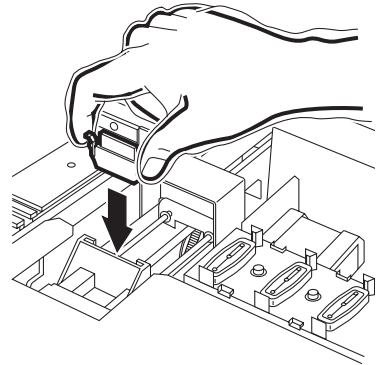
- ⑧ ワイパとブラケットに付着したインクを、洗浄液A29 (SPC-0137) を含ませた綿棒で取り除きます。



- 汚れ、曲がりかひどい場合は、新しいワイパと交換します。本操作を終了後、ワイパ交換手順に従って、ワイパを交換してください。(P.5-5)



- ⑨ 両端の突起を持って、クリーニングしたワイパを差し込みます。

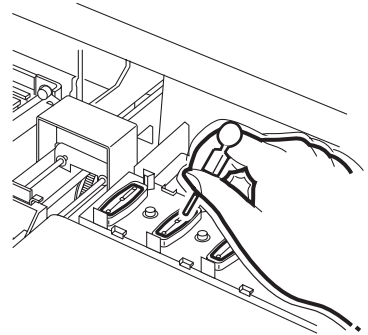


- ⑩ 【ENTER】 キーを押します。



センジョウエキヲミタス
シュウリョウ : ent

- ⑪ スポイトで洗浄液A29 (SPC-0137) をとり、キャップ一杯になるまで垂らします。



- ⑫ フロントカバーを閉めます。

- ⑬ 【ENTER】 キーを押します。



- ⑭ ジョグキー【▲】【▼】を押して、放置する時間を選びます。(1～99分：1分単位)
通常は「1分」に設定します。



ステーション メンテ
ホウチジカン : 1min

- ⑮ 【ENTER】キーを押します。
ノズルの洗浄を実行します。

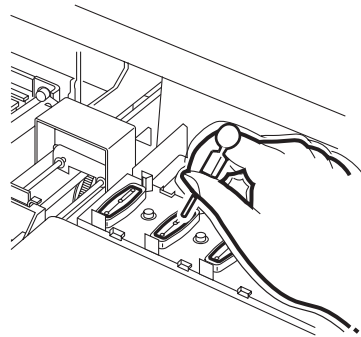


シヨキカ チュウ
シハラク オマチクダサイ

ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがプラテン上に移動します。

- ⑯ フロントカバーを開けます。

- ⑰ スポイトで洗浄液A29 (SPC-0137)をとり、
キャップ一杯になるまで垂らします。
空吸引動作は断続的に行っているため、この作業を
数回繰り返し、インクの排路をクリーニングします。
すべてのキャップに対して行います。



- ⑱ フロントカバーを閉め、【ENTER】キーを押
します。
ヘッドがステーションに戻り、ローカルモードにな
ります。



ステーション メンテ
シュウリョウ : ent

<ローカル>

4章

設定機能について

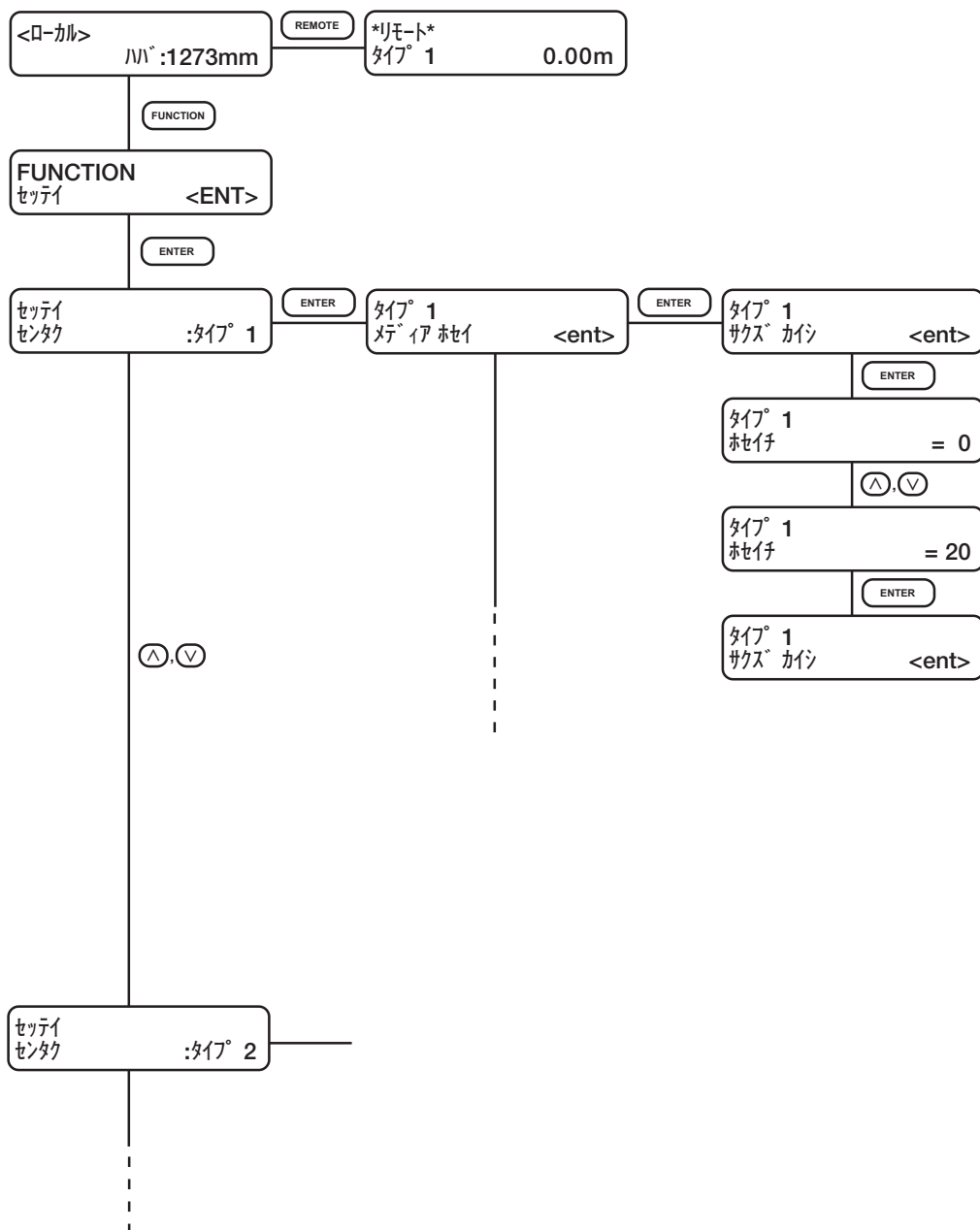
ファンクション機能、ヒーターの適温設定、ファンの動作設定など設定機能について説明します。

本章の内容

メニューの基本操作	4-2
設定機能について	4-4
タイプの登録	4-4
設定機能一覧	4-5
作図中自動的にクリーニングする[オートクリーニング ²]	4-10
作図範囲について	4-12
作図原点を設定する	4-13
原点設定位置の目安	4-13

メニューの基本操作

ここでは、各モードの切り替え、メニューの操作方法について説明します。
各メニューに入るキー操作は、下図のようになります。
詳細なメニュー構造は、付録をご覧ください。



- ① **ローカルモードにします。**

リモートモードにしても作図しないことを確認してから、【REMOTE】キーを押してローカルモードにします。
- ② **ファンクションモードに入ります。**

【FUNCTION】キーを押すと、ファンクションモードに入ります。
ファンクションモードは、設定機能とメンテナンス機能に分かれています。
ここで設定機能かメンテナンス機能かを選択します。
- ③ **タイプを選択します。**

タイプは4種類あり、それぞれのタイプにファンクション機能を設定できます。
使用するメディアの種類によってファンクション機能を設定できます。
- ④ **ファンクション機能を選択します。**

ジョグキー【▲】または【▼】を押して、機能を選択します。
- ⑤ **選択したファンクション機能に入ります。**

【ENTER】キーを押します。
- ⑥ **パラメータを選択します。**

ジョグキー【▲】または【▼】を押して、パラメータを選択します。
- ⑦ **設定を登録します。**

【ENTER】キーを押します。
- ⑧ **ローカルモードに戻ります。**

【END】キーを数回押して、ローカルモードに戻ります。

設定機能について

ファンクションモードの設定機能には 17 項目の機能があります。

17 項目の機能は、それぞれ 4 タイプに登録できます。

メディアの種類別にタイプを登録しておけば、違う種類のメディアに交換した場合に容易に作図条件等を変更できます。

- 例) タイプ 1 : フォトペーパー用
- タイプ 2 : 合成紙用
- タイプ 3 : 白ベツト光沢紙用
- タイプ 4 : 塩ビマット

タイプの登録

操作手順

- ① ローカルモードになっていることを確認します。

<ローカル>
ハバ° : 1 2 7 2 mm

- ② 【FUNCTION】 キーを押します。

FUNCTION
FUNCTION
セッテイ <ENT>

- ③ 【ENTER】 キーを押します。

ENTER
セッテイ
センタク : タイフ° 1

- ④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、タイプ 1 から 4 を選びます。

▲
▼
セッテイ
センタク : タイフ° 2

- ⑤ 【ENTER】 キーを押します。
各作図条件を設定します。

 P.4-5 ~

ENTER
タイプ° 1
メディアホセイ <ent>

タイプの変更

既にタイプ 1 から 4 の各作図条件を登録してある場合は、タイプを選択するだけで、作図に合わせた設定を切り替えて使用できます。

- ① 上記操作手順①から⑤を実行します。
使用するタイプを選択します。


タイプ° 1
メディアホセイ <ent>

- ② 【END】 キーを押します。

選択したタイプに登録している条件で作図を行います。

設定機能一覧

各機能の概要について説明します。

機能名称	概要	
メディアホセイ	メディアの送り量を補正する	P.4-6
サクズハウシキ	作図品質、作図方向を設定する	P.4-6
カサネヌリ	インクの重ね塗りを行う	P.4-7
カンソウジカン	インクの乾燥時間を設定する	P.4-7
オートカット	作図後、自動でメディアをカットする	P.4-7
ユウセンジュンイ	優先する設定（パネル/ホスト）を決定する	P.4-7
マージン	メディア左右の余白を設定する	P.4-8
リフレッシュ	作図中に、インクヘッドのリフレッシュを行う	P.4-8
メディアケンシュツ	メディアの検出方法を選択する	P.4-8
キュウチャク	メディアを吸着する力を選択する	P.4-8
ミリ/インチ	表示単位を決定する	P.4-8
スタンプ	出力日時、出力条件を印刷する	P.4-9
オートクリーニング	作図ごとに、ヘッドを自動的にクリーニングする	P.4-9
オートクリーニング2	作図中、自動的にヘッドをクリーニングする	P.4-10
セッテイリセット	設定条件を初期化する	P.4-9

メディアホセイ

メディアの種類を交換した場合は、必ずメディアの厚みによる送り量を補正します。
(-255～255)

サクズハウシキ

作図品質、作図方向、およびロジカルシークについて設定を行います。

・サクズヒンシツ：

3種類の中から選択します。
(ヒョウジュン, キレイ, ハヤイ)

・ハウコウ：

ヘッドが左右に動く際に、どちらに移動した時に作図するか設定します。

「タンハウコウ」は、ヘッドが左へ移動しながら作図します。

「ソウハウコウ」は、ヘッドが左右に移動しながら作図します。

* 「タンハウコウ」より高速に印刷しますが、画質は多少低下します。
(タンハウコウ, ソウハウコウ)

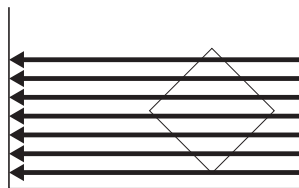
・ロジカルシーク：

通常、ヘッドはメディアの幅いっぱいに移動して作図します。

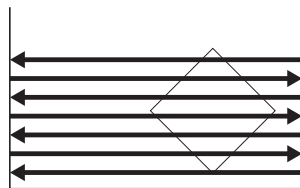
ロジカルシークは、画像の幅に合わせてヘッドが左右に移動します。
作図時間が短縮できます。

下図にヘッドの動きを示します。

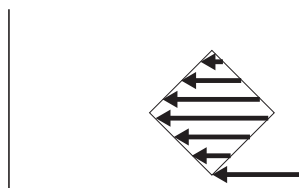
OFF (単方向作図)



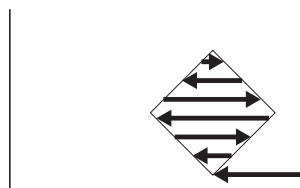
OFF (双方向作図)



ON (単方向作図)



ON (双方向作図)



カサネヌリ

インクの発色が悪い場合に重ね書きする回数を設定します。
(1～9回)

カンソウジカン

インクの乾燥時間を設定します。
スキャンごと（1回のヘッド往復）の待ち時間と、作図終了後のメディアカットまでの時間を設定します。
乾燥時間は、作図の印字密度およびメディアの種類により設定します。

・スキャン：

往路または復路による1回のヘッド移動で、一時停止する時間を設定します。
(0.0～9.9 sec.)




★ 3秒以上の時間を設定すると、インク詰まり防止機能が働き、ヘッドがいったんキャッピングします。

・オートカット：

作図が終了し、メディアカットまでの時間を設定します。
ただし、次に説明する「オートカット」機能が有効である必要があります。
(0～999 sec.)

オートカット

作図終了後、メディアの自動カットを設定します。
オートカットしない場合は、続けて次の画像データを作図します。
(ON, OFF)
メディアはオートカットを設定していなくても、手動でカットが可能です。
 P.2-24

ユウセンジュンイ

下記の7機能を本装置（パネル）で設定した値を優先にするか、コンピュータ（ホスト）で設定した値を有効にするか設定します。
(ホスト、パネル)

- | | |
|----------|----------|
| ・メディアホセイ | ・カンソウジカン |
| ・サクズハウシキ | ・オートカット |
| ・カサネヌリ | ・リフレッシュ |
| | ・キュウチャク |

マージン

メディア左右の余白を調整します。
標準設定の5 mm 以外の余白が必要な場合に設定します。
デッドスペースは、メディアの左右それぞれに設定可能です。
(0 ~ 195mm)

リフレッシュ

作図中に、インクヘッドのリフレッシュを行い、ヘッドのノズル詰まりを防ぎます。
ホコリが多い場所や、湿度の低い場所で本機能を使用します。
レベル数が大きいほど、リフレッシュ回数が多くなります。
(レベル0 ~ 3)

メディアケンシュツ

メディアの検出方法を設定します。

・セレクト：

初期動作でロールメディアとリーフメディアを選択するメニューを表示します。

ロールメディアを選択すると、メディアの「幅」を検出します。

リーフメディアを選択すると、メディアの「幅」と「長さ」を検出します。

・ハバ：

ロールメディアを使用する場合に設定します。

メディアをセットし克蘭プレバーを下げると、自動的にメディアの「幅」のみを検出します。

キュウチャク

メディアの吸着力を設定します。
メディアがプラテンに張り付きやすい場合は、「ヨワイ」に設定します。
(ヒョウジュン、ヨワイ、OFF)

ミリ／インチ

表示する単位を設定します。出荷時は[ミリ]に設定してあります。
(ミリ、インチ)

スタンプ

作図終了後に、出力日時、作図条件を印刷します。

- ・モードスタンプ：

作図条件を作図します。
(ON, OFF)

- ・タイムスタンプ

出力日時を作図します。
(ON, OFF)

オートクリーニング

自動的にヘッドをクリーニングします。

作図ごとにクリーニングを実行して、作図不良を防止します。
(ON, OFF)

セッテイリセット

設定した作図条件を、工場出荷時の設定値に戻します。
タイプごとにリセットします。
(ON, OFF)

作図中自動的にクリーニングする[オートクリーニング 2]

作図中のオートクリーニングを設定します。

作図中にヘッドのクリーニングを自動的に実行し、作図不良を未然に防ぎます。

ON : 作図中、自動的にヘッドのクリーニングを行います。

OFF : 作図中にヘッドのクリーニングは行いません。

[ON]に設定すると、クリーニング方法と、自動的にクリーニングを行うまでの間隔を設定できます。

クリーニング方法 : ソフト・ノーマル・キョウリョク (P2-19を参照)

実行間隔 : 0.1m～100.0m (0.1m単位で設定)



★ インクニアエンドが発生している場合は、本機能は動作しません。

★ ヘッド等の状態によっては、本機能を実行しても作図不良が復旧しない場合があります。

操作手順

- ① タイプの選択をします。

ここでは[タイプ 1]を選択します。

セッテイ
センタク : タイプ° 1

- ② [ENTER] キーを押します。

ENTER
タイプ° 1
サクス° ホウシキ < e n t >

- ③ ジョグキー [▲] [▼] を押して、[オートクリーニング 2] を選びます。

タイプ° 1
オートクリーニング° 2 < e n t >

- ④ [ENTER] キーを押します。

ENTER
タイプ° 1
オートクリーニング° 2 : OFF

- ⑤ ジョグキー [▲] [▼] を押して、[OFF] または [ON] を選びます。

ここでは [ON] を選んでください。

タイプ° 1
オートクリーニング° 2 : ON

- ⑥ [ENTER] キーを押します。

手順 5 で [OFF] を選んだ場合は、手順 11 へ進みます。

ENTER
タイプ° 1
CL タイプ° : フト


- ⑦ ジョグキー [▲] [▼] を押して、クリーニング方法を選びます。

クリーニング方法には [ソフト] [ノーマル] [キョウリョク] の 3 種類があります。



ここでは、[ノーマル] を選びます。

タイプ° 1
CL タイプ° : ノーマル


⑧ [ENTER] キーを押します。

ENTER
 タイプ 1
 ジョウコウカンカク=1.0 m


⑨ ジョグキー [▲] [▼] を押して、クリーニングの実行間隔を選びます。

▲

 タイプ 1
 ジョウコウカンカク=10.0 m
 ▼

⑩ [ENTER] キーを押します。

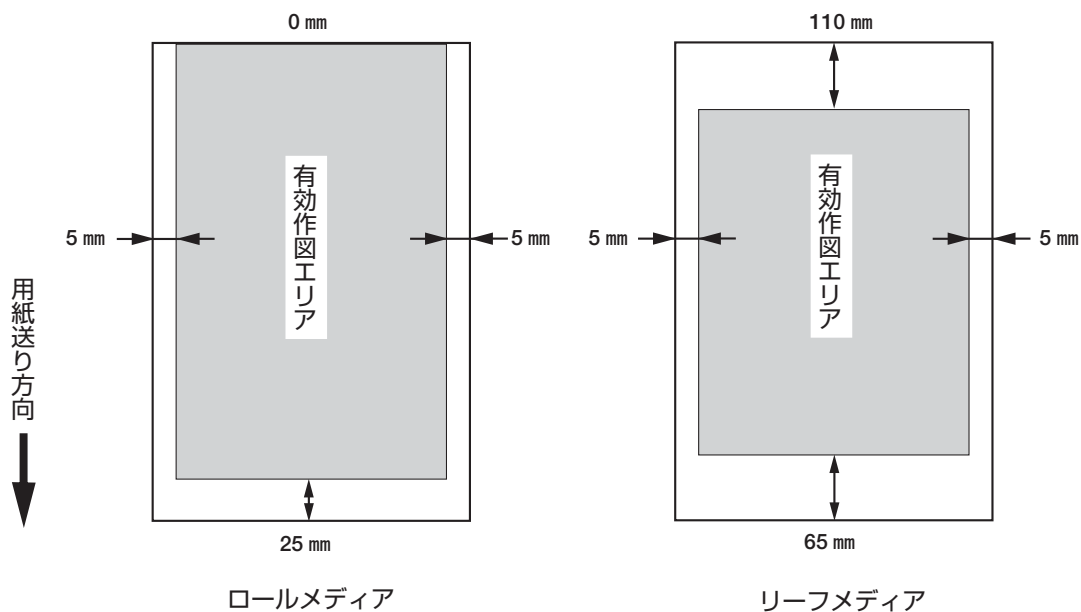
ENTER
 タイプ 1
 オートクリーニング 2 <ent>

⑪ [END] キーを2回押すと、ローカルモードに戻ります。

END
 2回
 <ローカル>
 ハバ : 1272 mm

作図範囲について

本装置は、使用するメディアに関係なく、機構上作図できないエリアがあります。
この作図不可のエリアを「デッドスペース」と呼びます。



★ 有効作図エリアを変更する場合は・・・

メディア左右のデッドスペースの初期値は、左右それぞれ 5 mm です。このデッドスペースを変更し、有効作図エリアを変更することができます。デッドスペースは、ファンクションモードの「マージン」で設定します。☞ P.4-8



注意

★ 360x360、360x540、360x720 の高速スキャンモードは、最大作図範囲が短くなります。

JV22-130 : 1361mm → 1321mm

JV22-160 : 1610mm → 1570mm

作図原点を設定する

セットしたメディア上に、データの作図原点を設定します。
指定された原点以外の場所で作図する場合は、原点を再設定します。

操作手順

1. メディア検出終了後、ジョグキー【▲】【▼】【◀】【▶】を押し、作図原点を設定する位置までキャリッジとメディアを動かします。

<ローカル>
ハハ : 1272 mm

ゲンテンセッテイ
0.0 0.0
原点位置 (長さ) 原点位置 (幅)

2. 作図原点を決定したら、【ENTER】キーを押します。

ENTER

ゲンテンセッテイ
X = 1500 Y = 972

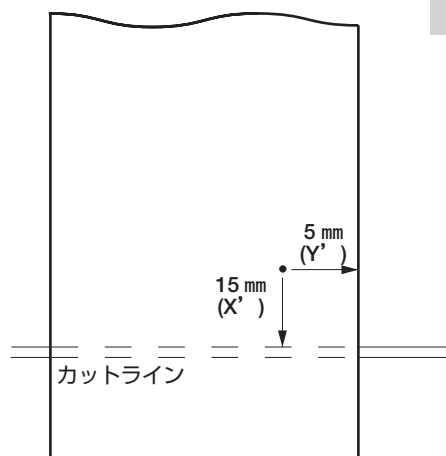
有効作図エリアを表示後、ローカルモードになります。(ロールメディアを使用の場合、Xは表示しません。)

次回の作図から、この設定位置を作図原点とします。

原点設定位置の目安

作図原点は、右図のようにカットラインから奥側 15 mm の位置になります。

横方向(Y')の値は、ファンクションモードの「マージン」の設定により変更できます。(P.4-8)



5章

メンテナンス機能

本装置を適正にお使いいただくよう、メンテナンスをしましょう。
作図品質の悪化の解決や、裁断用カッター刃の交換方法に関する機能を説明します。

本装置の維持や、使用を一定期間停止する場合にもメンテナンスを行ってください。

本章の内容

メンテナンスについて	5-2
メンテナンス機能の導入	5-2
設定機能一覧	5-3
ステーション内の清掃[ステーションメンテ]-[キャリッジアウト]	5-4
ワイパ交換のメッセージを表示したら[ステーションメンテ]-[ワイパリセット]	5-5
メディアの厚みが変わったら[トットリセリ]	5-7
作図中のワイピング動作を設定する[テイワリセリ]	5-9
ヘッドクリーニングでもノズル詰まりが復旧しない場合	5-10
[インクジュウテン]	5-10
設定条件を印刷する[リスト]	5-11
HEXコードで印刷する[テータンソ]	5-12
ワイパ寿命の警告表示[ワイパレベル]	5-13
時刻を設定する[シヨクセリ]	5-14
本装置の情報を表示する[マシヨウホウ]	5-15
カッター刃の交換	5-16
インク交換手順	5-17

メンテナンスについて

メンテナンスは、本装置を適正にお使いいただくためのお手入れに関する操作をいいます。
メンテナンスは、ファンクションメニューの[メンテナンス]を選択し、各詳細を設定してから実行します。

メンテナンス機能の導入

メンテナンス機能を実行する場合、操作パネル上で以下の操作が必要です。
メンテナンス機能への導入操作を覚え、各メンテナンスを実行します。

操作手順

- ① ローカルモードになっていることを確認します。

<ローカル>
ハ/ハ° : 1 2 7 2 mm

- ② 【FUNCTION】 キーを押します。

FUNCTION
FUNCTION
セッテイ <ENT>

- ③ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。

▲
FUNCTION
メンテナンス <ENT>
▼

- ④ 【ENTER】 キーを押します。


ENTER
メンテナンス
ステーション メンテ <ent>

- ⑤ 次の操作を選択します。
各機能を設定して、メンテナンスを実行します。

 P.5-3

設定機能一覧

各機能の概要と設定値について説明します。

機能名称	概要	
ステーションメンテ	ステーション内部の清掃、ワイパ交換などを行う (キャリッジアウト、ワイパコウカン)	P.5-4
ドットイチホセイ	ドット位置を補正する	P.5-7
インクジュウテン	「ヘッドクリーニング」しても ノズル詰まりが復旧しない場合に行う	P.5-9
インクコウカン	現在使用しているインクと異なるインクの充填を行う	P.5-16
リスト	本装置の設定状態を作図する	P.5-10
データダンプ	コンピュータから送信されるデータを HEX コードで 作図する	P.5-11
ワイパレベル	使用環境により、ワイパ交換時期の警告を早めに促す 設定を行う	P.5-12
ジコクセッテイ	本体内蔵カレンダーの日付、時刻を設定する	P.5-13
マシンジョウホウ	本装置のファームウェアバージョン、シリアル番号、 ディーラー番号を表示する	P.5-14

ステーション内の清掃[ステーションメンテ]-[キャリッジアウト]

ステーション内部の清掃や、消耗品の交換などを行う際にキャリッジを移動します。



- ★ キャリッジは、手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジはジョグキーを使用して動かします。

[ステーションメンテ]には、以下の項目があります。

- キャリッジアウト : ステーション内部の掃除のためにキャリッジを移動します。
ワイパコウカン : ワイパ交換の表示が出たら、ワイパを交換します。☞ P.5-5

操作手順

- ① [キャリッジアウト]を選択すると、キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。
- ② フロントカバーを開けて、以下のメンテナンスを行います。

ステーションメンテ : キャリッジアウト

1. インクキャップのクリーニング

キャップのゴムに付着したインク等を綿棒で拭き取ります。☞ P.3-4

2. ワイパのクリーニング

ワイパを取り出し、付着したインクを綿棒で取り除きます。☞ P.3-4

3. ワイパカバーのクリーニング

ワイパカバーの天井に付着したインクを綿棒で取り除きます。☞ P.3-4

4. 裁断用カッター刃の交換

カッター刃は消耗品です。

切れが悪くなったら、新しいカッター刃に交換してください。☞ P.5-15

ワイパ交換のメッセージを表示したら[ステーションメンテ]-[ワイパコウカン]

ワイパーは消耗品です。以下の表示が出たら、速やかにワイパーを交換してください。

<ローカル>
ワイパコウカンシテクダサイ

同時に、スライダー下面に付着したインクをクリーニングします。



- クリーニングワイパーは別売品です。
お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。



- ★ ワイパー交換時以外は、[ワイパコウカン]を選択しないでください。
本装置内部で管理しているワイパー使用回数がリセットしてしまいます。

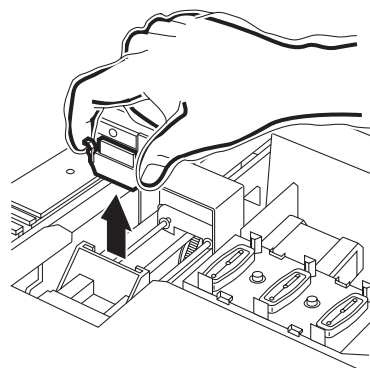
操作手順

- ① [ワイパコウカン]を選択すると、キャリッジが動いて、ステーション上から移動します。

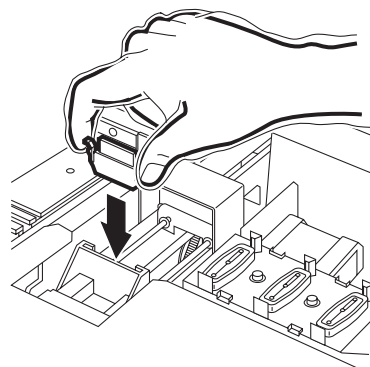
ステーション メンテ
メンテ : ワイパコウカン

- ② フロントカバーを開けて、ワイパーを交換します。

- ③ 両端の突起を持ってワイパーを引き抜きます。
クリーニングワイパーセットの手袋をすると、手が汚れません。

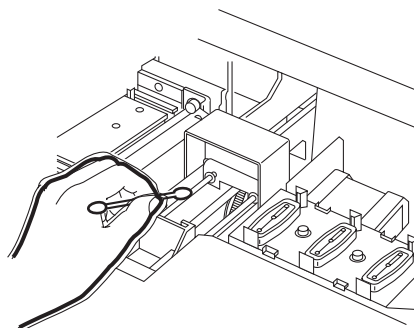


- ④ 両端の突起を持って新しいワイパーを差し込みます。



-
- ⑤ ワイパのガイド軸を綿棒、または布等でクリーニングします。

汚れが落ちにくい場合は、綿棒にメンテナンス洗浄液(SPC-0137)を湿らせてクリーニングします。



- ⑥ フロントカバーを締めて、【ENTER】キーを押します。



シヨキカチュウ
シバラクオマチクダサイ

- ⑦ ローカルモードに戻ります。

<ローカル>

メディアの厚みが変わったら[ドットイチホセイ]

作図の往路と復路のインク落下点の位置を補正します。

ドット位置補正は、ヘッドの高さを調整した後に行ってください。

ヘッドの高さが高い時と低い時では、適正位置に微妙にズレが生じます。ドット位置補正を実行して、適正な作図結果を得られるようにします。

ドット位置補正は、7パターンのテスト作図の「往路」と「復路」のインク落下点を比較して補正します。



- ★ ロールメディアをお使いの場合、ドットイチホセイを終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたわみが生じます。作図前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にセットしてください。画質不良等の原因になります。

操作手順

- ① [ドットイチホセイ]を選択します。

メンテナンス
ドットイチホセイ < ent >

- ② 【ENTER】キーを押します。
ドット位置補正のテストパターン作図を開始します。テストパターンは7種類作図します。

ENTER
メンテナンス
サクズカイシ : ent

- ③ ジョグキー【▲】【▼】を押して、パターン1のドット位置補正をします。
出力した7パターンは、作図した順にパターン1から7と呼びます。
パターン1の適正なドット位置をジョグキーで選択します。
テストパターンの往路と復路が、1本の直線になっている位置を選びます。

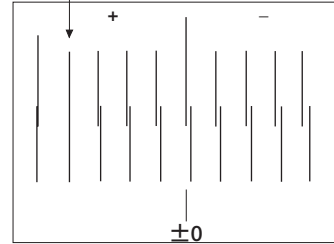
▲
▼
メンテナンス
パターン1 = 0.0



注意

★ 直線のパターンの補正值が、-40 から +40 の中に入らない場合は、ヘッドの高さ調整をしてから、もう一度、ドット位置補正を実行してください。

プラス方向に0位置から4本目が直線に表示しています。この場合のドット位置補正值は4.0です。



④ 【ENTER】 キーを押します。

⑤ 手順⑥⑦の操作を再実行し、続けてパターン2から7のドット位置補正をします。
各パターンの適正ドット位置を選択します。
パターン7までドット位置補正值を入力し、ドット位置補正を終了します。

メンテナンス
パターン 2 = 0. 0

メンテナンス
パターン 3 = 0. 0

メンテナンス
パターン 4 = 0. 0

メンテナンス
パターン 5 = 0. 0

メンテナンス
パターン 6 = 0. 0

メンテナンス
パターン 7 = 0. 0

⑥ 【END】 キーを2回押すと、ローカルモードに戻ります。



<ローカル>
ハバ^o: 1 2 7 2 mm

作図中のワイピング動作を設定する[ティキワiping]

ヘッドをHiレンジ（転写印刷系）で作図している際、しびき、ぼた落ち、ノズル抜けが発生することがあります。これは、ヘッドとプリント面のギャップが大きいため、インク滴が舞い上がってノズル面に付着してしまうことが原因です。


本機能では、作図中一定間隔でノズル面をワイピングして、付着したインクを取り除きます。





注意


- ★ 本機能は、Hiレンジで使用している場合のみ設定できます。（P.2-6）
Loレンジで使用している場合は、常にOFFとして動作し、メニューには表示されません。



操作手順



- ① ローカルモードで、【FUNCTION】キーを押します。




FUNCTION	セッテイ	<ENT>
----------	------	-------
- ② ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス]を選びます。


FUNCTION	メンテナンス	<ENT>
----------	--------	-------
- ③ 【ENTER】キーを押します。
[ステーションメンテ]を表示します。


メンテナンス	ステーションメンテ	<ent>
--------	-----------	-------
- ④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ティキワイピング]を選びます。


メンテナンス	ティキワイピング	<ent>
--------	----------	-------
- ⑤ 【ENTER】キーを押します。

- ⑥ ジョグキー【▲】【▼】を押して、動作の切り替え（ON/OFF）を選びます。


ティキワイピング	キリカエ	: OFF
		: ON
- ⑦ 【ENTER】キーを押します。
OFFを選んだ場合は、手順10へ進みます。

- ⑧ ジョグキー【▲】【▼】を押して、スキャン回数を入力します。（10～9990回）
 ★ 初期値は100回に設定してあります。
 使用状況に応じて、変更してください。


ティキワイピング	スキャンカイスウ	= 100
----------	----------	-------
- ⑨ 【ENTER】キーを押します。

- ⑩ 【END】キーを2回押します。
ローカルモードに戻ります。


<ローカル>	ハバ : 1 2 7 2 mm
--------	-----------------

ヘッドクリーニングでもノズル詰まりが復旧しない場合 [インクジュウテン]

ヘッドクリーニング (P.2-18) を行ってもノズル詰まりが改善しない場合に実行します。

[インクジュウテン]

① [インクジュウテン]を選択します。

メンテナンス
インクジュウテン < ent >

② 【ENTER】 キーを押します。



インクジュウテン
ヘッド センタク : **1** 2. 3 4

③ ジョグキー【▲】【▼】または【◀】【▶】を押して、充填するヘッドを選択します。



インクジュウテン
ヘッド センタク : **■** 1. 3 4



ヘッド1,2と、ヘッド3,4のセットで選択します。



インクジュウテン
ヘッド センタク : --. **3** 4



インクジュウテン
ヘッド センタク : **1** 2. 3 4

④ 【ENTER】 キーを押します。
自動的にインク充填を開始します。



ジュウテンチュウ
*****-----

インク充填を終了すると、右の表示に戻ります。

メンテナンス
インクジュウテン < ent >

⑤ 【END】 キーを2回押すと、ローカルモードに戻ります。



<ローカル>
ハハ° : 1 2 7 2 mm

設定条件を印刷する[リスト]

本装置の設定状態を出力します。メンテナンスの参考にしてください。

1. ファンクション機能の設定[セッテイ]に関する情報
2. メンテナンス機能のドット位置補正[ドットイチホセイ]情報
3. 各インクカートリッジの交換回数
4. 本装置で使用中のファームウェアのバージョン情報
5. 保守（サービスマン用）に必要な各設定値

```

LIST (System Ver1.00) (I/F Ver1.50) S/N : D1406001
(1) セッテイ < タイフ*1 > タイフ*2 タイフ*3 タイフ*4
メチ`ニア ホセイ :ホスト 34 :ハ`ネル 0 :ホスト 0 :ホスト
サクス` ホウジキ ヒョウシ`ユン :ホスト ハヤイ :ハ`ネル ヒョウシ`ユン :ホスト ヒョウシ`ユン :ホスト
ホウゴウ ソウホウゴウ タンホウゴウ タンホウゴウ タンホウゴウ
ロシ`カルシーク ON ON ON ON
カサネサリ 1 :ホスト 1 :ホスト 1 :ホスト 1 :ホスト
カンソウ シ`カン 0.0s 0s:ホスト 0.0s 0s:ホスト 0.0s 0s:ホスト 0.0s 0s:ホスト
オート`カッタ` OFF :ホスト OFF :ホスト OFF :ホスト OFF :ホスト
フ`リフイット` OFF OFF OFF OFF
マ`ジ`ン ミキ` 0mm 0mm 0mm 0mm
ヒタ`リ 0mm 0mm 0mm 0mm
リフレッジュ` メチ`ニア`ケンシュツ` レ`ル3 :ホスト レ`ル3 :ホスト レ`ル3 :ホスト レ`ル3 :ホスト
セレクト` セレクト` セレクト` セレクト`
キユウチキク` ヒョウシ`ユン :ホスト ヒョウシ`ユン :ホスト ヒョウシ`ユン :ホスト ヒョウシ`ユン :ホスト
ミリノインチ` ミリ ミリ ミリ
スタンプ`` E-ト` OFF OFF OFF OFF
タイム` タイム` OFF OFF OFF OFF
オートクリ`ニング` ON OFF OFF OFF
(2) インクタイフ` Pig-4(KKCCMMYY)
(3) HeadHight HIGH レンジ`ノ`ウスイ
(4) ワイハ`レベル 10ノ10
(5) DISPLAY Japanese
(6) ト`ット` イチ` ホセイ
ウスイ` ハ`タ`ン1 ハ`タ`ン2 ハ`タ`ン3 ハ`タ`ン4
1.5 -1.0 5.5 0.5
ハ`タ`ン5 ハ`タ`ン6 ハ`タ`ン7
8.5 10.0 12.5
アツイ` ハ`タ`ン1 ハ`タ`ン2 ハ`タ`ン3 ハ`タ`ン4
4.0 2.0 9.0 4.0
ハ`タ`ン5 ハ`タ`ン6 ハ`タ`ン7
13.5 15.0 20.0
(7) ランニング`メ`タ`
カートリッ` 1: 1 2: 1 3: 1 4: 1 5: 2 6: 4 7: 1 8: 2
サ`ンリョウ` 1: 57% 2: 58% 3: 53% 4: 54% 5: 97% 6: 99% 7: 1% 8: 1%
ショット` カウント` 1: 9220 2: 8778 3: 14273 4: 13940
5: 23009 6: 22658 7: 15994 8: 14884
スキヤ`ン` カイスウ` 3 (x1000)
サクス`` チョウ` 31m 102ft
サクス`` メンセキ` 32m^2 344sq.ft.
シヨウ` シ`カン` 33h
Date : 04.06.03 15:53

```


ワイパ寿命の警告表示[ワイパレベル]

ワイパは消耗品です。ホコリの多い環境などでは、ヘッドが汚れやすくなります。また、曲がったり摩耗したワイパではクリーニング効果が得られません。環境により、ワイパ交換時期の警告を標準より早期に促します。

- 10/10 : 標準のワイピング回数でワイパ交換の警告を表示します。(初期値)
- 9/10 : 標準の9/10回でワイパ交換の警告を表示します。
- 8/10 : 標準の8/10回でワイパ交換の警告を表示します。
- ⋮
- ⋮
- 1/10 : 標準の1/10回でワイパ交換の警告を表示します。

時刻を設定する[ジコクセッテイ]

本装置はカレンダーを内蔵しています。セッテイ項目の[タイムスタンプ]機能は、この設定により、日付、時刻を表示します。☞ P.4-9

操作手順

- ① [ジコクセッテイ]を選びます。

メンテナンス
ジコクセッテイ < ent >

- ② 【ENTER】キーを押します。



メンテナンス
DATE = 2002.10.02

- ③ 日付を設定します。

ジョグキー【◀】【▶】を押して、左右の桁を移動します。

ジョグキー【▲】【▼】を押して、値を変更します。



★ 過去の日付は設定できません。

- ④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[TIME]を選びます。



メンテナンス
TIME = 16:20:07

- ⑤ 時刻を設定します。

ジョグキー【◀】【▶】を押して、左右の桁を移動します。

ジョグキー【▲】【▼】を押して、値を変更します。

- ⑥ 【ENTER】キーを押します。



メンテナンス
DATE = 2002.10.02

- ⑦ 設定した日付を表示します。

ジョグキー【▲】【▼】を押すと、設定した時刻を表示します。

- ⑧ 【END】キーを2回押すと、ローカルモードに戻ります。



<ローカル>
ハバ° : 1272 mm

本装置の情報を表示する[マシンジョウホウ]

本装置の「ファームウェアバージョン、シリアル番号、ディーラー番号」を表示します。
トラブル発生時に、販売店または弊社営業所にこの情報とトラブル内容とをご連絡ください。
付録のお問い合わせシートをご利用いただくと、速やかに対処いたします。

操作手順

- ① [マシンジョウホウ]を選びます。

メンテナンス
マシンジョウホウ < ent >

- ② 【ENTER】キーを押します。

- ③ 再度、【ENTER】キーを押すと、ファームウェアバージョンを表示します。

ENTER
MAIN Ver ***
I/F Ver ***

- ④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[シリアルNo.]を選びます。

▲
メンテナンス
シリアル No < ent >
▼

- ⑤ 【ENTER】キーを押すと、本装置のシリアル番号を表示します。

ENTER
メンテナンス
S/N *****

- ⑥ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[ディーラーNo.]を選びます。

▲
メンテナンス
ディーラー No < ent >
▼

- ⑦ 【ENTER】キーを押すと、本装置のディーラー番号を表示します。

ENTER
メンテナンス
D/N *****

- ⑧ 【END】キーを2回押すと、ローカルモードに戻ります。

END
<ローカル>
2回 ハバ : 1 2 7 2 mm

カッター刃の交換

カッター刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら、新しいカッター刃(SPA-0107)に交換してください。



- ★ 刃先は鋭利です。ケガをしないようご注意ください。
- ★ カッター刃は、子供の手の届かないところに保管してください。
また、使用済みのカッター刃は、地域の条例に従い廃棄してください。



- カッター刃の下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちた時に拾いやすくなります。

操作手順

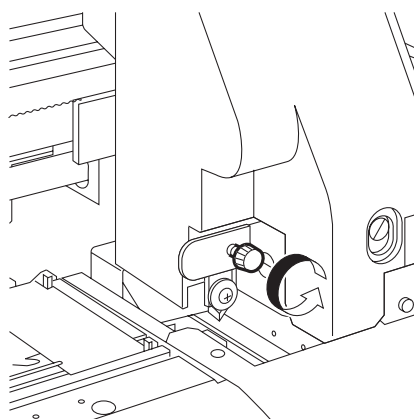
- ① [キャリッジアウト]を実行します。



- ② フロントカバーを開けます。

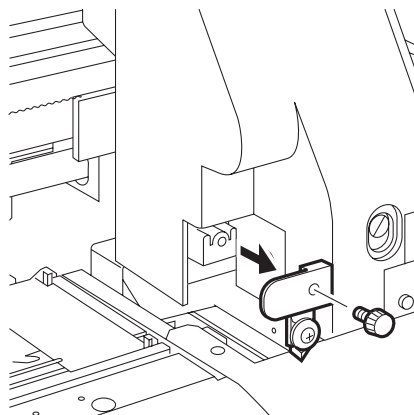
- ③ キャリッジ横のカッターユニットを交換します。

1. カッターユニットのネジを緩めます。
2. カッターユニットを取り外します。
3. 新しいカッターユニットを取り付けます。
4. カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定します。



- ④ フロントカバーを閉じ、【ENTER】キーを押します。

- ⑤ ローカルモードに戻ります。



インク交換手順

現在使用しているインクセットを変更することができます。

- 4色インクセットから6色または8色インクセットへの変更
- 6色インクセットから4色または8色インクセットへの変更
- 8色インクセットから4色または6色インクセットへの変更

4色インクセット

4色インクセットは各インクカートリッジを2本ずつ搭載することで、高速かつ、高画質な印刷ができます。

4色のインク（ブラック、マゼンタ、シアン、イエロー）を使用します。

背面のインクステーション下にあるカートリッジ色順ラベルの上段に合わせてインクカートリッジをセットします。

6色インクセット

6色インクセットは各インクカートリッジを1本ずつ搭載することで、より高画質な印刷ができます。

6色のインク（ブラック、マゼンタ、シアン、イエロー、ライトマゼンタ、ライトシアン）を使用します。

2箇所の空いているインクステーションには、洗浄液カートリッジ（SPC-0188S）を入れてください。

背面のインクステーション下にあるカートリッジ色順ラベルの下段に合わせてインクカートリッジをセットします。

8色インクセット

8色インクセットは、各インクカートリッジを1本ずつ搭載することで、より高画質な印刷ができます。

水性顔料インクの8色インクセットでは、2種類の6色インクセット（ブラック、マゼンタ、シアン、イエロー、ライトマゼンタ、ライトシアン、または、ブラック、マゼンタ、シアン、イエロー、グリーン、オレンジ）を、インク交換することなく使い分けることができます。

8色のインク（ブラック、マゼンタ、シアン、イエロー、ライトマゼンタ、ライトシアン、グリーン、オレンジ）を使用します。

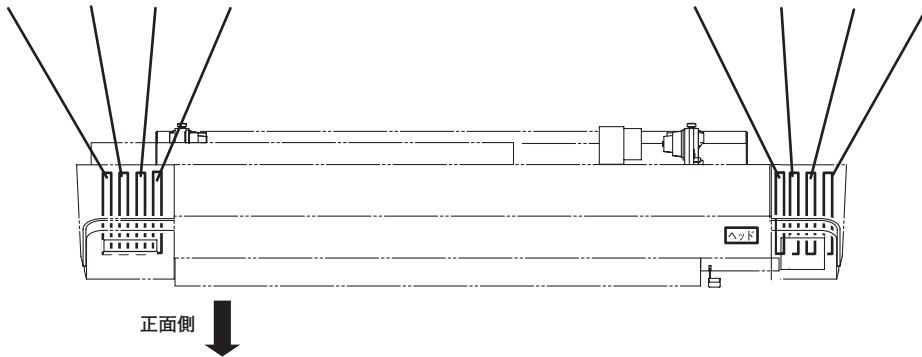
反応染料インクは、11色のインク（ブラック、マゼンタ、シアン、イエロー、ライトマゼンタ、ライトシアン、グレー、ブルー、オレンジ、レッド、ゴールドイエロー）のうち、8色を使用します。

酸性染料インクは、9色のインク（ブラック、マゼンタ、シアン、イエロー、ライトマゼンタ、ライトシアン、グレー、ブルー、レッド）のうち、8色を使用します。



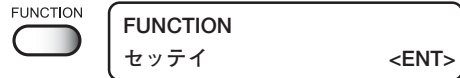
- 反応染料インクと酸性染料インクは、色順を固定していません。ご使用の状況に合わせてインクカートリッジをセットしてください。

Bk	Bk	C	C	4色インクセット	M	M	Y	Y
Bk	C	M	Y	6色インクセット	Lc/O	Lm/GW	W	
Bk	C	M	Y	8色インクセット	Lc	Lm	G	O



操作手順

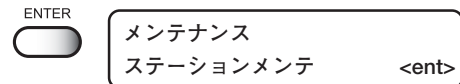
- ① 【FUNCTION】 キーを 1 回押します。



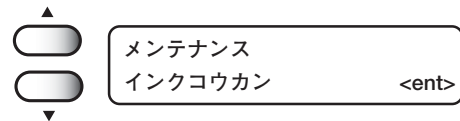
- ② ジョグキー【▲】【▼】を押して、[メンテナンス] を選択します。



- ③ 【ENTER】 キーを押します。
[ステーション メンテ]を表示します。



- ④ ジョグキー【▲】【▼】を押して、[インク コウカン]を選択します。



- ⑤ 【ENTER】 キーを押します。
現在装填してあるインクの種類を表示します。



- ⑥ ジョグキー **【▲】** **【▲】** を押して、装填するインクの種類を設定します。



インクコウカン
Pig-6 (KCMYcm)

[Pig-4(KKCCMMYY)]	水性顔料インク
[Pig-6(KCMYcm)]	水性顔料インク(ライトシア・ライトセメント)
[Pig-6(KCMYGO)]	水性顔料インク(グリーン・オレンジ)
[Pig-8(KCMYcmGO)]	水性顔料インク(ライトシア・ライトセメント・グリーン・オレンジ)
[Dye-4(KKCCMMYY)]	水性染料インク
[Dye-6(KCMYcm)]	水性染料インク(ライトシア・ライトセメント)
[Sub-4(KKCCMMYY)]	昇華転写インク
[Sub-6(KCMYcm)]	昇華転写インク(ライトシア・ライトセメント)
[TPig4(KKCCMMYY)]	捺染顔料インク
[Reac8]	反応染料インク
[Acid8]	酸性染料インク

- ⑦ **【ENTER】** キーを押します。



センシ ョウ
カートリッジ ヲ ハズ ス

- ⑧ インクカートリッジを外します。
充填してあるインクが廃インクタンクへ排出されます。

- ⑨ 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。
洗浄液を吸引します。

センシ ョウ
センシ ョウジ ヲ セット

- ⑩ 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外します。
空吸引します。

センシ ョウ
センシ ョウジ ヲ ハズス

- ⑪ 右の表示になったら、洗浄液カートリッジをセットします。
洗浄液を吸引します。

センシ ョウ
センシ ョウジ ヲ セット

インク交換手順

- ⑫ 右の表示になったら、洗浄液カートリッジを外します。
吸引した洗浄液を廃インクタンクへ排出します。

センシ ョウ
センシ ョウシ グ ヲハス ス

- ⑬ 右の表示になったら、新しいインクカートリッジをセットします。
インクを吸引します。

シ ュウテン
カートリッジ ヲセット

- ⑭ 全行程が終了すると、右の表示になります。

メンテナンス
インク コウカン < ent >

- ⑮ 【END】 キーを2回押すと、ローカルモードに戻ります。



<ローカル>
ハハ° : 1 2 7 2 mm

6章

困ったときは

6章では、本装置になんらかの異常が発生した場合や、エラーメッセージを表示した場合のトラブル解消方法について説明します。

本章の内容

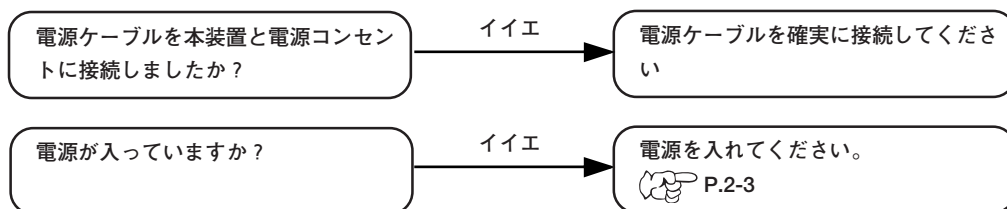
故障?と思う前に	6-2
電源が入らない.....	6-2
作図できない.....	6-2
メディア詰まり/メディアが汚れる	6-3
画質不良が発生した場合は	6-4
白スジ/カスレ/色の濃いスジが発生する (ヘッド移動方向)	6-4
文字が用紙送り方向に2重、3重にブレる	6-4
往復印字でズレが発生する	6-4
色ごとにインクが重ならない.....	6-4
作図中にインク滴が落ちる	6-4
コックリングを避けるために	6-5
巻取装置を使用する	6-5
ヘッドの高さを上げてみる	6-5
プラテンの上のメディアがない範囲に薄いシート (注1) を乗せる ..	6-5
メッセージを表示するトラブル	6-6
ワーニングエラー	6-6
エラーメッセージ	6-7

故障？と思う前に

ディスプレイにエラーメッセージが表示されないときのトラブルの対処方法について説明します。故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

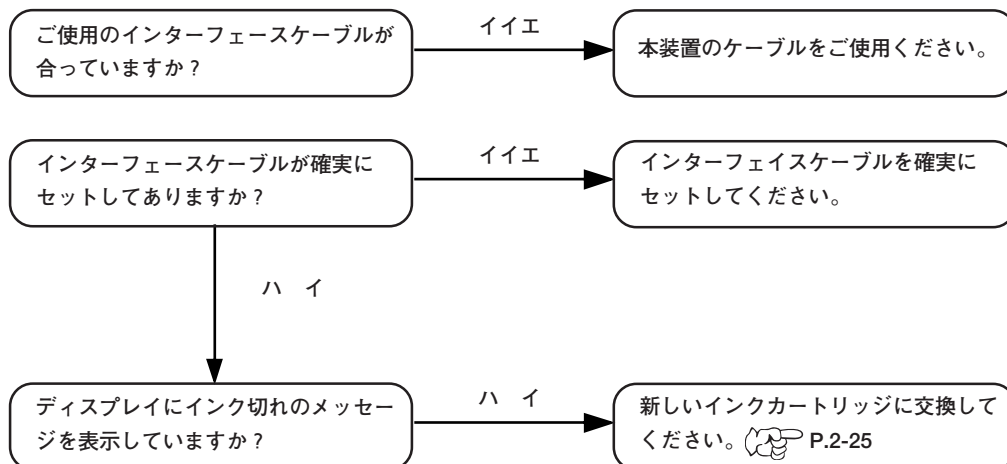
電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。



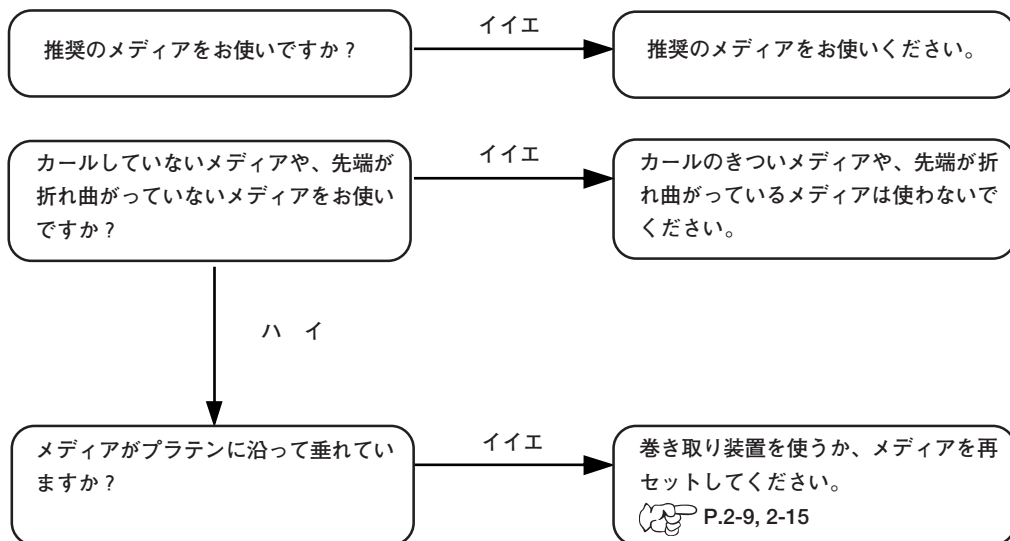
作図できない

作図ができない場合は、データが適正に本装置に送られていない場合があります。また、作図機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。



メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。



画質不良が発生した場合は

ここでは、作図品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡（サービスコール）ください。

白スジ／カスレ／色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向）

- 対処方法 : ① ヘッドクリーニングをしてください。👉 P.2-18
- ② ステーション内部のメンテナンスをしてください。
👉 P.3-4 ~ 3-5, 5-4
- ③ 「メディア補正」機能を実行してください。👉 P.2-20
- ④ メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。

文字が用紙送り方向に2重、3重にブレる

- 対処方法 : 「メディア補正」機能を実行してください。👉 P.2-20

往復印字でズレが発生する

- 対処方法 : 「ドット位置補正」機能を実行してください。👉 P.5-7

色ごとにインクが重ならない

- 対処方法 : 「ドット位置補正」機能を実行してください。👉 P.5-7

作図中にインク滴が落ちる

- 対処方法 : ① ワイパをクリーニングしてください。👉 P.3-4
- ② インクキャップのクリーニングをしてください。👉 P.3-4
- ③ ヘッドクリーニングの[ノーマル]を実行してください。
👉 P.2-18

コックリングを避けるために

印刷中にインクがメディアに染み込み、メディアが波打ち（コックリング）を発生した状態でヘッド等が通過するとき、波打って膨らんだメディア表面をこする不具合が発生した場合は下記的手段で対処して下さい。

特に、転写用インクと転写紙を使用した場合、転写紙の種類によってはこれらの不具合が生じる可能性があります。

巻取装置を使用する

P.2-14の「巻取装置の使い方」を参照してください。

ヘッドの高さを上げてみる

P.2-6の「ヘッドの高さを調整する」を参照していただき、高さ調整を行います。

プラテン上のメディアがない範囲に薄いシート（注1）を乗せる

本機器は、より高画質な印刷を行うため、メディアを平らなプラテンに吸着させる機能を有しています。（P.4-8）プラテン上にある無数の直径2mm程度の穴から空気を吸引し、搬送するメディアの膨らみ等を防止することにより、画質の向上を行っています。

しかし、メディアの幅によってはプラテンの全域に配置できないメディアがあります。

（下図A）

この場合、吸着力の機能はフルに発揮されない可能性があるため、メディアがない範囲で同種のメディアや薄いシートをセットし、穴をふさいでください。

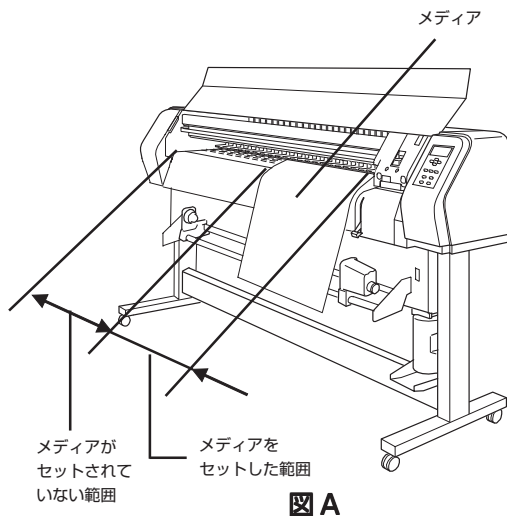


★ セットするシートは厚み1mm以下で、凸凹がないものを使用して下さい。

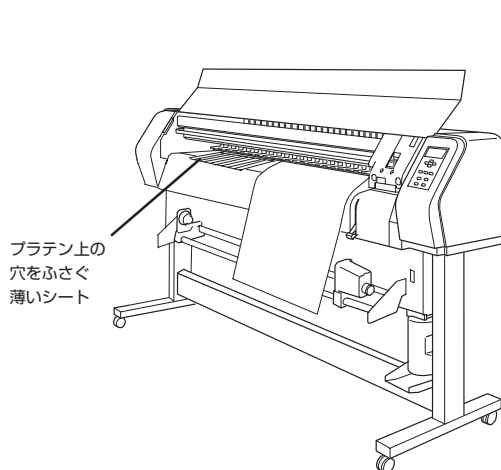
厚みがあったり、凸凹があるとヘッドに接触する可能性があります。

★ シート色は、メディア幅センサを作動させない黒が理想です。（P.1-9）

★ 薄手の穴ふさぎシートは、カッター刃の裁断ライン（P.1-9）より奥、かつ奥のフィードローラー（P.1-8）より手前の範囲のものをお使い下さい。



図A



図B

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングエラー

主にインク関連に対して発生します。

エラーメッセージ	原因	対処方法
<ローカル> カートリッジ KKCCMMYY	装着したインクカートリッジに問題があります。	【ENTER】キーを押すと、エラーの詳細を表示します。確認してください。
<ローカル> ニアエンド KKCCMMYY	インクカートリッジのインク残量が少なくなりました。	【REMOTE】キーを押すと、1ファイルごと作図できます。表示している色のインクカートリッジを早めに交換してください。
<ローカル> インクエンド KKCCMMYY	インクカートリッジのインクが終わりました。	表示している色のインクカートリッジを交換してください。
<ローカル> ワイパコウカンシテクダサイ	キャッピングステーションのワイパ交換時期です。	【REMOTE】キーを押すと、作図ができます。電源を入れる度にエラーを表示しますので、早めに新しいワイパと交換してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージは、エラー番号を表示します。

エラーメッセージを表示した場合は、電源をオフにしてしばらくたってから電源をオンにしてください。

それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡（サービスコール）ください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ERROR 01 MAIN ROM</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ERROR 02 MAIN RAM</div>	制御基板に異常が発生しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ERROR 03 POWER +5V</div>	制御基板に異常が発生しました。 POWER+5V POWER+35V	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">ERROR 04 フラッシュ ROM</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ERROR 06 D-RAM</div>	制御基板に異常が発生しました。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ERROR 07 ヘッド---*-----</div>	ヘッドの接続に異常を検出しました。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ERROR 08 リニアエンコーダ n</div>	リニアエンコーダの検出で異常が発生しました。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ERROR 09 HDCエラー</div>	制御基板に異常が発生しました。 FPGA エラー HDC エラー	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ERROR 10 コマンドエラー</div>	コマンドデータ以外のデータを受信しました。 本装置に適合していないインターフェースケーブルが使われています。	インターフェースケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェースケーブルを使用してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
ERROR 11 パラメータエラー	数値範囲外のパラメータを受信しました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 20 I/Fボード	I/Fボードと制御基板のインターフェースにエラーが発生しました。	
ERROR 21 I/Fナシ	I/Fボードが制御基板に装着されていません。	
ERROR 23 ホストI/F	ホストコンピュータとI/Fボードとの通信にタイムアウトエラーが発生しました。	ケーブルが確実に接続してあるか、またはホストコンピュータ側でエラーが発生していないか確認してください。
ERROR 24 I/Fイニシャル	I/Fボードと制御基板の初期動作不良です。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 30 オペレーション エラー	操作パネルで不当なオペレーションをしました。	正しいオペレーションをしてください。
ERROR 34 ミサクズデータアリ	受信済みで未作図のデータがあるのに、ファンクション機能の設定を変更しようとしています。	受信済みのデータを全て作図するか、データクリアを実行してから、設定機能を変更してください。

メッセージを表示するトラブル

エラーメッセージ	原因	対処方法
ERROR 40 モーターアラームX	Xモーターに過大な負荷がかかりました。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。
ERROR 41 モーターアラームY	Yモーターに過大な負荷がかかりました。	再度、表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 42 Xオーバーカレント	Xモーターの過電流エラーを検出しました。	
ERROR 43 Yオーバーカレント	Yモーターの過電流エラーを検出しました。	
ERROR 46 ワイパ	ワイパの位置が適正ではありません。	
ERROR 50 メディアケンシュツ	用紙検出ができませんでした。メディアのセット位置、使用メディアが不適当です。	「メディアのセット」をご覧ください。☞ P.2-8 正しくセットしても、エラーを表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 51 ゲンテンケンシュツ	原点検出ができませんでした。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR 57 ヘッドタカサケンシュツ	ヘッド高さ検出ができませんでした。	一度、電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。再度表示するときは、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。

付録

各種仕様や構成品、メニュー構造を示します。

本章の内容

本体仕様	付録-2
インク仕様	付録-4
警告ラベルについて	付録-5
お問い合わせシート	付録-6
機能フローチャート	付録-7

本体仕様

項目		JV22-130	JV22-160
作図ヘッド部	方式	ドロップオンデマンドピエゾヘッド	
	仕様	4ヘッド インライン	
	ノズル構成	各色 360 ノズル (4色) / 180 ノズル (6色)	
	作図分解能	360, 540, 720, 1440 dpi	
作図モード	4色インクセット	360 x 360 dpi : 1/2/4 pass, 双方向 / 単方向 360 x 540 dpi : 3/6/12 pass, 双方向 / 単方向 360 x 720 dpi : 2/4/8/16 pass, 双方向 / 単方向 720 x 720 dpi : 2/4/8/16 pass, 双方向 / 単方向 720 x 1440 dpi : 4/8/16 pass, 双方向 / 単方向 1440 x 1440 dpi : 8/16 pass, 双方向 / 単方向	
	6/8色インクセット	360 x 360 dpi : 2/4/8 pass, 双方向 / 単方向 360 x 540 dpi : 3/6/12 pass, 双方向 / 単方向 360 x 720 dpi : 4/8/16 pass, 双方向 / 単方向 720 x 720 dpi : 4/8/16 pass, 双方向 / 単方向 720 x 1440 dpi : 8/16/32 pass, 双方向 / 単方向 1440 x 1440 dpi : 16/32 pass, 双方向 / 単方向	
使用可能インク		インク 4色(K,C,M,Y)×ダブル インク 6色:水性顔料(K,C,M,Y,Lc,Lm)もしくは(K,C,M,Y,G,O) インク 6色:水性染料(K,C,M,Y,Lc,Lm) インク 6色:昇華転写(K,C,M,Y,Lc,Lm) インク 8色:水性顔料(K,C,M,Y,Lc,Lm,G,O) インク 8色:反応染料、酸性染料	
インク供給		インクカートリッジからのチューブ供給 インク残量表示機能あり (IC搭載なし) インクエンド検出機能あり インクカートリッジ交換方式	
インク容量		各色 (220 cc ± 5 cc) 1 カートリッジあたり約 200 cc 使用可能	
使用可能メディア		フォトペーパー、合成紙、版下フィルム	
最大作図範囲	標準スキャン時	1361 mm	1610 mm
	高速スキャン時	1321 mm	1570 mm
	1440x1440 dpi時	1361mm (4色) /1000mm (6, 8色)	1610mm (4色) /1000mm (6, 8色)
ロールメディアサイズ	最大幅	1371 mm	1620 mm
	最小幅	210 mm	
	厚さ	1.0 mm 以下	
	ロール外径	φ 180 mm 以下	
	ロール重量	25 kg 以下 (ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと)	
	紙管内径	2 インチ, 3 インチ	
	作図面	外側	
	巻終わり処理	紙管にテープ止め	
リーフメディアサイズ	最大幅	1371 mm	1620 mm
	最小幅	210 mm	

項目		JV22-130	JV22-160
作図マージン	リーフメディア	左右：5 mm (初期値) :パラメータにより可変 前：65 mm 後：110 mm	
	ロールメディア	左右：5 mm (初期値) :パラメータにより可変 前：25 mm 後：0 mm	
距離精度	絶対精度	± 0.3 mm または 指定距離の ± 0.3 % の大きい方	
	再現性	± 0.2 mm または 指定距離の ± 0.1 % の大きい方	
直角度		± 0.5 mm/1000 mm	
メディアスキュー		5 mm 以下 / 10 m	
ヘッド高さ調整		Loレンジ (1.5mm / 2.5mm)、Hiレンジ (3.5mm / 4.5mm)	
メディア裁断		ヘッド部カッターによる Y 方向カット 裁断精度 (段差) 0.5 mm 以下	
排紙		ロール巻取り装置標準 (内巻き / 外巻き 切り替え可能)	
廃インクタンク		ボトル式 (2リットル 1本) 目視による交換時判断	
インターフェース		IEEE1394 準拠, IEEE1284 準拠	
コマンド		MRL-II (バリアブルドット対応) <ESC/PL§2^ス ミマキオリジナルコマンド>	
騒音	待機時	58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1 m)	
	動作連続音	65dB 以下	
	動作不連続音	70 dB 以下	
適合規格		UL, VCCI-classA, FCC ClassA, CEマーク, CBポート	
電源仕様		AC100 V ~ 120 V ± 10 %, AC 200 V ~ 240 V ± 10 % 50/60 Hz ± 1 Hz	
消費電力		300VA 以下	
設置環境	使用可能温度	20 °C ~ 35 °C	
	相対湿度	35 ~ 65 %Rh (結露なきこと)	
	精度保証温度	20 °C ~ 25 °C	
	温度勾配	± 10 °C/h 以下	
	粉塵	オフィス相当	
重量	本体	130 kg	140 kg
	全体	148 kg 以下	158 kg 以下
外形寸法	幅	2400 mm	2660 mm
	奥行き	640 mm 以下	
	高さ	1240 mm 以下	

インク仕様

項目		仕様
形態		専用インクカートリッジ
色（*は色名を示します。）		水性顔料インク (SPC-0180 *)
		水性染料インク (SPC-0258 *)
		昇華転写インク (SPC-0370 *)
		捺染顔料インク (SPC-0350 *)
		反応染料インク (SPC-0357 *)
		酸性染料インク (SPC-0355 *)
インク容量		220cc/ カートリッジ
有効期間		製造日より2年間（常温） 開封から6カ月以内
保存温度	保存時	-30℃～40℃（40℃の場合1カ月以内）
	輸送時	-30℃～60℃（60℃の場合120時間以内、40℃の場合1カ月以内）



注意

- ★ インクは、-4℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一、凍結した場合は、室温（25℃）で3時間以上かけて解凍してから使用してください。
- ★ インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。

警告ラベルについて

本装置には、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

ラベルの位置

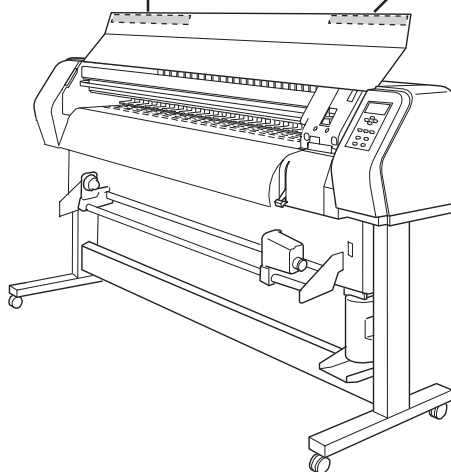
前面

(注文番号：M901549)

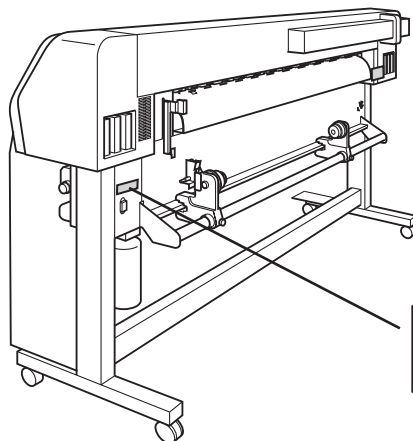
⚠ 注意	⚠ 注意	⚠ CAUTION	⚠ ACHTUNG	⚠ ATTENTION
滾転移動時、請勿將手插入前面外蓋的内部。	キャリッジ動作中は、フロントカバーの中に指を入れないでください。	-MOVING CARRIAGE- Do not put fingers inside this area	-Beweglicher Wagen- Finger nicht in diesen Bereich bringen.	-CHARIOT MOBILE- Ne pas mettre de doigts dans cette zone.

(注文番号：M901607)

印刷時、請勿打开這下蓋子。如果打开蓋子的话印刷就会终止。禁止之后再度印刷时侯、請將数据再行計算机中輸出。	印刷中、このカバーを開けないでください。途中で印刷が終了してしまいます。再度、印刷する場合は、もう一度コンピュータからデータを送信してください。	Do not open this cover during printing. The carriage will stop and ruin the print.	Diese Abdeckung während des Druckens nicht öffnen. Der Wagen hält sonst an, wodurch der Druck ruiniert wird.	Ne pas ouvrir ce couvercle pendant l'impression. Le chariot peut s'arrêter, abîmant l'impression.
--	--	--	--	---



背面



(注文番号：M902396)



Equipment to be connected to earthed mains outlet only.
Apparätet må kun tilknyttes jordet stikkontakt.
Apparatet skall anslutas till jordat nätuttag.

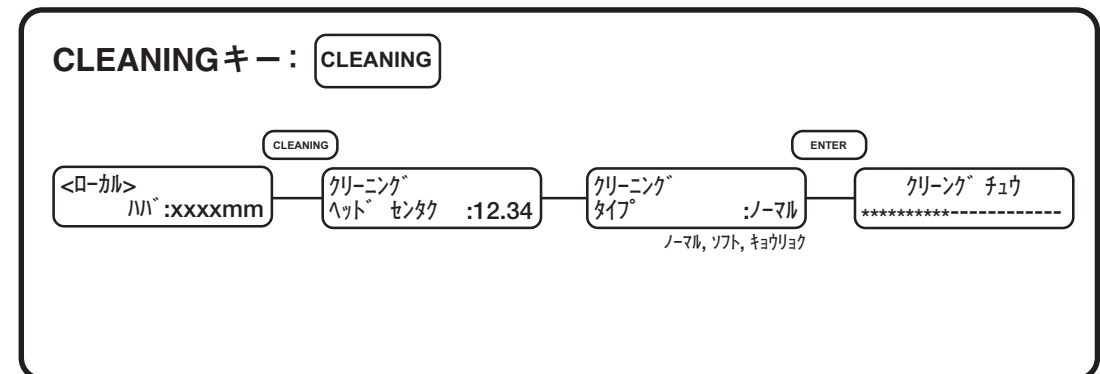
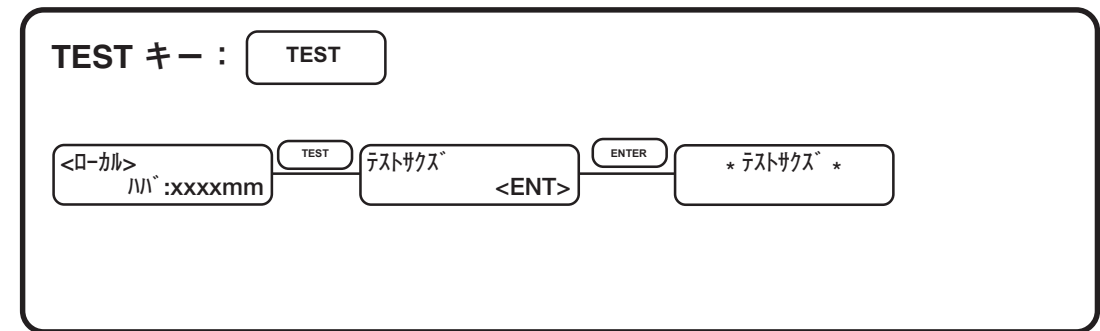
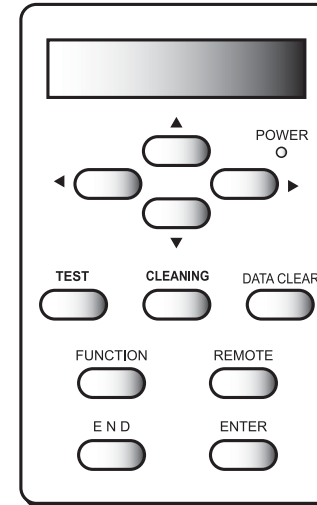
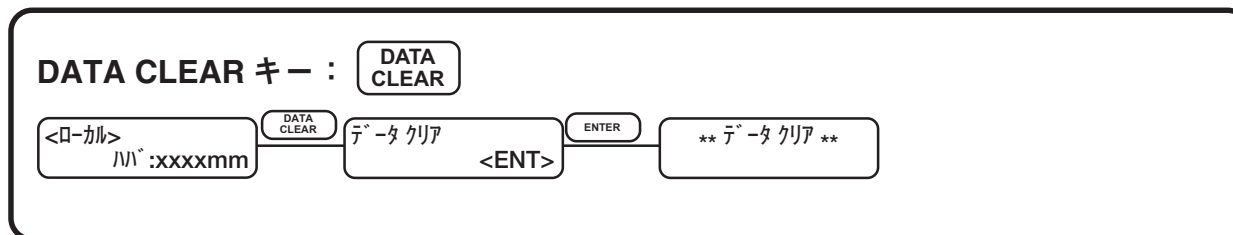
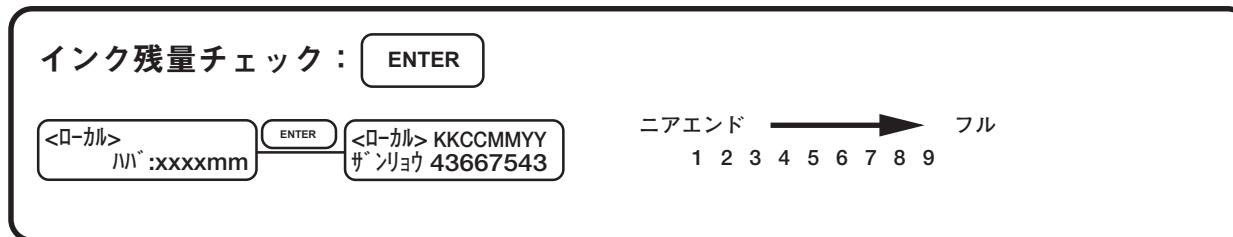
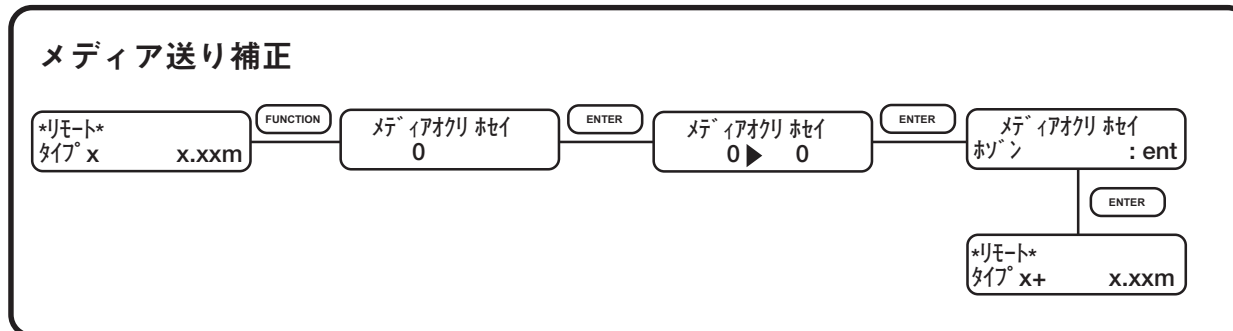
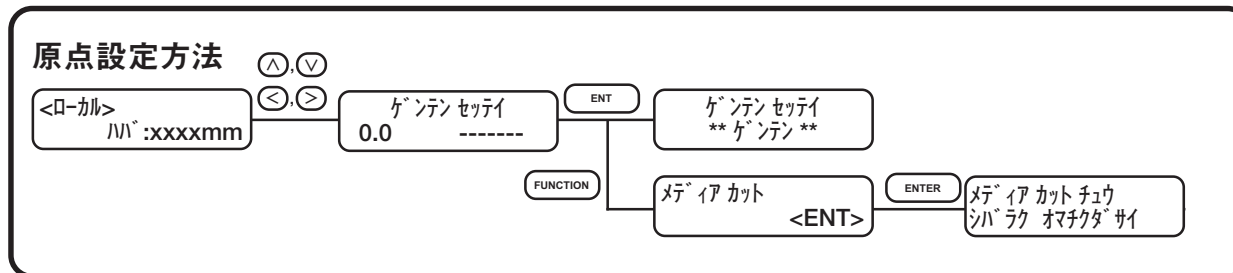
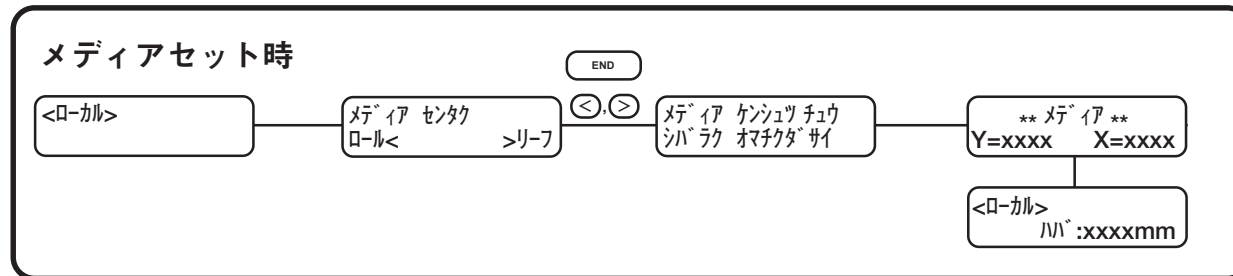
お問い合わせシート

プリンターの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、巻末の弊社営業所まで FAX でお送りください。

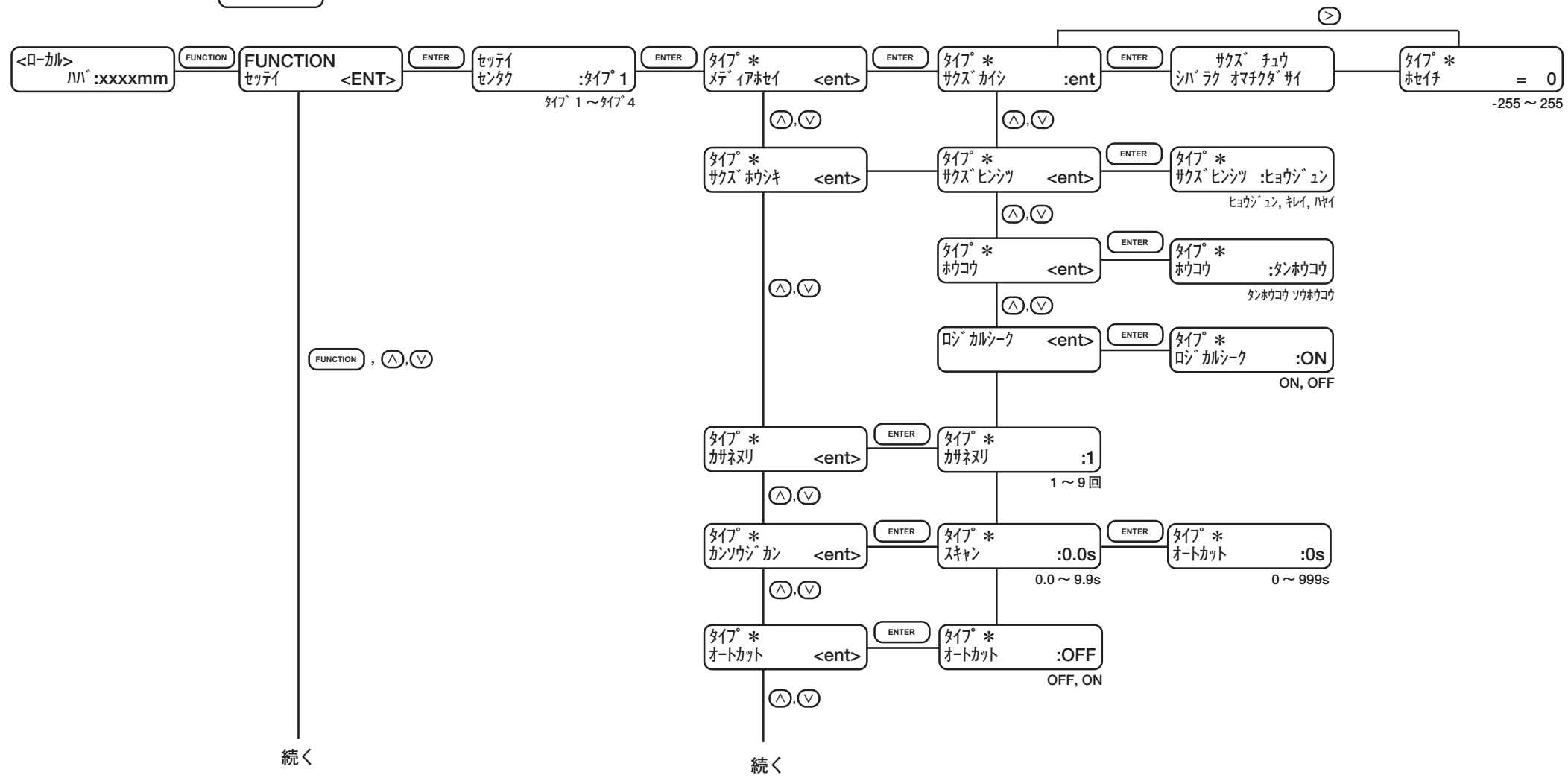
御社名	
ご担当者名	
電話番号	
プリンター機種名	
お使いの OS	
マシーン情報 *	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

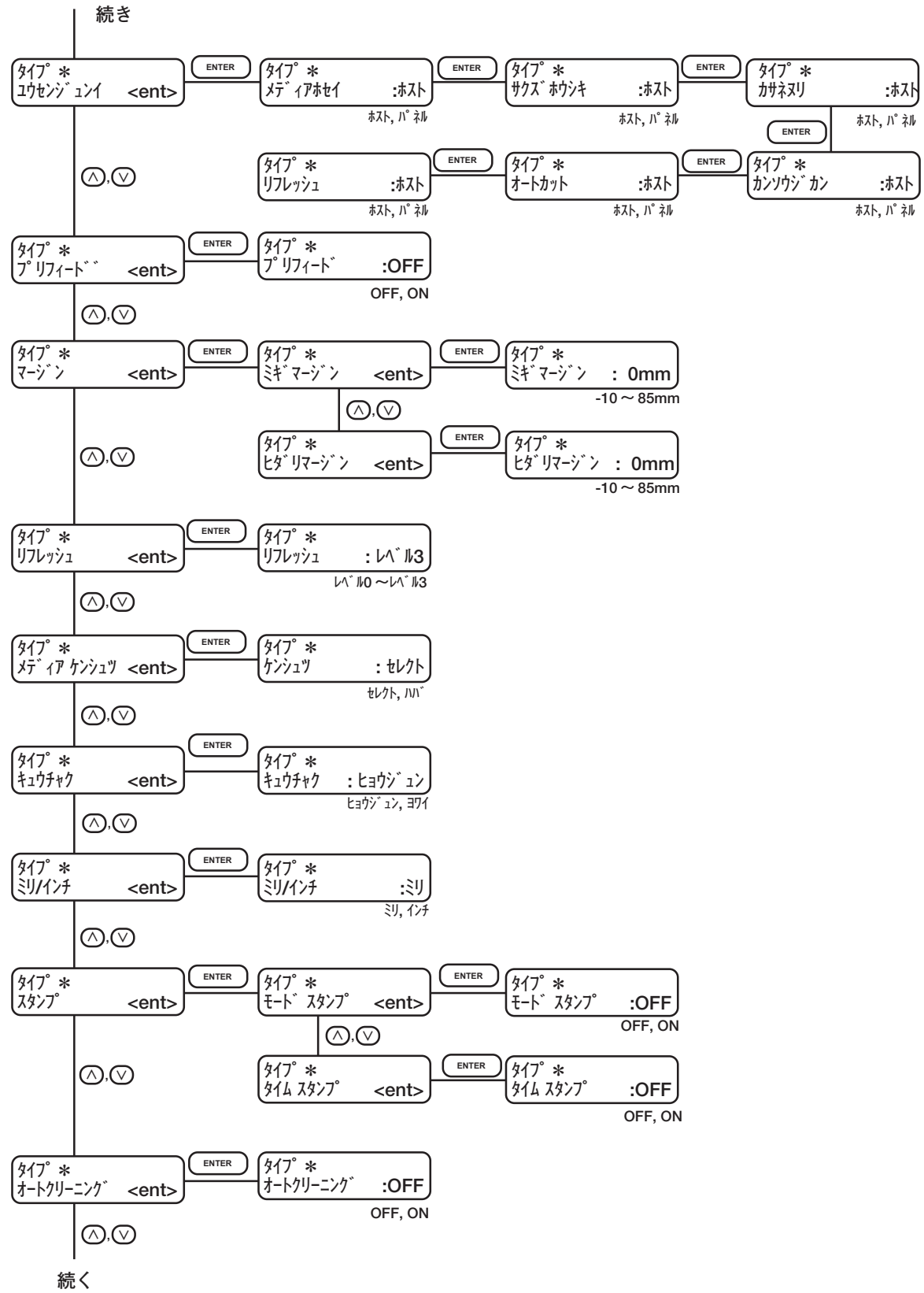
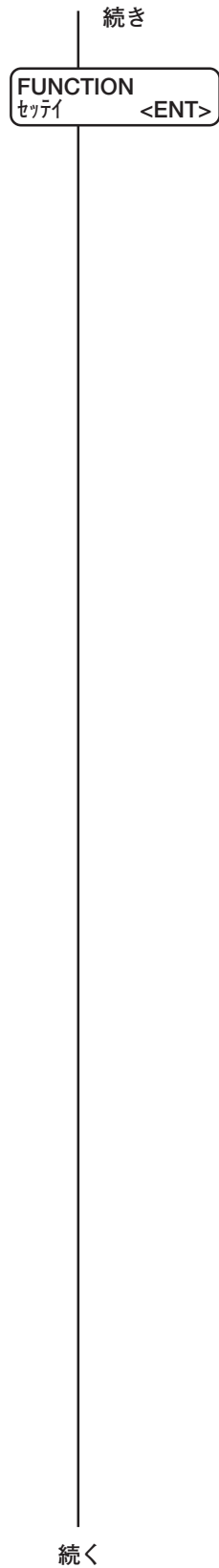
* [マシンジョウホウ]で表示した情報をご記入ください。  P.5-14

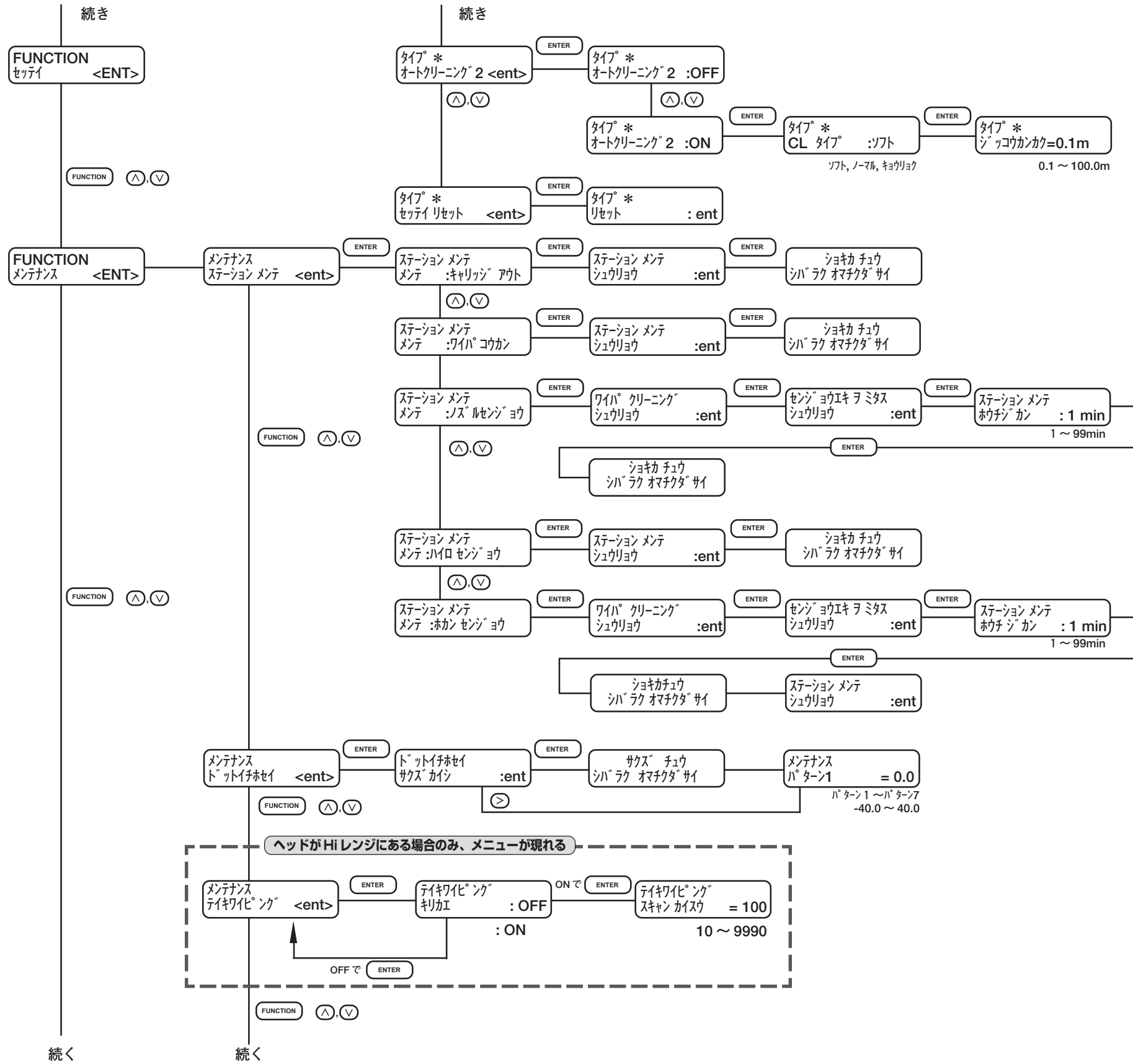
機能フローチャート

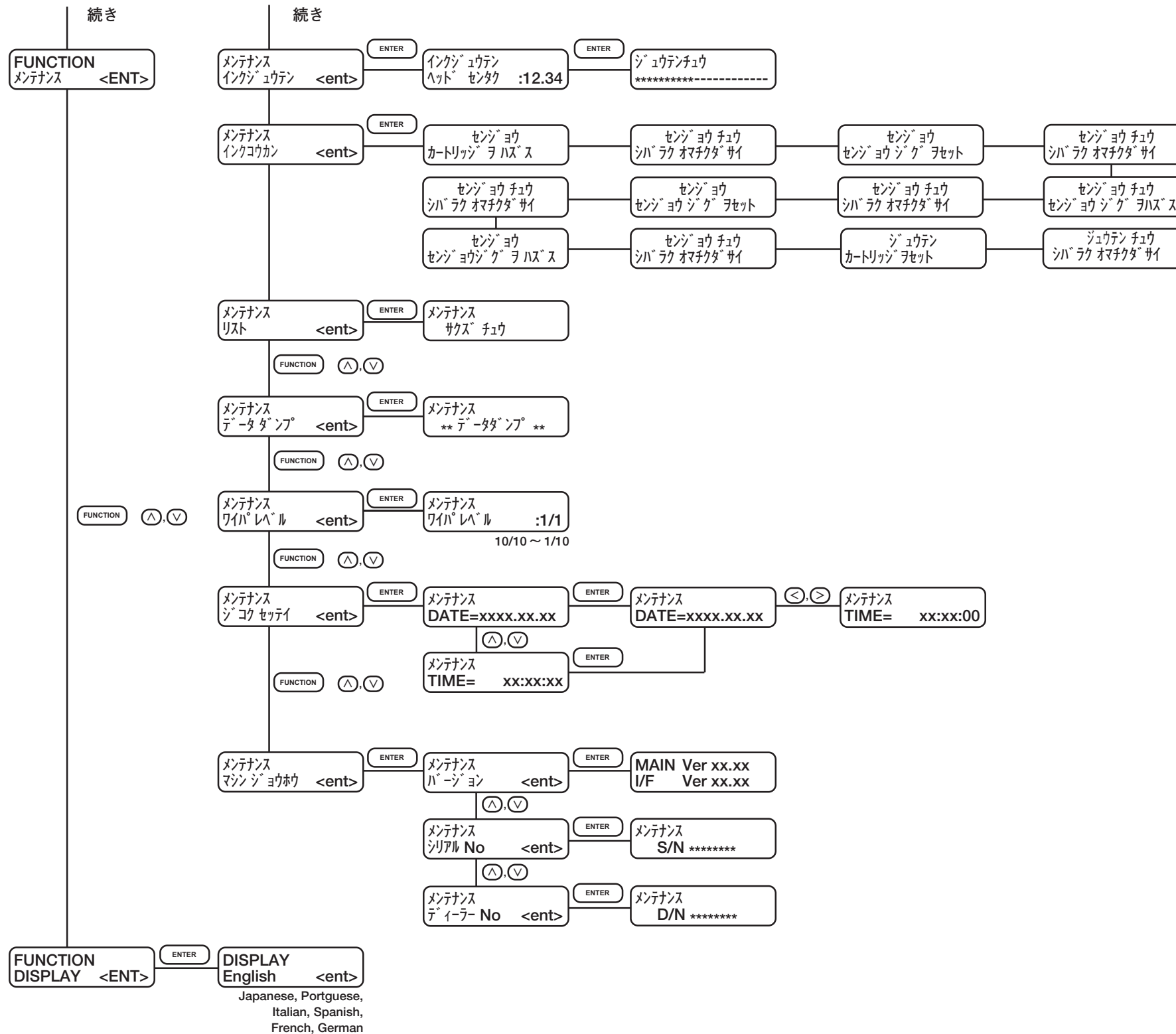


FUNCTION キー : FUNCTION









索引

記号		ア	
2重、3重にブレる	6-4	安全にお使いいただくために	vi
4色インクセット	5-17		
6色インクセット	5-17		
A		イ	
AC インレット	1-5	色ごとにインクが重ならない	6-4
		色の濃いスジが発生する	6-4
C		インク	
【CLEANING】キー	1-6	- タイプの表示	1-12
		- の取り扱い上のご注意	1-12
D		- の種類	1-11
DATA CLEAR キー	1-6	水性顔料	1-11
		- の初期充填	1-13
E		- の種類	1-11
END キー	1-6	インクエンド	2-25
ENTER キー	1-6	インクカートリッジ	1-5, 1-12
		インク交換手順	5-17
F		インク残量が少なくなったら	2-25
FORWARD	2-14	インク滴が落ちる	6-4
FUNCTION キー	1-6	インクジュウテン	5-10
		インク情報を表示する	2-25
H		インクステーション	1-5
HEATER キー	1-6		
HEX コード	5-12	エ	
		エラーメッセージ	6-7
I		オ	
IEEE1394 コネクタ	1-5	オートクリーニング	4-9
		[オートクリーニング ²]	4-10
P		お手入れ上のご注意	3-2
POWER ランプ	1-6	お問い合わせシート	付録-6
		カ	
R		外装のお手入れ	3-3
REMOTE キー	1-6	各部の名称とはたらき	1-4
REVERSE	2-14	装置前面	1-4
		カサネヌリ	4-7
T		画質不良が発生した場合は	6-4
TEST キー	1-6	カスレ	6-4
		画像データを作図する	2-23
		カッター刃	1-9
		カッター刃の交換	5-16

カットライン	1-9
カンソウジカン	4-7
オートカット	4-7
スキャン	4-7
乾燥時間	4-7

キ

脚	1-4
キャストのロック	1-3
キャッピングステーション	1-8
キャップのクリーニング	3-4
キャリッジ	1-7
キャリッジアウト	5-4
キュウチャク	4-8
キョウリョク	2-19

ク

クランプレバー	1-4
クリーニング	2-19

ケ

警告ラベル	付録-5
-------------	------

コ

ご注意	i
設置上のご注意	ix

サ

作業の流れ	2-2
作図が終了したら	2-24
サクズハウシキ	4-6
サクズヒンシツ	4-6
ハウコウ	4-6
ロジカルシーク	4-6
作図を開始する	2-23
作図を中止する	2-24

シ

ジコクセッテイ	5-14
---------------	------

自動裁断	4-7
受信障害	ii
ジョグキー	1-6
ジョグキーのはたらき	1-6
白スジが発生する	6-4

ス

水性顔料インク	1-11
スキャン	4-7
スタンプ	4-9
ステーション内の清掃	5-4
ステーションメンテ	5-4
ズレが発生する	6-4

セ

設置場所について	1-2
設定条件を印刷する	5-11
セッテイリセット	4-9

ソ

操作パネル	1-4, 1-6
ジョグキーのはたらき	1-6
装置前面	1-4
ソウホウコウ	4-6
ソフト	2-19

タ

タイプ	
-の登録	4-4
-の変更	4-4
タイムスタンプ	4-9
高さ調整レバー	2-6
タンホウコウ	4-6

テ

データダンプ	5-12
テキワイピング	5-9

ディスプレイ	1-6
テストパターン	2-18
電圧セレクトスイッチ	1-4
電源が入らない	6-2
電源スイッチ	1-4
電源をオフにする	2-25
電源をオンにする	2-3
電波障害自主規制	ii

ト

ドットイチホセイ	5-7
ドット位置補正	
- 往路	5-7
- 復路	5-7
トラブル	6-6
トルクリミッタ	2-14

ニ

ニアエンド	2-25
-------------	------

ノ

ノーマル	2-19
ノズル詰まり	2-18
ノットレディモード	1-17

ハ

廃インクタンク	1-4
- ガード	3-9
- のインクが溜まったら	3-9
ハロ セゾヨウ	3-10
パネル	4-7
ハバ	4-8

ヒ

ピンチローラー	1-8
---------------	-----

フ

ファンクションモード	1-17
ファームウェアのバージョン2-3, 5-11, 5-15	
フィードローラー	1-8
フラッシング機能	1-4
プラテンの清掃	3-3
フロントカバー	1-4, 2-4

ヘ

ヘッドの高さ調整	1-16
ヘッドの高さを調整する	2-6

ホ

ホウコウ	4-6
ホウ セゾヨウ	3-12
ホスト	4-7
本書の構成	xv
本装置の移動	1-3
本体仕様	付録-2

マ

マーク表示について	vi
巻き取り装置	1-4, 2-14
マシジョウホウ	5-15

ミ

ミリ/インチ	4-8
--------------	-----

メ

メッセージを表示するトラブル	6-6
メディア	1-10
- 取り扱い注意	1-10
- をセットする前に	1-16
使用可能メディア	1-14
- のサイズ	1-14
- の種類	1-14
取り扱い上のご注意	1-15

メディアケンシュツ	4-8
メディアセンサー	1-9
メディアセンサーの清掃	3-3
メディア詰まり / メディアが汚れる	6-3
メディアのセット	2-8
メディアホセイ	2-20, 4-6
メディア補正	2-20
メディアホセイ	
作図中の補正	2-22
メニューの基本操作	4-2
メンテナンスカバー	1-4
メンテナンス機能の導入	5-2

モ

モードスタンプ	4-9
モードについて	1-17

ユ

優先順位	
パネル	4-7
ホスト	4-7
ユウセンジュンイ	4-7

リ

リーフメディアのセット	2-15
リア排気ダクト	1-5
リスト	5-11
リセット	4-9
リフレッシュ	4-8
リモートモード	1-17

ロ

ローカルモード	1-17
ローラーの清掃	3-3
ロールホルダー	2-8, 1-5
ロールメディアのセット	2-9
ロジカルシーク	4-6

ワ

ワーニングエラー	6-6
ワイパコウカン	5-5
ワイパ寿命の警告表示	5-13
ワイパのクリーニング	3-4
ワイパレベル	5-13

お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、販売店または下記までお願い致します。

株式会社
ミマキエンジニアリング

<http://www.mimaki.co.jp>

東京支社

TEL 03-5420-8680

東京都品川区北品川5-9-41 TKB御殿山ビル

〒141-0001

FAX 03-5420-8686

長野営業所

TEL 0268-64-2377

長野県東御市加沢 1333-3

〒389-0514

FAX 0268-64-2399

大阪支店

TEL 06-6388-8258

大阪府吹田市江坂町1-13-41 明治生命江坂ビル

〒564-0063

FAX 06-6388-8265

金沢営業所

TEL 076-222-5380

金沢市駅西新町2-12-6

〒920-0027

FAX 076-222-5381

札幌営業所

TEL 011-200-5500

札幌市中央区北2条東-1-5-2 サニープリンズ1F

〒060-0032

FAX 011-200-5510

名古屋営業所

TEL 052-777-7245

名古屋市名東区上社1-119

〒465-0025

FAX 052-777-7309

仙台営業所

TEL 022-213-7303

仙台市青葉区上杉1-6-22 サンビル1F

〒980-0011

FAX 022-213-7305

広島営業所

TEL 082-876-3103

広島市安佐南区緑井6-10-14 メゾン高津屋1F

〒730-0103

FAX 082-876-3108

さいたま営業所

TEL 048-823-3080

埼玉県さいたま市浦和区常盤5-8-41

読売浦和ビル1F

〒330-0061

FAX 048-823-3090

福岡営業所

TEL 092-612-1355

福岡市博多区吉塚5-11-15

〒812-0041

FAX 092-612-1356

熊本営業所

TEL 096-385-1633

熊本県熊本市新南部4-7-38 オーエムビル1F

〒862-0928

FAX 096-385-1639

お問い合わせ時間：午前10：00より午後5：00まで
営業日：月曜日から金曜日まで（祝祭日を除く）

JV22 シリーズ 取扱説明書

2006年2月

発 行 者 株式会社ミマキエンジニアリング
発 行 所 株式会社ミマキエンジニアリング
長野県東御市加沢 1333-3
〒 389-0514 Tel: 0268-64-2413 (代)

Mimaki

Printed in Japan

D201030

© MIMAKI ENGINEERING CO., LTD. 2006